京城日報　十三日夕刊

二十日頃か
【北京十二日發電】十二日の日置公使と…して事實的解決に接觸し和議調印…交渉は中止…一時より七時迄、芳澤と…氏の一部分及び宣傳問題が未決なるに調印は困難であらう併し大體の形勢は楽觀を許し急轉直下調印となるかも知れぬ

法制審議會　十四日より開催
…十六、十七、十九の三日會合…を開く筈

院外幹部協議
【東京電報】十四日政友會本部に三派院外團幹部會を開き議會中共同動作を採る件に付協議すると

大同團講演　各地共大盛況
時局大同團地方講演は十日午後二時より光州普通學校に於て開催講士蔡基斗氏の熱辯に聽衆は何をか大に覺悟するかの樣な氣は非常に緊張した講演終了後道知事の招待あり京城旅館に於て松井內務部長、木梨地方課長、原秘書課長、高參與官、蔡基斗、蔡甚普諸氏會合時局に關し懇談し後講士一行は大邱に向つた（光州）
十一日午後二時達城公園に於て講演開催、林敬煥、高泰駿、蔡基斗、吳台煥の諸氏熱辯を振ひ聽衆三萬餘名の大盛況を極む（大邱）
十日午後二時より金陵郡會館にて開催講士高義駿氏聽衆五百餘名（金泉）
十日午後一時當天教堂日正部に於て開催講士吳台煥氏盛況を呈す（星州）
十日午後一時公立普通學校運動場に於て開催講師郡守…東城李昌煥兩氏及び有志諸氏白熱的賛成講演あり聽衆約二千名に上る

貴族院改革案　政府提案の輪廓
【東京電報】政府は愈々休會明け後に貴族院改革案を樞府に諮詢し直に議會に提案するに決定した其具體案の輪廓左の如し
一、帝國憲法の本義たる二院制度の意味を保持せしむる方針にて改革を加へること
一、公侯爵の世襲を廢し有爵議員は全部互選議員とし且つその數を少しく減ずること
一、勅選議員の銓衡方針に改善を加へること
一、多額納稅議員を廢して公選議員に代らしめその數を多少增加し場合に依りては貴族院議員全體の數を現在より增加すること
一、有爵議員の互選規則を改正し制限選擧制の如きものをとると

西園寺公は反對らしい　研究會俄に力づく
【東京電報】貴族院改革問題に關し西園寺公は政府が改革斷行の不可なると現在の制度の如何なる點が改正の要あるか諒解に苦しむとの意見を漏らし訪れた研究會の大木、水野、近衛の三氏に洩らしたので研究會は西公が改革絕對反對の意嚮あるを見て頗る強硬の色がある部會を開き會議中にて電話を掛けるやら特使を派するやら八時過ぎても散會しなかつたが教育費問題に付き三派の協調に龜裂入るべしと見て大芝居を打たんとする策動であるらしい

內府後任は　牧野宮相轉任
【東京電報】平田內府は結局辭任すべく決意頗る堅固なるものあり留任困難なる場合なるべく內府の後任には牧野宮相轉任確實にて宮相の後任には一木樞府副議長が擬せられてゐる

三派龜裂を豫想して　研究幹部策動
【東京電報】研究會は十二日午後四時半から華族會館に緊急幹部會…

義務教育費問題は　絕對變更できぬ　憲政出身閣僚意見
【東京電報】義務教育費問題に對する憲政會出身閣僚の意嚮を綜合するに本問題は既に閣議に正式に決定し然も政、革兩派の出身閣僚もこれを承認し居るより今更政府にてこれを強要するに於ては政府の面目と云ふ點も考慮せざる可からざるより全く自分等の支持する政府を窮迫せざる結果とも見られる鐵道問題にては三派の主張を入れしもこれは未だ閣議にて正式決定せざる內にして今回の問題とは性質も相違し居るため昨日の論に非ずたとへこの問題の爲めに三派の協調破るゝも絕對に方針を變更するを得ず或は又各黨共國民の前に公約し居る問題なるより是非十四年度より實行せよとの說をなすものあるも內閣を組織せりとて限りある財源にて總てを直に實行せざるべからずとの理由なく依りて加藤首相も三黨首以下に協議する妙案なく十五年度より實現ならば努力しようとの意嚮であると

本黨案は葬る　三派教育費問題作戰
【東京電報】義務教育費問題は十四年度より實行不可能となつたが休會明け後政府與黨三派から十五年度より實行せらるべき旨の建議案を提出し政友本黨案を握り潰し此の問題を解決せんとする作戰らしい

十五年度から　實施する　らしい形勢
【東京電報】義務教育費問題に付十二日加藤首相は濱口藏相、大木、若槻の兩相と之が對策を協議したが政友會としては十四年度より實施困難の態度を採る迄には至らぬも政府としては絕對に不可能と云つてゐるし之に對し協議を始め幹部としても十四年度からの恆久的財源のない事は大藏當局も諒解し如何にして黨內を納撫するかに付き腐心してゐる模樣で結局各幹部の意見に依り政革兩派の意見も纏まり休會中に三派の態度も決するものと云はれてゐる結局三派の態度は自己の議を略して十五年度より實施されるであらう

上院の建議　學士院改革問題
【東京電報】帝國學士院は十二日夜定例部會並に總會を開き穗積、上田、野…郞氏より現在全く空文に歸し居る貴族院令第一條第四項の勅選議員の資格として國家に勳功あり又は學識あるものより特に勅選せられたるものとあるを活用すべく學士院の院議として當局に建議する事を提議し滿場一致賛成した右に就き穗積院長は語る
初期議會には第四項の議員が六十名を算したるも第二期以後は三十名に激減し現在は政府的にのみ提はれ居るより學士院は上院改革の際此點を考慮せよと建議すると

樞府側の　普選修正意見　十五日の委員會できまる
【東京電報】普選案に關する樞府第四回精査委員會は十二日午後一時半より開會され、諮案に對し總論として普選の根本義につき討議の後十五日更に委員會を開き最後の決定を爲す事となつたが大體左の修正意見で纏まるであらうと
一、納稅資格撤廢の原案は其の精神を認め敢て修正せず
二、原案に住所につき制限なきも樞府は一定の制限を設けんとす
三、華族の戶主に對する選擧被選擧權を與ふるの條項を削除せんとす（但し之に對して富井顧問官は原案に賛成す）
四、被選擧權は原案には選擧權同樣二十五歲以上とあるを樞府は被選擧權を三十歲以上に修正せんとす
五、公費の救助を受くる以外の窮民に對する制限を設けんとす
官僚思想教育兩方面からは強烈なる意味の缺格條件を附さるべく而して如上の修正意見は十五日の會議の結果一木副議長から政府に對し折衝を開始せらるゝ筈にて其決定を見た上でなければ樞密院議案には入るまいと觀られてゐる。

駐日伊大使更迭
【羅馬十二日發電】現在瑞西ベルン駐剳伊太利大使たるガルバゾ氏は駐獨露國中の駐日大使マルチノ氏の後を襲ひ東京に大使として赴任すべしと傳へらるマルチノ氏は多分華盛頓に轉任を命ぜられるであらう

憲兵服務規程　發布の趣旨を體して　警察憲兵一層の協力を望む　三矢警務局長語る
十三日附訓令第二號を以て朝鮮に於ける憲兵の行政警察並に司法警察に關する服務規程が發布された事は昨報の通りであるが右に付三矢警務局長は語る
今回朝鮮に於ける憲兵の服務規程を發布した趣旨は朝鮮に於ける憲兵が

總督の指揮の下に
行政警察及び司法警察に從事すべき事を明かにした事が第一である。第二には從來と雖も憲兵と警察の協働はあつたが、それ以上に憲兵の働きを多くした事である。憲兵は元來軍事を司るが本職であるが職務として司法行政警察をも司るので則ちそれを充分にやつて貰ふ譯である。朝鮮は周知の如く大正八年頃迄は司法、行政共に憲兵が司つて居たが、其後憲兵制度が廢止となり

之が全部警察へ
移されたのであつた。然し其後と雖も憲兵と警察とは互に協定があつて共に治安維持には任じて居たのであるが、これを一面から見ると憲兵の働く機會を尠くしてあつたので、六百餘の憲兵が居ながら其仕事はどちらかと云へば尠少であつたのである、從つて其結果は批評家の立場となり、治安維持に對して兎角批評を試みて居る現狀であつた。即ち警察側と憲兵側とは表面は圓滑であつたが

其の裏面に至る
とすると面白くない點がないでもなかつたのである。彼れ是で今回は訓令により總督の指揮の下に憲兵も警察も共同して、以て治安維持に任ずべきであることを明かにしたものである。然し單に共同と云つても其の職務の範圍に於ては之を明かにして置かぬと又お互に職責の衝突があつたり、責任を回避して見たり色々の弊害があらうと思ふので、これを今回の訓令で明かにしてある。即ち今回の訓令によると憲兵が

獨立で働く場合
と又警察官と協力して働く場合とが自ら分たれて居るが、憲兵が獨立で働く場合を擧げて見ると先づ第一條の憲兵は、常に管內治安の狀況を明かにすること。第二には第四條に規定した猶豫すべからざる事件發生に當つての必要の措置、第三には第八條の特殊指揮ある場合に於て犯罪搜査に從事すること。以上は則ち憲兵獨立で働く場合で其他は人の問題とか家庭の場合とか警察から要求のあつた時に働く事になつて居るのである。

殆ど警察と共同
而して第三として原則として憲兵が働かぬ場合は普通犯罪事件等で夫々通りである。斯の如く大體に於て憲兵警察の職務範圍は條文に記載してある如く確に分つてあるが、今回の此訓令を發布するには憲兵隊司令部は軍司令部や總督府とも充分協定を遂げ警察と憲兵の圓滿なる協定が出來て初めて發布したのであつて此の協定により

今後憲兵も警察も
共同治安維持上から見て非常に好都合となつた譯である。何等隙のない樣に十三日附各道知事にも此の趣旨を通牒して置いたが、憲兵側も警察側も充分此の趣旨を體し共同以て飽まで治安維持に努め國家の爲め益々努力して貰ひたい

財政會議は好成績　ケロツグ米大使語る
【巴里十二日發電】聯合國財政會議は最も重要なる諸種の點に關し協定を遂げた聲明發表された十三日全體會議を開き之を批准すべしと推薦さるまた米國々務長官たるべき駐英米國大使ケロツグ氏は財政會議に出席中であるがマタン新聞通信員に對し財政會議は各國のため賢明にして良好なる結果を以て終了したと語した

英露關係進展機運　英外相露代表と會見
【莫斯科十一日發電】英國外相と勞農露國代表ラコウスキー氏と長時間會談の結果兩者の意見が兩國經濟關係の續行を必要とするに一致したとの報あり同時に久しく倫敦に滯在中のラコウスキー氏は莫斯科政府代表として今後の對英策協議の爲急遽莫斯科に歸來する筈だが或は英露間に新なる形勢打開策が講ぜらるゝかも知れぬと云はれてゐる

阿片會議休會
【ゼネヴア十二日發電】國際阿片取締會議は再び召集されたが直に英國の要求により十九日迄休會を宣した英國代表ソルスベリー卿病氣にて餘儀なく總…

日獨條約　交涉停頓狀態
【伯林十二日發電】日獨通商條約交涉の消息に通ぜる者の言に依れば右交涉は停頓狀態に陷つた是日本側は東京に訓令を仰いだ爲めで日本は獨逸の要求に對して從來に比し好條件を以て取扱ひを爲すべしと獨逸側が主張せる爲めである

ルーテル氏組閣有望
【伯林十二日發電】獨逸財政總長ルーテル氏の新內閣組織に成功すべき可能性は漸次濃厚となつたかの觀がある蓋し國家黨はルーテル氏の努力に對する反對を緩和したからである併し其の結果如何は未だ不明である

不成功らしい　佛國側の觀測
【ボルドー無電十二日發電】ルーテル氏の內閣組織は中央黨反對の爲め成功覺束なしと佛國側では觀測してゐる

ヒユーズ氏　次期大統領選擧出馬說
【華盛頓十二日發電】政界消息通間にて國務長官を辭職したヒユーズ氏は千九百二十八年の大統領選擧に出馬せんとしてゐるものと觀られてゐる

馮黎國民黨結合
【廣東十二日發電】…會議の召集…事已むべからざるを知り國民黨首腦者間には同黨の淺識に鑑み段政府の國民會議をたらしめんとしてゐる之は孫文氏の顧慮に及ばざる狀態なし一方には國民會議を召集し政府目的に國民會議を召集し非常上の國民黨と馮玉祥派と一派と結合せる結果であるといはれてゐる

執政々府財政　經費の六割支給で難關切拔
【北京十二日發電】目前に迫れる舊歲年末に際し臨時執政々府の要する經費は二百萬元、軍需費百八十萬元、臨時費五十萬元合計四百三十萬元を計上されて居るが財政總長李思浩氏は種々奔走の結果一部分鹽稅剩餘金百二十萬元、各銀行の少額借款七十萬元乃至百萬元を以て之に當て政府各機關に對しては要費の六割を支給することゝし一先づ國家の難關を切拔けることにした

執政公使招待
【北京十二日發電】芳澤公使及英米佛白の各國公使は十二日午後一時段執政の公式招待に臨席した其他の各國公使は十三日招待された

爲すべき事業は多く　財源は極めて貧弱　府民各位も考へて戴きたい　京城府財務課長　高橋源六氏語る
京城府財務課長高橋源六氏は大正十四年度京城府に於いて徵收すべき京城府並に學校組合學校費組合の賦課徵收に就いて語る
政府當局始め朝鮮總督府の財政、行政整理の主旨を察し、今回京城府でも各課事業の二割見當位な削減は免れない、既に國庫支辨に係る官吏の整理は一段落ついたが臨時營繕費に地方費支辨に係る吏員の整理は近く府評議會、府協議會の豫算の決定を待つて整理さるゝ筈である。思ふに概要の不景氣の影響として一般個人の收入減は免れ難い現狀である、府の三つの公共團體府、學校組合、學校費組合の豫算は自然である。然も國家の財政緊縮方針は國民の三大義務の一つである教育費にまで觸れて本年度は教育費國庫補助額の二割減が斷行され京城學校組合に於ても一萬餘圓の削減を餘儀なくされてゐる其の城府の來年度豫算は何と言ふに慮すべき事業多きに拘らず財源が極めて貧弱である、例へば電氣事業の繰延に依つて從來年額五十萬圓以上の土木事業負擔者が本年はにその半額にも足りないと言ふで從來組合費年額二千圓以上の負擔者が

收入減に伴ふ
その半額にも足りないと言ふ一日も疎にするとの出來ない府政にしても、學校組合も學校費組合も、然しながら府政の直接間接多くの接觸を有する自治體で之が事務の洗捗如何は直ちに府民の福利に影響する處深甚である、京城府でも三つの團體府協議會、學校組合、學校費組合評議會の豫算決定後多少の更員の整理もあるであらうし減員に伴ふて自然すべき事務は猶々從來よりも繁忙になるが之は勢ひ止むを得ない。

府民各位にも
京城府現在の行き詰まれる財政狀態を考慮されて賦課等級等は充分慎重に…

新聞懇話會の　新年宴會
京城新聞懇話會は、十二日午後六時から明月館白水に於て例會を兼ねて新年宴會を開いた左記新聞社側の外に來賓として下岡政務總監、三矢警務局長、小何秘書官、田中高等課長、小林囑託等臨席、宮部本社支配人の挨拶に對して下岡總監の謝辭があり宴酣なるころ、石森朝新子は、糸おその、おかよ、地福助等の藝妓と、若い美しいところで菊千代、一若等をつれてしづしづと登場　本式で菊千代と一若に舞はせて、獨得の長唄勸進帳を一席御披露に及ぶ。その後から何か一藝を演す可しと云ふことになり、田中高等課長は例に依つて浪花節、小河秘書官の朝鮮語の獄、井上大朝子の浪花節は變遊張りの一齣、吉川電通の妙な引導、鍾田日々の詩讀、角田京日の田舍なまり、金東亞子の追分、岩佐每申子の朝鮮語の詩歌等次から次へと、灯の王國もかくやとばかり電燈の光輝く白水樓上は、さながら奇思妙想獄天寡地の乾坤を追出した、かくして春風座に滿ち、主客歡を盡して和氣靄々裡に十一時散會したが猶當日は記念撮影までもして非常なる盛會であつた。因みに當日の出席者は新聞社側では石森朝新、井上大朝、岩佐每申、石原日々、稲臨朝新、宮部京日、有馬日々、渡東亞、和田朝新、河谷京日、鍾出日々、吉川電通、金東亞、朝鮮日、末東亞、角田京日、鈴木帝通、宮永セウルプレス。（寫眞は懇話會の新年宴會）

本黨內動搖の兆候
【東京電報】政友會は憲政三派の協調支持の議大多數の上より後歸せばこれを認むるに異議なしと云ふに政友會全體の意見一致せて政友本黨との合同は絕對不可能なる爲めこれを開拓せる政友本黨は黨內動搖の兆を示して來たであると若し本黨より脫黨して

府豫算　查定までには　幾分變化する
京城府大正十四年度豫算は既報の如く豫算緊縮の主旨に依り各課共に目下作成中であるが經常臨時共に大體の方針としては
一、一般經常費の二割減
一、新規事業の中止
一、新稅を課せず
一、官僚費、講演費を最小限度に計上
一、寄附金又は補助金の類は成る可く少額を計上
一、都市改良費は一般事務費より支辨して豫算項目より削除
一、制限外課稅は漸次少限方針
一、接待費は目下七千圓あるも五千圓以下に改む
等極力節約を圖ると共に收入の減額を補ひ特に收入增加の爲めに新稅を賦課せざる等の誠意を示さんとなしつゝあるも尙京城府としては緩急を要する諸事業多々あり土木衞生方面の施設は急を要するのである。されば京城學校組合に於ても…整理するのは勿論であるが時局の大勢に考へ納得して頂きたいものである
豫算を以てしても充分ならざる點ある際に果して二割減にて府民の期待に副ふや否や、斯くした事情に依り結局二割減に幾分變化を見るものと觀測されてゐる

時事漫畫　大野靜方

下岡總監東上　來る十五日
下岡總監は小河秘書官並に小林囑託等を隨同來る議會出席の爲來る十五日東上に決した時間は尙未定

東上挨拶
下岡總監は十三日午後三時半から小河秘書官並に田中通譯官を帶同李王家を訪問李王殿下並に李堈公殿下へ東上の挨拶をした

京畿客臘檢穀
京畿道管內に於ける各穀物檢査支所の客臘十二月中穀物檢査高は玄米合格十一萬七千百七十叺不合格六千四百十四叺白米合格二十五萬七千五百三叺大豆合格二萬九千二百七十叺不合格四百六十四叺であつたと

公會私會
◇定例局長會議　總督府に於ては十三日午後零時半から本府第一會議室に於て定例局部長會議を開催總督總監以下在任局部長列席諸般の行政に付打合をした
◇京取新年宴　京取では恒例に依り十二日午後六時より市場出入記者十數名を京喜久に招き新年宴を催し主客打寛ぎ歡を盡し同九時過ぎ解散した
◇仲買組合新年宴　京取市場仲買人組合では來る十六日午後五時半より南山町花仙に市場出入記者を招き新年宴を催す由

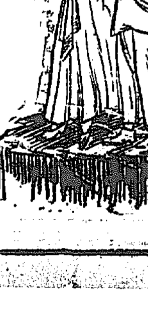
人事消息
▲岡本京城地方法院長　十三日午前八時發京原へ向け出發
▲茂木醫學博士（奉天軍醫病院長）一行八名十三日午前九時四十分著入城朝鮮ホテルへ
▲中島代議士　十二日午後七時東京より入城朝鮮ホテルへ
▲中馬代議士　同上
▲東忠紀氏（京畿道高等課長）郷里熊本縣に歸省中の處十二日夜七時著歸任
▲松原亮二氏（東拓京城支店事業主任）十四日本店より著任の筈
▲中澤正治氏（同新任大田支店長）月末頃赴任の由
▲石崎頼久氏（京畿局庶務課長）十二日午后七時十五分龍山發滿洲に出張
▲江口寛治氏（同文書主任）全羅北道視察中の處十二日夜歸任
▲桃原茂大氏（東拓金融主任）十二日夜發江原道の社營指導の爲め出張十六日歸城の筈
▲廣瀨次郎氏（實業家）十一日入城四五日滯城の上奉天に向け出發

茶話
◇日露協定も漸く成立の見込が立つたと云ふ▲成るほどそうか桃栗三年、柿八年で花も實もつくじやないか▲これを大國論から見るとざつと五、六年を要して居る、もう大概に成立の見込みが立つても不足はない頃だ▲步の頭に出た子供もぼちぼち小學校に行く頃だからね▲日露交涉じやないが京城の草分け山口太兵衞翁が花嫁さんを貰つた、▲翁が六十一歲で花嫁さんが四十歲と云ふところ▲似合の夫婦と云ふ戲だが、何しても元氣旺盛目出たい事だ▲そこらあたりの意氣地なしの親爺共は此の潑溂なる翁を見習ふ事だ▲朝鮮の大殿人木內重四郎氏の追悼會が行はれる事になつた▲朝鮮今日の產業の基礎は全く木內氏によつて其基礎を作られたものだ▲此の追悼會に對して一束の花を手向けることは啻に我々の御役ではあるまいか。

天氣豫報（十四日）
曇　一時晴
十三日　正午　氏零下二度六　最高　氏零下七度三　最低　氏零下十五度四
十二日　最低　氏零下四度三

月經
通經劑（月經下し藥）
本劑は服用後三十分にして藥效作用を始め極力子宮を刺戟し同時に強き骨盤內の充血を招くを以て月經不順の滯りは早きは十時間乃至一晝夜遲くとも三日位に流經するを普通とす
詳細說明書進呈（三錢郵券要）
大阪天王寺鳥居前北入　（創製者）（醫學士）宗野誠

藥效卓越で以て名聲を擅にせる牧野沃度製藥
私立大日本牧野沃度研究所關西支部
慢性病專門　牧野醫院
大阪・北區堂島裏二丁目三五（大阪每日裏門）電話北一七六六
科學!!　科學は文明の母である
病魔の手を逃れんとせば先づ牧野沃度を信ぜよ
實驗！實驗は何者も欺くこと出來ぬ
適應症
如斯人は
大阪北區天滿橋北詰　牧野沃度研究所製藥營業部
本欄特別廣告一手扱　大阪今橋　第一廣告社

ドクトル森村修先生創製

淋病特効注入藥ウラルゲン（定價貳圓）
淋病内服用新藥モリフラビン（定價參圓）
大阪市南區難波戎橋停留場西一丁北側　三星製藥所

注射ノ必用ナシ
ぜんそく最新藥チオミン
定價　一圓・二圓・三圓
發賣元　大阪市北區曾根崎上二丁目　垂井屋藥局

伏見宮知子女王殿下の御歸京

父宮殿下と共に佐世保に御滯在中の伏見宮知子女王殿下には今回久邇宮朝融王殿下と御結婚遊されるにつき九日午後八時四十分東京驛着にて母宮、妹宮と御準備の爲め御歸京遊ばされた（寫眞は東京驛御著の知子女王（中央）御母宮（左）御妹宮殿下（右））

高松宮御成年式 三殿の御儀

滯りなく終らせらる

高松宮宣仁親王殿下御成年式は十三日午前九時半宮中賢所で行はせられた、此日殿下には麹町三年町の宮邸御出門あらせられ賢所に御参著の後、賢所、外陣に参進あらせられた鐘て雅樂の音と共に賢所の御扉が開かれ九條掌典長祝詞を奏し終つて殿下に御冠を授け参らすれば殿下は之を召されて内陣に御参進、御告文を奏し奉つた時に午前十時賢所の御儀を終らせられたのであつたが更に殿下には皇靈殿神殿に御親拜御式は十一時滯りなく御終了遊ばされた

朝見の御儀

三殿の御儀を終らせられた殿下は海軍少尉候補生の御服装に御更衣の上鳳凰間にて攝政宮殿下に御對面朝見の御儀を擧げさせられたが攝政宮殿下は殊の外御滿悦の御様子にて懇ろな旨を傳へさせられ御盃事を行はせられ正午最も目出度き御式は滯りなく終了した（東京電報）

賀電捧送

十三日午前九時三十分より宮中に於て行はせられた高松宮殿下の御成年式に就て齋藤總督は李王殿下李堈公殿下の御慶賀を兩陛下、攝政宮殿下、高松宮殿下に奏すべく十三日午前十時宮内大臣及山内御附武官宛言上方打電した、尚下岡政務總監も同様賀電を發したるが齋藤總督は東京に於て言上方を申し出た」

改正された新式三等列車

近く京釜線列車に連結

最近釜山工場で製作された（は）六號三等客車は近く第五、六列車の後部に連結される事となつたが之は朝鮮線で十三年度に出來る同型三等客車十七輛の内最初の落成車で從來の車輛とは大分其構造に於て趣きを異にして居る

先づ側窓の硝子扉が從來は一重であつたのが二重扉となる其の上布地の捲き揚式カーテンが附いて居る一重硝子扉では冬期車内の水蒸氣が硝子に凍りついて内から外部を展望する事が出來ぬのみならず寒氣が扉の隙間から浸入する事が盛で室内の暖房に障害となつた處が今度の新車は優等車同様となつたのであるから之等の障害は總て除かれる譯である又從來は窓扉を引上げた時其上がり方が不充分で扉桟の爲め視線が遮られて車内から外部を眺める事が不便であると云ふので其の改良は年來の問題となつて居たのであるが今回のは二呎近くも上がる様になつたから扉を開けた時どんな丈の高い人でも座席に腰掛けてゐて何等の障碍もなく窓外の眺望が出來る事となつた其の外屋根が丸型となつた爲室内が廣くなり手荷物の積載容積が增し又最後部には車掌室が設けられ列車保安に要する總の設備が出來た等細かい所まで深山に改良されてゐる

斯くて車輛は漸次改善されて行く譯であるが同時に使用の乘客側でも亦此點に第一に車内の清潔と云ふ事に心掛けて辨當殻や空瓶菓物の皮等は一處に纏め散亂せぬ様にし又持込手荷物等も成るべく制限して互に他の客の迷惑にならぬ様にせねばならぬ尚此新式三等車は漸次京釜線及び釜山奉天間の直通旅客列車に編成される事となつてゐる

閔延植氏は當分別府で靜養する

―東京警察部長談―

京畿道警察部の高等課長閔延植氏は病氣療養中で別府に入湯中であつたが齋藤總督が東上の途中去十日夜下關山陽ホテルで朝鮮貴族閔泳徽氏と會見すると云ふので別府から下關に來り閔氏と同行する爲め閔氏を出迎へ別府に入り閔氏と同行下關に入り會見終了後歸任の途に就き十二日夜七時歸城したが曰く『イヤ別段の問題はない。京城の諸新聞にあつた通りであれ以外の何物もない。總督は其儘東上され閔氏は尚當分の間別府で保養すると云ふて別府の方に踊り私は其儘歸鮮した。課の川崎君（警部補）も今明日中には閔氏に別れて歸つて來るだらう。閔氏は在外當時の疲勞もあるので暫く保養してゐる迄である。何れ歸つて來るでせう』と

巡査に列車運轉や電氣の智識を普及する

龍山警察署の試み

朝鮮に於ける交通機關は近時非常に發達したがこれに伴ふ乘客の誘拐と云ふ方面に著しい相違がある爲め鮮内の交通事故は内地に比し大なる差があり從つてこれを取扱ふものは警察官でそれも直に現状に向ふものは主に巡査である此巡査の補習の缺、不缺は燃然たるダイヤグラムに依つて運轉せられる列車又は頻繁な電車にあつて乘客に多大の不便を感ぜさせる事もあるので警察官の職務執行の外に交通機關とりわけ列車の運轉が如何なるものかと云ふ概念でも正しく知らし度いと云ふので今度龍山警察署では警察官の常識養成として專門家の指導を受ける事とし龍山運轉事務所に交渉した所鐵道側でも此擧に共鳴して直に快諾し局所運轉主任森田茂寅氏が十三、四の二日間龍山署に出張し毎日二時間宛警察官の爲め列車運轉及運輸に關する一般的概念を講演する事となつた尚同署では引續き電氣に關する智識養成として京城電氣より技術者の出張を求め講演を行ひ更に警察醫を招聘し法醫學の一斑をも聞かして大いに全般の常識を養成するに決定した、

娘を賣つて

賭博開帳中御用

府内鐘路五の三六金順福（三二）同七六韓基淳（五七）忠信洞九四金在天（四〇）及貫鐵洞一二申俊石（三〇）の四名は十二日午後四時頃鐘路五丁目金昌滿方奥座敷にて賭博中所轄東大門警察に檢擧せられたが取調べの結果金順福は自分の娘を府内某料亭に六十圓で賣り飛ばし其金で賭博した事が分明した

玄海洋の女島に

新しい燈臺

鐵道節減を陣向に振り翳してゐる今議會にこれは珍しくも新燈臺の費目が計上されて通過確實を豫期されてゐる。それは九州五島の最端を四十海里の玄海洋上に名も柔しき女島がある。絶海の孤島とて住む島人とてはないが同島近海は有名な漁場で五島盛漁業の漁獲物は大部分その附近で漁獲されるのである。鮮中館から避難港となると日本に於ける一二の好漁場となり、各國から漁船が蝟集するのであるが、またその季節の季節になると荒き玄海灘は最も悪い暴風季でさらぬだに遭難の危險が多いのである。それとも一つは同島沖は恰度歐洲航路と香港航路の航路に當つてゐるが、矢張り附近の風雨に惱まされる船が多いのであるそこで同島へ燈臺を設置して航路の安全を計り併せて避難所とする計畫が樹てられた譯である新設さるべき燈臺は二等の白熱瓦斯式で特に無線電話の設備をする事となつた。これは五島の南端大瀬崎に無線局があるのでこゝと連絡を取る筈である。又同燈臺の看守は大瀬崎に官舍を設けて家族を收容し勤務につく時は各看守が交代で服務する事となるのだそうだ。

慈善團體の誠意も馬の耳に風の乞食達

却つて救助志願者が殖えた 本町署の乞食調査

府内の慈善團體が蹶起して哀れな乞食の救濟に手を盡さうと言ふ折柄其筋では這般の調査より一歩踏み込んでその日生活状態から犯罪關係とも結びつけて詳細に調査する必要を認め本町署の司法係で先づ一般に手をつけてみたが其結果に依ると大要左の如きものである

彼等の最も多いのは鮮銀前、南大門前、黄金町、新町等であるが其の大部分は幼年である而して彼等は始と一定の住所なく空家や土窟に集合して寢食を共にして居るが其の收入は全く一定して居ない彼等にも一種の乞食道徳とも言ふものがあつて定められた縄張りは他から犯さないと言ふ状態だ一般收入の多い場所は鮮銀前で流石に場所柄少からぬ收入があるらしい、然し此處等に現れる乞食に限つて職業的になつたものが多く、酒ひを之して夜歸つて行くと言ふ状態だ之に反して最も悲慘な者等になると塵箱や下水等を漁つて食物や木片等を掻き集めて廻る連中だ。之れは全く喰ふ爲めに餘儀なく漁つて廻つて居るらしい。子供等は比較的呑氣に過ごされるので御馳走の舞踊だが周圍の犯罪でひどく惡化して居ることは事實だ。言はゞ彼等の驢に等しいもので時々數名の團體となつて掻つ浚ひや窃盗等をして廻るそして活動寫眞に入り襲つて飲み喰ひをするものだと語りで居るから結局慈善家の貴い誠意も『乞食三日すりや止められぬ』根性の者だけらしい多くは矢張り一部の不良少年である。今度の救民は冬季は手に職を有する者が大部分であるから當局でも苦心して居る。

二萬七千頭の獸肉を一年で平げた

冬になると京城府は特に獸肉を貪る。十二月中に府内で屠殺した獸は牛が一千八百八十一頭、豚七百二十八頭、羊二頭合計一千七百八十八頭で昨年一月以降十二月まで一ヶ年間に府民の食た肉は牛が二萬八百一頭、馬が十一頭、豚が六千三百九十頭、羊が十三頭、犬が七四合計二萬七千二百二十二頭である

鐵原法院支廳出火

廳舍及び書類全燒す

十三日午前一時頃鐵原地方法院支廳から出火し廳舍及び書類等全燒した京城地方法院では急報に接し同院松本法院長は鐵原に急行した出火原因及び被害價格等は不明であるが京城地方法院では今後の事務及びに就き應急の策を講ずべく目下考究中

鐘路で牛の睪丸燒打

巡査の奇智功を奏し大喝采

十二日午後二時半頃鐘路の角で松葉を山積した牛が暫時休息して居る時牛は一物と許りに座り込んでしまつた◇何がさて繁華の中心通行頻繁な鐘路で牛が座り込んでしまつたのだから牛曳きの驚き一方ならず、お巡りさんのお目玉頂戴仕らんと許りに怒鳴れども牛公動かばこそ『畜生奴、年中虐待しやあがつて、今年は此位の仕年たあ、知らねいか』と云はぬ計りの面構へ！◇牛曳きの鮮人朝日鉢巻して居ると與せる哉お巡りさんが一人飛んで來て牛曳きを叱り飛ばしたが牛は何を云ふかと空嘯ぶいて平氣の平左◇巡査もお上の御威光を知らぬかと許りに、カン高い聲でイローッ／＼と綱を引張れど尻たゝけど尻尾を持つて釣上げようとすれど、牛公は泰然自若ベロリ／＼と鼻の穴を舐て知らぬ顔◇巡査も相手が畜生の事とて流石に手にも行かず、結局牛曳きに加勢し早く追ッ拂ふ事としたが大勢で押せど引けどびり動きもしない◇其内にお巡りさんが妙案を考へ出し松葉を二タ摑り握り牛の睪丸の傍に積みマッチを取出して火を附けた◇奇策妙案は見事に圖に當り道の牛公も吃驚仰天、無條件で降伏して起ち上がりコーマブツ／＼と大慌び、お巡りさんは得意滿面で仁王立。黒山の様に集まつて睪丸の燒打を見物して居た野次馬連も走り出した牛を見送り乍ら拍手喝采して思はず『萬歳ーイ。』

天災續きて

死者五十餘名

【莫斯科十一日發電】最近トランスコウカサス地方に於ては數日來寒氣猛烈を極め大暴風雨に加ふるに海嘯を伴つたので遂に死者五十餘名を出し家畜の斃死せるもの數萬頭の多きに上つたとの報がある此饑餓に攻められて山林より逃げ出して來た狼、猪、其他の動物は平地を盛んに荒し廻つて居る

聖路加病院大火

十三日午後二時五分東京市京橋區築地聖路加病院より出火し目下燃んに延燒中である（午後二時廿分著東京電報）

囚人の發明品

半ケ年で百五件に及ぶ

帝國發明協會では司法當局と協定の上全國の囚人に對し發明考案を獎勵して昨年以來發明に着手し優秀者には特許出願の手續きから補助金を交付して試作實驗を援助する事になつたがその第一回の成績は昨年六月より十二月一杯までに帝國發明協會に應募して來た囚人の發明は實に百五件の好成績を示した協會では一應審査した上審査委員に委したが今日まで五十七件を審査しその内十五件は特許出願の價値ありとて夫々刑務所に通知した所が左の三件の發明に對し是非共特許出願の手續きをして貰れと依頼して來た（東京電報）

機關銃輕機銃 廣島刑務所 細野市太郎
安全遮利器 廣島刑務所 堀川銀治
自動停止裝置及びパンカツ機を具備せる自動循環爆精米機 岡山刑務所 浜本新七

學生の金を捲上げた女

拘留五日のお灸

劍道學生村上彦次（二〇）から所持金の大半を捲き上げ本町署に取調べられて居た長崎町一五食店森永ツヨ方抱女折木トシ子（二〇）は十二日同署で淫賣の廉で拘留五日に處せられた

巡査に暴言

府内樂園洞一九三總督府鐵道課屈員李某（二）は十二日午後九時頃樂園洞香山旅館で女淫賣事件があつた際實地見分の爲め臨場せる巡査に暴言を吐いたのみならず職務執行上の取調べに對し侮辱的言辭を弄したので公務執行妨害として鍾路署に檢擧された

放火した男

人妻を寢取つて姦婦と駈落して京城に潜伏中取押へらる

[illegible]した女と駈落する爲に自家に放火した姦夫姦婦が鍾路署の手に捕へられて十二日檢事局に送られた。[illegible]

〔京畿〕既報＝親の金五百圓と拳銃を持つて家出し府内のカフェーを飲み廻つて居る所を捕へられた京城商業[illegible]

安達總務負傷

二重衝突して

十二日午前十一時半安達總務は[illegible]より自動車にて[illegible]と二重衝突をなしそのため投げ出され輕微な傷を負ふた（東京電報）

女學生が

密淫賣を稼ぐ

[illegible]せしめたが其所は旅館[illegible]（東京電報）

東京相撲

六日目取組

（常陸岩）稲の森（吉野山）常陸嶽（清水川）
縁（藤ノ川）若太刀（出羽ケ嶽）鬼竜（大蛇山）
小野川（三杉磯）大蛇山
若葉山（太刀光）西ノ海
柏山（山錦）
中入
矢筈山（一の濱）錦洋
真砂石（阿久津川）東
若常陸（東）白岩
常陸岩（射水川）能代潟
栃木山（朝）外ケ濱

三人組強盗

檢事局へ送らる

一月四日夜府内[illegible]方に忍び入り金品を強奪し逃走せんとして逮捕された[illegible]、[illegible]、[illegible]の三人組強盗は鍾路署で取調べ中であつたが何れも十年以上の前科者である事判明し十三日午前檢事局に送らる

東京高工

紛糾擴大

校友會も憤る

東京高等工業學校にては各科教授の排斥運動起り五千の卒業生より成る蔵前工業會も最近理事會を開きて教授會と呼應し正月に入ると共に問題は漸次擴大しつゝありしも同校當局にて教授連の急先鋒なりし電氣科の伊藤兵助、鈴木京平の三教授に對し九

朝鮮佛教大會

機關設立申請

朝鮮佛教大會は機關設立許可の申請をなした會長に李允用男・副會長韓昌洙氏外官民有力者を網羅して顧問となし最初の事業として鮮人布教師を養成すると（東京電報）

二階堂警部補の不幸

東大門署二階堂警部補は老母危篤の報に接し郷里鹿兒島に歸郷中留守してゐたが其の不在中十一日長女幸子（三つ）は死去した

養鷄組合協議會（京畿）

養鷄組合にては十日午後一時より平山郡廳内に第一回協議會を開き[illegible]

一、組合員には本年度に限り左記に仍り種鷄種卵を貸付す
種鷄は雄一雌二羽を七月中旬迄に貸付す種卵は一人に付き十五個を二月一日より四月末日迄に
二、種鷄の貸付を受けたる者は其の生産鷄を以て貸付數と同數を組合に返納す
其の期間は貸付後滿一ヶ年とす
三、種卵の貸付を受けたる者は之を發育管理の失宜に仍り之を斃死せしめ又は生産能力なきに至らしめたる場合は其代金實費を組合に納付せしむ
五、種鷄は鷄舍を建設したる者に[illegible]を建設し之を收容すべし違反したる場合は生産雛全部を沒收す

▲共同購入内規
一、種鷄、種卵及養鷄必要品の共同購入をなさむとする者は申込[illegible]
三、申込者は申込數量の引取を拒むことを得ず

▲共同販賣内規
一、養鷄産物の共同販賣をなさむ[illegible]
三、[illegible]指定の方法に仍り包裝すべし
定場所に持參すべし
四、組合は販賣物を檢査し等級を附し受入をなす但し不合格品は[illegible]
六、共同販賣に附したる者は其取引に付き不服の申立を爲すことを得ず
七、不可抗力に仍る販賣結果の損害は共同販賣申込者の負擔とす

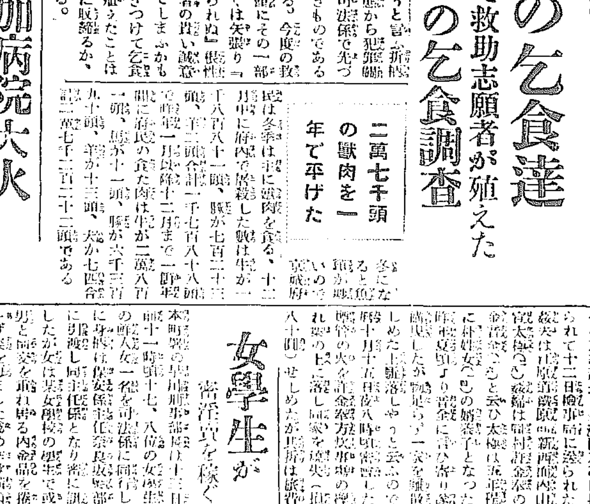
追て組合費は一ヶ月十錢とし三ヶ月毎に徴收し尚組合員には門標を配付す

釜山木浦航路

[illegible]るもの及び釜山木浦間の二線在三月末日限り命令航路を解除となる當航路は從來多年の經營により航路として[illegible]路の事とて急に廢航するは地方[illegible]し四月よりは自由航路として經營する方針である尤も他に希望者出現せば何時にても之に讓り渡しする[illegible]

各局所で取扱つた十二月中の内地小包郵便物數は二萬八千三百九十四個六十六萬三千三百五圓であつて内地發朝鮮宛八萬六千四百六十三個百六十萬五千七百七十六圓で[illegible]

高木金細工店
二十週年大賣出
貴金屬品と時計 一二割引 外記念品進呈
開店以來茲に二十年の星霜を閲しましたは是れ偏に皆々樣各位の御引立と御贔負の賜と存じます』其祝意を兼ね聊か御禮のため正價より二割引、外記念品進呈、賣出し致しますれば、是非共御來店の程お願致します
一月十日より 一月二十一日迄
京城本町一丁目
電話本局九一一番



既製帳簿類品揃
和式洋式 在庫種類 五十餘種
カタログ進呈
京城市内御申越次第參上可仕候
文房具類紙類印刷測量器用具 郵便切手局 京城本町一丁目
シノサキ商店
電話本局一五四 振替京城一一八四

實印盗難廣告
小生從來使用中の實印去る一月十日盗難に罹リ候間爾今無効とす依て此段廣告候也
一月十三日 田中嘉助

滿員御禮
岩見重太郎
運轉手榮吉
荒原の秘密
本戸止の大盛況
押すな／＼大人氣
喜樂館

購買 陸軍倉庫
詳細ハ一月十四日以降朝鮮官報ニアリ

みみの病
耳だれ等耳の病に實驗療法 耳なり耳遠くり中耳炎
播州明石市相生町 ヒヨタンヤ 知らす

胃腸の健全は活動の根元なり
胃腸の衰弱は人生の過根なり
偉大なる發見は偉大なる使命を負ひあらゆる胃腸病者に一大福音を捧げんとす
茲に 篠原胃腸丸 あり
謹れたる生理病理研究家篠原翁が多年研究に沒頭し三大學説を一丸となし、遂にかゝる靈藥の創成はなれり、然し其功如何に之が卓効に自信あるかは十有七年の各階級を通じて實驗實證されつゝあるを見ても明かなり、今頃く御試用あらん事を
朝鮮總督府參考品
篠原胃腸丸
發賣元 貴生堂藥品店 京城府本町二丁目 電話本局一三八一番 振替京城七六一番

妻育儀豫テ病氣ノ處十二日午前九時死去候ニ付當所本願寺ニ於テ十四日午後四時半告別式相營可申謹告仕候
大正十四年一月十三日 永登浦 豐田正平

十三年大連貿易概況(一)

大連商業會議所調査

大正十三年に於ける大連港の貿易に就ては十一月迄の主要品貿易額は明かであるが十二月分と並に一ヶ年を通ずる主要品以外の雜品は尚ほ不明であるから今茲に確的な實數を擧示し得ないが十一月迄の主要品輸出入額の實數に十二月の豫測額を加へ更に主要品以外の雜品に就ては假に過去三ヶ年間の平均計數に據る事として算出し以て昨年に於ける大連港の貿易大勢を察知する事となしたのである(大連)

關稅

關稅の收入增減は大體に於て貿易の消長如何を豫知する事が出來る即ち昨年に於ける一月より十一月迄の關稅收入は四百六十七萬千八百十円で之を一昨年同期間の五百十六萬九千七百円なりしに比すると四十九萬七千九百円の減收即ち九分六厘の減收を來して居る今之を各稅種別に對照すると次の通りである(單位円)

各稅種計		收入額
輸入稅	十二年	一、九〇二、八四六
	十三年	一、四六六、二一五
輸出稅	十二年	二、六七、六〇三
	十三年	二、一一、八二〇四
沿岸貿易稅	十二年	三五、六五五
	十三年	四五、四八五
子口稅	十二年	五六、一九三
	十三年	一七〇三
噸稅	十二年	五二〇
	十三年	[illegible]
合計	十二年	五、一六九、七八六
	十三年	四、六七一、八五六

一、主要品輸入高豫想

一月より十一月迄の主要外國品輸入品價格は五千七十七萬五千円を示し之を前年同期に對比すると實に一千三百六十七萬五千円の激增を來して居る然して各品中主たる增加を見たのは鐵類鐵材チャンネル鐵其他の金物類窓硝子紙材料燐寸原料石油印刷用紙胃塗類油類などで小麥砂糖機械部分品が最も著しい增加である即ち機械工具金物類及び工業原料等の增加は鐵道用品の購買が多かったに依るは勿論であるが大體に於て企業界の稍活況を帶べるに依ると認めてよい其他小麥粉の輸入增加は北滿小麥の不作の爲で砂糖の增加は前年輸入の激減せる反動とも認め得るのである更に輸入品中減退せるは綿布類紙巻煙草枕木米日本酒石炭等で特に輸入の大宗とも見るべき綿糸布輸入の不振であったのは支那品の輸入高實數は一千百四十三萬八千円で前年同期に比すると實に二百六十六萬七千円の增加である其增加の主たる綿糸綿ブランケット綿花米小麥粉等で減退せるは金巾土布紙巻煙草紙類絹織物等及び燐寸等である

輸入

主要品輸入豫想

次ぎに主要輸入品の十二月中に於ける輸入豫想高は恐らかと言ふと前年同月中の主要外國品輸入高五百五十六萬八千百四十八円主要支那品輸入高百八十三萬六千七百二十三円合計七百四十萬四千八百七十一円であったから昨年十二月は前年輸入額に對する一割增見當を見込めば實數に大差なかるべしと言はれ該計算にて算出すると昨年十二月中の豫想輸入額は外國品及び支那品を合せて約八百十四萬五千三百五十八円となるのである故に昨年一月十一月迄の輸入實數と並に十二月中に於ける輸入豫想額とを合計すると昨年中に於ける主要品の輸入額は七千百三十五萬九千三百七十六円を算する事となり是は十二月の豫想額を加へたのだから輸入豫想額には相違ないが略實數に近いものと認めてよい然して今之を前年なる十二年の主要品輸入額五千百二十六萬九千九百六十三円であったのに比すると實に一千八百八萬九千四百十三円の增加即ち三割三分の輸入增加を來せるもので昨年中に於ける大連港主要品輸入の狀況が前年に比し如何に活況を示したかの一斑を窺い得る事が出來るのである

雜品輸入額豫想

主要品以外の雜品輸入額は恐らかといふと之を過去數年の實績に徵して見て雜品輸入は必ずしも常に主要品の輸入額に比例し居ると云ひ難きも此輸入割合を示すと次の通りである

十年中輸入割合

主要品五九、一七七、六八六円
雜品四〇、九一四、〇〇五円
主要品に對する雜品の割合六割九分一厘

同十一年中同上
主要品五六、七四二、四七四円
雜品三六、二五三、六九九円
主要品に對する雜品の割合六割三分九厘

同十二年中同上
主要品五三、一二六、九六三円
雜品四二、七一八、六三〇円
主要品に對する雜品の割合八割二厘　平均割合一分

即ち以上三ヶ年の割合に徵すると主要品に對する雜品の割合は大體に於て特別事情のない限り七割內外であると見て大差はない今此割合に依って昨年中に於ける雜品輸入額を算出すると主要品輸入額七千百三十五萬九千三百七十六円に對する七割一分即ち五千六十六萬五千百五十六円が略實數に近かるべき雜品輸入額といふ事が出來るので之を十二年中の雜品輸入額四千二百七十一萬八千六百三十円なりしに比すると約一割八分の增加となるのである

主要品及び雜品

輸入總額以上掲げ來た主要品輸入額七千百三十五萬九千三百七十六円に雜品輸入額五千六十六萬五千百五十六円を加へたもの即ち一億二千二百二萬四千五百三十二円が昨年中の大連港に於ける輸入品總額といふ事になるので之を前年なる十二年の輸入額九千五百九十八萬八千五百九十三円に比すると二千六百三萬五千九百三十九円の輸入增加即ち約二割七分の增加に當つて居る

岐路に立った新義州中學校

積極的に進むか消極的に納るか　神保學校組合議員語る

【新義州】昨春四月から開校する新義州中學校に一般の期待して新義州の發展をも脫寄し得られる方法を講じて貰ひたいと云ふ叫びを背負ふて生田平北道知事と萩谷新義州府尹が團を帶まし明年三萬圓に努め移動の結果關係者が五千圓の寄附をせば其望みを實現すると云ふた譯な由でから目下五千圓の金は容易だがそれでは聊か難局を缺ぎ加ふるに至つくめの本府では該五千圓の出費で實任逃れと云つた調子で肝心要の新義州中學校設置を等閑にされては一大事と其處に何とか妥協點を見出すべく盛んに交渉を重ね更に新報の如く生田知事萩谷府尹の出府を見るに至つたが其實す手捌は果して何が入つて居るであらうか一方府民は五千圓の出費を見ずして何とか設置と妥協し來年度即ち大正十五年度は仕ふにか承諾して是非共新義州に官立中學校を設置したいと云ふのが希望である以上府尹や知事が此の五千圓のお金を取敢して歸つて貰ふよりは寧ろ素手で歸つても翌年の來年度に中學校設置の程度を擧めて貰ひたいのである然する積極的か消極的かと云ふ分岐點に在るからは現在は不利益でも永遠の策を講ずる事は人情として一歩に踏む處であらう右に就て中學校設置委員の中堅として活躍しつゝある學校組合議員神保信吉氏は語る「新義州としても晴虎の勢ひ止むを得ず該當承諾したと云ふ立場から生れた誤東中學校と見れば一學級制度を今更二學級制度と改め新義州の兒童を收容する譯には行くまい此の際で新義州から五千圓の寄附要求は無ない以上新規機關には乘れないと出るのが妥當の際にも思はれる然らば此の際新規機關としては如何に態度を決するかは大に考慮する問題である即ち五千圓は決して巨額では無いが一方新義州には高等普通學校がある此の高普に中學部を置いて近き將來に新義州中學校が生れる迄繼續するとしても僅々六千圓の經費があれば事足るのである、尤も六千圓では多少の無理が伴ふかも知れないが高普學校に新設學校の教諭の兼務が無理な説となり講師と兩方なり又民間有志でも無報酬で敎授を執ると云ふ篤志家が可成りある見受けられるから却つて立派な敎育が施されると思ふ故に余の意見としては如何にしても五千圓の寄附を當局に提供せねばならぬのならば該金は總督府から頂戴せず新義州の理解者の寄附を仰ぎ必ず總督府からは新義州中學校設置の延期の口述を作らせぬ事が肝要であり又一歩を進めて新設の六千圓をお互が捻出して高普校內に中學校を併立し兒童に敎育を施しつゝ中學校設置の基礎をかためる事である、斯う二つを並べて見ると後者の方が中學校設置運動上遙かに有効の様に思はれる而して運動員たる我々は飽迄貫徹せねば止まぬ決心を有し萬一十五年度設置を見ない時は一同潔く其責を負ふ覺悟である一同は知事府尹の歸任の結果を聯取し一歩に立たねば取り返しのつかぬものと覺悟せねばならない

朝鮮米の口米廢止問題

生産業者と貿易業者の意見　—愼重考慮を要す—

【仁川】由來內地各方面に於ける朝鮮米業者の朝鮮米の取引は從來から品質粗惡なるものとして其價値を認めない傾があるので、之が對抗策として鮮米移出の促進上止むなく口米制を執り來つたのであるが、近來同米に相當その評價を高揚し、殊に好評を博して居るから斯る不利な態度を持續するの必要なしとの見解地方業者に起り昨年當局との打ち合せ會にも要求されたが更に又當業者の聯合會に於て近く研究を遂げ其筋に建議する筈らしく仁川に於ても十七日頃當業者の態度を決定する模樣の如くである而して右に就き某當業者は時期尚早の意見を持して曰く「成る程、理論に於て鮮米の聲價は昨今躍進し升切れの怨なき上に石に一升二合五勺の口米を添ふるの採算上不利なるは明かな事實で假りに移出米四百萬石と見ても毎年五萬石の口米は消えるのであるから之を石三十圓とすれば優に百五十萬圓の損をして居る譯であつて當業者の要求も無理からぬ事と諒解される、が然しながら若し今日に於て此口米制を廢止した時果して如何の結果を招くか、實行した上でなければ可否の速斷を許さぬもの、隨して觀

馬晉間交通連絡完成

【晉州】從來馬山晉州間の自動車運輸狀況は主として兩地間の直接連絡に重きを置きたる爲め馬山郡北間の交通連絡の便宜を有しない不便の經濟狀態の嫌き觀を呈し汽車の便がある現狀を遺憾とし馬晉間自動車組合に對し交通連絡の妥協を講じる様に晉州自動車組合の窓田、杉の兩氏は馬山の渡邊、吉村兩氏と共に門傳氏と會見して自動車營業の經營に伴ふ諸種の處置に就て雙方の諒解を求め過般一月二十日より汽車、自動車の連絡を完全にする協定を遂げた、晉州方面から乘客に一層の便宜を得る事となるであらう因に二十日後の自動車運轉方針は左の通りである

一、郡北馬山間は絶對必要以上に運轉せざる事とし郡北晉州間の經營に全力を傾注し郡北駐在の豫備車を充實して一般乘客の便に供ふる事

一、馬晉間の運賃制度は中途乘客の便宜の爲め一日二往復の運轉をなす事

在の格付以下に低落される虞はないか口米制廢止の爲に內地に於ける鮮米の聲價を傷つくる樣な事があつては折角此處まで漕つけた努力も水泡に歸する譯で今俄に之を實行すると云ふ說には遺憾ながら時期尙早の故を以て反對するの外ない、又本問題に就ては生産業者と貿易業者との間には自ら反對の意見があるやうである、即ち生産業者が口米廢止の必要を說く理由より寧ろなりと雖も、貿易業者としては又口米制の撤廢こそ、鮮米の下に現狀維持を希望して居る樣である、さて聯合會が如何なる決議をなすか、是は餘程考究を要する問題と思ふ云々」

治山治水と平南の山林

緣故林卅三萬町步は近く讓渡されやう

【平壤】治山治水の必要を痛感せらるゝ際總督府に於ても治山治水に依つて當道されるや全鮮各道の山林事業は一度にウケに入り當事者は大喜びであるが平安南道に於ける山林狀況は國有林十三萬町步私有林三十三萬町步緣故林野六萬町步(內五千五百町步拂下濟み)民有林二十三萬町步要保存林三十萬町步(內山林課所屬林野十八萬町步道地方費所屬十二萬町步)合計九十五萬町步で前記緣故林三十三萬町步は本府の方針に隨つて早晚處分をみる事になつてゐたが聞く所に依ると近く下附緣故は此れを各緣故者に讓渡する案を提げて東上するとの事で總督府の一大英斷と言はれてゐる、尚ほ平安南道に於て今後拂下可能の山野は前記不要存林野三萬町步で殖林を要する未立木地帶は緣故林と民有林中に約十萬町步を有し此れは下賜金の親職に猶るか讓るかだざうである要保存林の三十萬町步中の無立木地は一割の三萬町步內外で主として火田の被害地だと云ふである

浦項鰯漁獲高

迎日漁業組合調査に係る大正十三年十二月中鰯漁業者にて鰯漁獲高を聞くに定置漁網にて千八百二十圓(一同二千尾)巾着網にて百十五圓(一同二千尾)合計千九百三十五圓此價

慶源市內電話

【慶源】咸北慶源邑の市內電話は一時見込なき如くなりしも最近に至り又もや盛返し二十七名の加入申込あり、其筋でも三十名に達せば可能性があらふとて頻りに勸誘して居る

忠南知事管內巡視

【公州】忠南道知事石鎭衡氏は十四日より左記日程に依り消防、地方狀況視察の爲め管內巡視の筈

▲十五日天安溫泉里▲十六日禮山▲官陽▲十七日唐津▲十八日瑞山▲十九日洪城大川▲廿日舒川▲二十一日群山韓山江景▲二十二日江景論山▲二十三日扶餘▲二十四日論山經由歸任

忠南郡守會議

【公州】既報の通り忠南郡守會議は十二日午前十時より道廳會議室に於て開會したが石知事の訓示あり林參與官左記知事より郡守に對する指示事項に就て說明を爲し午後四時閉會五時より食堂に於て懇親會を催した

一、公務員の送迎等廢止の件
二、臨時戶口調査に關する件
三、地方公共團體の經費緊縮に關する件
四、事務簡捷に關する件
イ、會規の簡約
ロ、報告の整理
ハ、會議並請負會の省略
ニ、緊文稱謂の改正
ホ、分掌規程の改正
ヘ、事務分掌を細分せざる事
五、下級團體の事務監督に關する件
六、面職員採選の件
七、地方諮問機關の調査に關する件
八、地方公課の滯納整理に關する件
九、恩賜御下賜金に關する件
十、奢侈品輸入稅法の實施に伴ふ生産增加の獎勵に關する件
十一、治山事業に關する件
十二、旱害善後の施措
一、面採種畓生産穀に對する代用穀の收納並地主の補給に係る種穀に關する件

一、旱害救濟種子及製造種子並原料の補給に關し注意方の件
イ、種穀及肥料麥種補給に關する件
ロ、製造種及原料麥補給に關し注意方の件
ハ、食糧補給に關し注意方の件
二、土木工事に對する勞働賃金の件
十三、大楠殖桑苗肥培管理に關する件
十四、道路の維持修繕に關する件

幼稚園廢止

【鎭南浦】既報の如く鎭南浦小學校附屬幼稚園は組合では唯一の財政緊縮策として其經營を府に移管する事にして居るが府にてはこれが經費の關係上一方鎭南浦所在の佛教各派の經營たる佛教和敬會では組合經營の幼稚園廢止後は同會の事業として經營すべく既に各方面との折衝に努めて居るが一部府民並に學校組合議員間には歷史ある同幼稚園を區なる財政縮のみの爲に廢止する事を不可とし管理者たる府尹に反省を求む可く諸開したものもあり現在では三分の二しか無い折衝が此事大問題を惹起して將來非難さるゝ樣な事があつては事の屬を抱くものもある實際々此際府財政に就ては一般に相當勢力を持つて居るが一部府局の指令に延びの爲め目下豫算編成も大繁忙中にある當局にも府協議會を催して對し府協議員選擧を行ふにしても

釜山經濟概況

【釜山】朝鮮銀行釜山支店の調査に係る釜山に於ける昨年十二月中の金融並に經濟の概況を聞くに米穀は新穀出盛り季と一部年末資金の關係に依る處分物も現れ出廻り一時旺盛を極め內地酒造米及定期渡米等の需要に依り內地向移出盛況にして之等資金の需要又は一時的增加を呈せるも歲末に向ひ年末期迫に伴れ當地市況は內地米價保合の影響を受け移出向不振にして兼ねて米價暴落の步調を辿り三等玄米月初三十六圓八十錢なりしに月末三十五圓八十錢と下押し七十錢を唱へたり大豆は出廻り殆と激減の爲市況强調を辿り內地よりの買氣ありて在荷品薄に依り堅張し月初十九圓六十錢月末十九圓九十錢と卅錢月末二十圓二十錢と一錢に上向を呈せり海產物は關係の好況に刺戟せられ南支向並に長崎方面よりの買氣旺盛市況頗る強調を呈せり綿糸布は鮮內旺盛に係る三品市場の好調と舊正月を控へ地方需要擡頭に依りて當地市況頗る活況を呈せしも歲末近くに至り金融關係及正月明初相場弱氣の爲め相場兎角軟調みの狀態を呈し月末三A粗布三百六十圓月末三百三十五圓双女十手綿糸月初百八十四圓月末百七十五圓を唱へたり、砂糖は世界的豐糖及配給の增收は地場問屋筋に於て先安を懸念し相場も亦保合の狀態を持續し一般に行渡りの折柄新糖の出廻りもし年末需要期なるも地方へは送荷あり商狀不振相場も月初エスエチ十五圓三十錢月末二十四圓四十錢と下押を唱へたり、麥粉は原料小麥の世界的減收と爲替關係に由り內地市況好調の影響を受け當地市況頗る硬化し加之地方貿易筋の買氣緩に由り頗る活況を呈し錢ダイヤ月初四圓十五錢月末五圓廿五錢を唱へたり、金融の概況は銀行の貸出成績に就き觀るに預金一千六百二十二萬七千圓貸出二千七百五十五萬九千圓を算し前月に比し前者に於て百四十四萬七千圓減少し後者に於て百五十五萬六千圓增加し又前年同月に比する時は預金に於て二百二十九萬一千圓貸出に於て一百六十七萬五千圓何れも增加せり、尙又本月手形交換高を擧ぐれば交換枚數四萬一千五百四十四枚此の金額二千二百七十四萬二千圓を算し前月に比し一萬四十九枚金額に於て七百五十一萬四千圓を增加し又前年同月に比すれば枚數に於て四千九百六枚金額に於て五千四百四圓を增加し居れりと

三等有功章下賜

十二月二十日附にて愛國婦人會總裁東伏見宮妃殿下より左の諸氏に對し三等有功章を下賜された(光州)

土師志滿子　五味喜子
增田ノブ子　千原十寸子
洪善卿

豫算編成役員會

【釜山】釜山商業會議所では來る二十日頃役員會を開き大正十四年度の豫算編成を爲す筈であつたが右期日頃には役員の多くに差支があると云ふので

本年度は餘日少き爲各種作製並に縱覽期間等を見る時は早くも三月末でなければ選擧は行はれず

大田氷滑大會

本社大田支局主催　十八日燕堤湖上にて擧行

【大田】嚴寒の襲來と共に最も歡迎されるスケートは其他の期待しつゝあるも未だ適當な地が得られてゐなかつたので大田地方は此五六日前の酷寒に依り燕堤湖は完全に結氷したので來る十八日午前十時よりスケート大會を開催する事とした大田に於ては最初の試みであり當支局では非常なる人氣を呼び猛烈なる練習を始めてゐる

人事相談と社會救濟事業

【平壤】平壤府當局の人事相談係其他の社會救濟事業に關係は人事相談と社會救濟事業に關係して居る、現今府の職員で行つてゐる人事相談なるものは未だ十分の働きは出來てゐない、と言ふのは口先の相談に應じるばかりでは實際救濟の實は擧がらないから、此の缺陷に自覺して北海道と樺太などの例に倣つて救濟を目的として簡易な工場などを經營してゐる、假りに簡易な工場などを經營してゐると田舍から逃げて來た樣な青少年に對し都會生活の不可を說いて再び田舍に歸らしむる樣な場合其青少年が路銀を所持せぬ樣だつたら警察監督の下に工場で働かせ路銀を造つたら歸

春川圍碁大會

【春川】春川俱樂部主催本社春川支局後援の圍碁大會は十一日午前十一時より同俱樂部に於て開會した參加するもの三十八名遠く洪川よりの參加もあり非常な盛況を呈した、勝負は五人拔とし伊井、吉田、山中、藤澤、桑畑等の猛者連を始め各々鎬を削つたが結局全勝者一名もなく四勝者七名となつたので五時半より勝勝戰に入り左記の成績にて本社の優勝メダルは一等の矢岡氏の手に落ち八時半閉會した、因に當地圍碁界の權威泉三郎氏が十二日より知事出張の爲め公務に差支へ顏を見せなかつたのが淋しく見られた

一等警察部矢岡武　二等洪川崔川參與　三等殖銀田邊　四等春川郡桑畑　五等實業家吉田

鎭南浦に貯炭場增設

工費二十萬圓

【鎭南浦】既報の如く鎭南浦の貯炭場の設備は其他諸種の點から鎭南浦港より石炭の移出は最も便利とし且つ將來之れ等の輸移出は殆ど無盡藏と稱せらるゝ保留炭田を控へて居る爲に逐次增加すべく之が爲には鎭南浦港現在の設備では到底此大量貨物を收容し得ぬ爲め貯炭場の增設を要望されて居たが昨今の風聞に依れば平安南道に於ても目下鐵道局に申込中の所鎭南浦港の海岸埋立地たる加德島に工費二十萬圓を投じて起工することに決定したと。

清津出初式

ゆつくり擧行

【清津】清津消防の出初式は益々延へて居たが來る十三日と決定、當日午前八時府廳に整列し長官陸寒勵の器具點檢、服裝檢查などあり、盛長と三上新府尹の訓示終つて十一時より消防演習地にて消防演習を行ひ、午後二時からは消防慰勞宴を張つた(清津)

大田武道寒稽古

例年の通り大田憲兵隊、大田警察署、大田刑務所の武道家稽古は大田中學校、大田中學校市毛、吉澤、西田二師範指導の下に練習を開始し去る十二日より二十八日迄朝一時間大田中學は本月午後四時より一時間大田署は本月下旬擧行さるべき忠淸南道各警察署聯合武道大會が二月初旬に迫つたので職員に必勝の意氣を示し擧行されて居るが此の際追野署長は警官に對し勤務に支障を生ぜざる限り稽古を獎勵して居る(大田)

平北師範生募集

(平北)平北師範學校では來る四月入學せしむべき同校特科第一學年及講習科生徒を募集する由であるが右志願者は二月二十日までに入學願書と履歷書を提出すれば宜いが內容は最寄の郡守若くは公立學校に聞き合せれば判る(新義州)

平壤雜筆

▲平壤府では一月十日から學齡兒童の入學願書を受付けてゐる、十一十二の兩日で三名出願があつた、今年は三百七十八十名內外の見込である

▲羽黑鍍といふ江西郡江西面鑛山里居住の耶蘇教信者は耶蘇教で六千圓程拐帶をしたので氣が狂ひ、友人數名は同人を保護して教會堂で快癒の祈禱をしてゐたが十一日夜祈禱の際に乘じ縊死を遂げた

▲共進會シーズンになるので各地から出品勸誘に接し平安南道產業課では多忙を極めてゐる、努め

大邱穀物組合總會

【大邱】大邱穀物商組合にては十一日午後一時より大邱東本町芳千閣樓上に於て大正十三年下半期定時總會を開催

一、大正十三年下半期組合事業成績報告及收支決算報告並剩餘金處分案承認に關する件
一、大正十四年上半期組合收支豫算案承認に關する件
一、新加入(佐藤良平の成業)申込に關する件

に就て附議し原案通り承認更に役員の改選を行ひ左記の諸氏當選した正副組合長は更に十四日役員の互選に依り決定する筈であると而して無事閉會後同六時より同所に於て官民有志招待の大新年宴會を催した

若林眞助、「株式會社朝鮮物產商會森田謙太郎」、內山好亮、古谷治朝、木村德治、鄭鎔東、李相武、坂本俊貞、森漢吉、「松原洋行支店田村田」徐相日、徐相鉉、秦敬洪、「大邱穀物株式會社藤實三郎」

朴知事巡視

【楊口】[illegible]朴知事一行は十二日午前十時[illegible]午後一時官民多數の歡迎を受け楊口に到着した(楊口特電)

生徒へお年玉

【平北】平北鐵山郡在所小松田署部補以下各署員は數十圓を醵出し和昌普校生徒全部へ風呂敷を御年玉として寄贈をなした(新義州)

地方集會

▲前郡長送別宴(天安)天安消防組員は前天安警察署長井上修氏の爲め九日忠南旅館で送別宴を開いた

▲金知事以下歡迎會(元山)元山官民有志は金咸南知事及び道新任幹部、木村元山府尹、岡田郵便局長、神宮警察署長、板垣稅關支署長市岡東拓支店長、山根要塞司令官等の新任者の爲めに十日夜丸秀樓に於て盛大な歡迎會を開いた

▲禮山婦人新年會(禮山)十日禮山小學校に於て內鮮官民有志婦人四十餘名參會新年會を開催した餘興に琵琶手品等あり盛會であつた

▲春川愛國婦人新年交禮會(春川)愛國婦人會春川支部では十日土曜午後一時より知事官舍に新年交禮を兼ね役員會を開いたが知事參與官各部長等の夫人を初め出席者四十二名知事の挨拶に役員打合せを了し筑前琵琶手品等の餘興があり午後五時盛會裡に閉會した

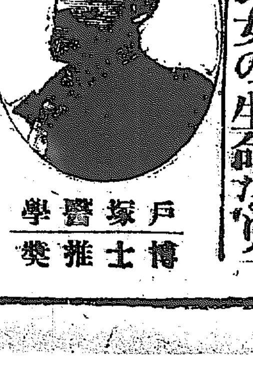
▲穀物商組合新年宴(大邱)大邱穀物商組合にては十一日午後六時より大邱東本町料亭芳千閣樓上に各官公署銀行會社の主腦者及び在邱各新聞通信記者等を招待して新年宴會を開催したが校書連酒間を斡旋し其の間餘興として美妓の手踊數番あり各自十二分の歡を盡し無事盛會裡に散會したのは同夜九時過ぎであつた

地方人事

▲植木高氏(新任東拓大邱支店長)十日各方面歷訪(大邱)
▲裕井氏(新任東拓大邱支店事業主任)同上
▲古城卓四郎氏(忠南內務部長)歸省中の處十一日歸任(公州)
▲岡田政雄氏(鎭南浦署長)轉任挨拶並家族引越等の爲十一日上野部長を隨へて新任地新義州へ十四日歸任(鎭南浦)
▲岩井總督府建築課長　十二日朝來釜(釜山)
▲倉島仲男氏(釜山署警部)十三日着任(釜山)
▲深瀨貞一氏(水上署警部補)十三日着任(釜山)

性慾——は男女の生命なり

戸塚醫學博士推奬



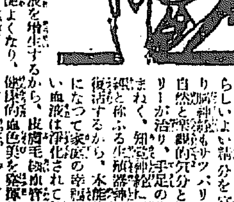
回錠　トッカピン

男……は強く逞しくなれ

其の精神は、意氣軒昂として闘爭的勇氣に富み、其の筋肉は、太くたくましくて彈力の强いのが男性の特徴である。その特徴の著しい程、男らしい男であるが、世の中には体力虚弱で少し運動しても非常に疲れ息切れなどして抵抗力なく、気分沈鬱して頭內朦朧グズグズの人が多い。斯かる人を一概に薄志弱行といつて責めるのは無理である、それは心身過勞又は手淫、房事過度の為め腦脊髓神經衰弱、生殖器機能の衰弱に歸つて居る病的狀態であるから、「トッカピン」を服むと、[illegible]した精力が補充され、自ら發する[illegible]の如くに生ずるのである。而して生殖機能は全身元気の源泉で性慾即ち生命といふ位のものであるから、同時に腦力までも復活し、氣魄々として元氣全身に緊張し、活動せずには居られない様になる。尚ほ血液を新鮮化し血管硬化を若返らしめ、中風、腦溢血の危險を去ると共に、[illegible]人生無上の幸福を增進すること[illegible]所である。

女……は溫かく美しくなれ

其の心は、愛情圓滿として溫かく、其の肉は曲線的にやさしく美しいのが女性の特徴である。その特徴の著しい程女らしい女であるのに、世間にはその心が險しく冷たく、疑ひ深く、少しの事にも目を吊上げ胃筋を立てたり、クヨクヨ取越苦勞などして健康を害へ、血色が白く[illegible]顏になり、愛の水分を窒しくして、夫に意外の不満足を與へ自暴を起させる様な婦人が多い。是れはヒステリー症、神經衰弱、性慾欠乏症に罹つて居るのであるが、「トッカピン」は、[illegible]



中の[illegible]らしいよい精分を富ましむるより腦の神經もサツパリして頭が輕く自然と樂觀的気分となり、ヒステリーが治り、手足の先まで溫かに[illegible]復活するから、本能的に[illegible]になつて家庭の幸福となり、又い血液は淨化されて色白く美しくなり、鉄血剤は良き血液を增生するから、皮膚毛髪血管の緊張も生じ、小皺なく、色艶よくなり、健康的血色美を發揮し、自然にやかな愛嬌のある美しい容色となる。此の結果を見て「トッカピン」は、婦人以外の長い歲月の副作用として、一番適當であるといふ評判が、最も勝れたる內服的美身剤として、婦人の色を白く美しくする盛んに愛用しつゝあります。世の何物にも勝る本剤の実際的効能を、あなたも早く實驗されて好評の声を在々大ならしめて下さい。」

海外までも名声口に高き……

生殖機能—復活
神経衰弱

精力、腦力增進高貴薬
戸塚医学博士推奬
「トッカピン」

◎健康男女も
未婚、既婚の青年男女、中年壯年も老人も虚弱者も、常に服用せば、精力腦力の衰へを防止し、且つ一層增進して人生に成功さる秘訣なり

定價　二十五錠金三円(試用分)　五十錠五円　百廿錠十円　二百八十錠廿円(大徳用)
用量　一回一錠一日三回

發賣元
東京銀座新肴町八番地
大阪東區[illegible]
丁子屋藥房
電話[illegible]　振替[illegible]

全國有名藥店に有り
東京　大阪　三越　白木屋藥品部　大每代理部其他
[illegible]

文化生活とは（三）

一に科學的二に藝術的三に哲學的又は宗教的

文學博士 三宅雪嶺

◇哲學的と宗教的と方向を異にしつゝ藝術的欲求を除する上に歸一の働きをすることがある。一種の人生觀を立て、美的生活を是認することもあるが、又別に一種の人生觀を以て美的生活を否認することもある。

◇或は哲學的推理を進らず、直覺したとして疑はず、そのまゝ通して行かうとするのがある。美的生活と調くなるか、又は之と反對になるか、その人の信仰次第である。

◇科學的に生活するを以て滿足せず、別に滿足する方法を求め、世間の快樂より離れ、そこに特種の滿足を感ずるに到る。文化生活は更に重きをおく生活より、更に重きをおく生活に移るにありとする。

◇各々自ら是認する所を固執し、互に相容らずとあつては文化生活は錯覺夢遊に淪落くか。

◇そこは昔から言ひ傳へ來つた眞善美の三を合すべきものとせぬか。

◇この三つが鼎足の形をするのは未だ微妙な論據を經ず、假定に過ぎぬとするのもあろうけれど、今日までこの假定を不必要に歸するに至らず、これを不必要とするものあれば、自ら或一面に閉ぢ籠り他を否認することが出來なくなつてをるらしい。

◇眞美は兎も角、今日は眞善美を以て人生の指て進む所とすべきではないか。漠然であり、論理を缺いでをつても、恐らく先は其邊にありはせぬか。

◇その眞善美に重きをおくのは眞、藝術に重きをおくのは美、哲學又は宗教に重きをおくのは善。文化生活とは之を總括して稱するものではないか。

◇ところで初め文化生活の語を聞き、生活改善を思ひ立つたのは、衣食住に關かるところある人で、あつて、無駄の省けるやうに考へ努めて之を一つにしようとしたりした。二重生活は無益であり何彼につけて無駄多く、さりとて洋館をそのまゝにしても老人が不便がり、田舍から客の來たのに困るとして、その折衷案を立てたりした。附近會の文化村の如きものが既に幾つも實現してをる。バンガロー式で更に念の入つたのがいろいろある。

カルタ早取秘訣（下）

圖書會幹事 黒木朴

御手付き これは勝敗に關する大事故で悲しき勝敗を左右するものですから可成御手付きせざるように注意すべし。何となれば御手付は二枚の差を來すからであります殊にダブリ又は空ダブリの時は三枚四枚の差を來します。

これで早取法の戰略を述べたのですが御作戰的に敵を術中に陷入れる方法として誤ひがあります。出札の友札又は類音の札の上に迷かに手を出すことです。これに依つて敵は無意識に手を付くことがあります。これは一字極まり二字極まり時に三字極まりに有效であります。

待札にて讀はれたる時は極まり字が出る迄手を動かすが、同時に離け隙を懸けることに依り有効のことがあります。

尙上の句の配列法にて『明けぬれば』と『百敷きや』と置き換へ又は『花の色』と『月見れば』『秋の田』と『君がため春』とを置き換して置いて敵の御手付を期待するのです。この法は可なり上手な人でも懸かることがあります。

◇その外一定の札に注意せる如く見せその札に敵の注意を集中せしめ他の札を拔き取ることも肝要なる戰法であります。

要するに早取法は、暗誦配列法を研究して戰ひに臨んでは敵味方の札を充分記憶し極まりの變化に注意して敵の術中に陷入らざる如く勉めるのであります。而して練習は自己より上手なる人を選び常に自己の全精力を用ひ、大敵を恐れず小敵を侮らず謙讓に敵に對することが肝要であります（完）

京城雜詩（四）

石川美代治

鐘路通り

安くしてやつてくれ
羅衣の下から五錢白銅がこぼれたよ。
――俺達の生活は未だ遠い――
女郎のにほひを嗅いで行く野良犬だ。
蓄音器に飲ててゐる人々よ。
せんだつて雨降りに
履きつけない靴だつたからころんだのだ。
暗闇の裡を行くのは氣持のいいもんだ。
日が暮れたら
教會の鐘が鳴るだらう。
友よ――行かうよ。
人間つて云ふ奴が嘘つきでなかつたら……
友よ――いかめしい兵隊が通るではないか。

耕牛……鈴木蝸牛洞氏筆

講談 出世壽老神（四）

名作 小金井蘆洲

かね『アラまだお酒の事を云つて居る、お酒ぢやアないんですよ』等『イヤ是ア內儀さんか』かね『今良人が歸つて來ましてね、何だかお前さんに少し用があると云ふんです』等『アヽ親方がお歸りか、イヤ其は有難い、多く御常家に人數はあるけれども、語るに足るは親方お一人だ』かね『又彼んな大層な事ばかり云つてゐる』等『イヤ商ぐに能越さう』又對手が代れば飲めるものだ』かね『まだ飲む氣ですか、アレ危ない』等『大丈夫く、落込んだ所で死ぬ道遣ひはない、……イヤ是はく親方お蹈り』又『イヤ先生、大層好い景氣ですね折角お踊みになつてゐる所を邪魔して濟みませんが、初めて私から貴所にお願みがある一ッ聞いて戴きたい』等『何だか知らんが、是だけお世話になつて居るのだ、私の身體で出來る事なら何でも承知をしやう』又『それアどうも有難う存じます、外ぢやありませんが、明日一つ私の名代に駕籠町の水月といふ家へ行つて戴き度いんで、實は私明日心願の近傳といふ御客の旦那のお供で奈良へ參詣に行くんで、寄合へ顏出しをする事が出來ません。それで貴所に一ッ行つて戴いて、帳場が立つて居ますから、そこへ行つて建具屋又右衛門の親類の者だといつて下さい。會費はモウ先に拂つてあります。構はず二階へ案內されて、宜い所へ席にお附きなさい。醫者なども大勢來て居ませうし、客と云ふのは四五十人で皆御城へ出入の職人ばかりですが中に角大獸の若い者を飾つて居る連中ばかりで掛々賑し騷などのある人達だから面白うございます第一酒なんぞは幾ら飲んだつて文句を云ふ者はありませんから宜い御酒を飲んでお出でなさい』等『夫れは、どうも千萬忝い、賂り越さう』又『夫れぢやア先生そんな服裝おやアいけません、私の着物だから身體に合はないかも知れませんがどうか夫れで我慢をして』と何から何まで行き屆いて世話をして呉れる其日は夫れで濟んで翌朝早く又右衛門は心願通りの質兩替屋近江屋傳右衛門の供をして奈良の春日神社へ參詣に行くので、種々留守の事などをおかねに云ひ置いて出掛けて了ふ。其內に寄合に行く時刻になつたので、おかねが又右衛門の儀式の着物を揃へて持出し、等伯に着せ男は閾を跨いで出れば七八人の敵のあるものだ、どんな又お金の入用が出來やうとも限らないからと云つて若干かの心付けをして呉れたのは流石は派手な落しをする家の女房何から何まで行き屆いたもの。夫れゝは行つて參じますと、等伯は家を出てやつて參りましたのが今の新町其頃鍛冶町と云つた所、土地で有名な水月と云ふ貸席、入つて來ると帳場が二つ立つて居て 女『入らつしやいまし、どうぞ此方へおあがりなさいまし』等『アノ御城內へお出入りの――』女『ア、此方がお帳場でございますからどうぞ是へ』等『エ、今日は結構なお天氣でお目出度うございます』○『へエ何誰樣で』等『エー私は建具職又右衛門の親類の者でございますが今日は又右衛門が參れませんので手前が代理に參りました』○『ア、建又さんの御親類の方で、建又さんどうかなさいましたか』等『昨日から少し風邪の氣味でどうにも今日は頭が上りませんので、お詫一つ代理に行つて呉れろと頼まれて參りました』○『ア、さうですか、其れはどうも御苦勞樣で一寸帳場へお名前だけ記して置き度うございます』

眼のゴミ

眼へゴミが入つた時は、ねりはつか（ねりはつかでもよろしい）をまぶたの上からうすくぬりますしばらくすると淚と一しよに出てしまひます

酒飲むと なぜ酔ふか

アルコールは吸收されると腦に特殊の刺戟を與へる、初めは發揚狀となつて、意志の制止作用がとれて爽快な狀に移つてゆくが、少し度をこゑると、一時的に精神狀態が異變してくる、生理上の酩酊これである

◇更に甚だしい時にはこれを亂醉の狀態といつてゐる。この亂醉時に陷ると、頭痛、眩暈、嘔吐などから胃腸や心臟に障碍を起して、また翌日からさめても、一日か一日位頭痛の不快感があつて、作業力の減退することがある。宿醉がこれである。

◇かうしたアルコールの急性中毒の症狀は、アルコールの分量や體質それに個性などによつて違ふものである。がしかし體質が病的の傾向のある人には、普通の酩酊とは形が全く違つて現れるものでこれを病的の酩酊と呼んでゐる。

◇これにはまた色々の形を區別することが出來るが極小量の酒で異常酩酊を呈するのも矢張り病的でこれは飲酒不堪症といつて別扱ひにされ居るたちのものである、而してかうして病的酩酊は生來の低能とか、癲癇やヒステリー性の人々に來るものと後天性に既にアルコール慢性中毒になつてゐるもの又は頭部の外傷その他による色々な精神病者に來るものをあげることが出來る。

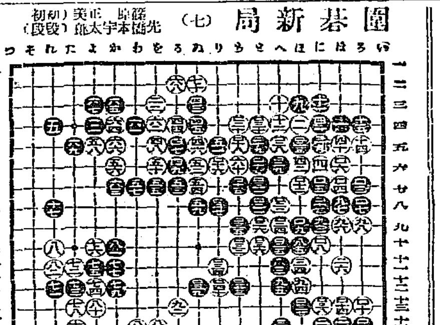
◇病的の酩酊は樣々な形ちで現れるがそのうちでも癲癇性の酩酊といつて飲食中に突發するもので意識が濁つて狂暴の興奮狀態に陷るのが特徴であるこれは必ずしも酒量には關係しない、多くは對手と口論口喧嘩とか不機嫌といつた動機から突發する或時には殺人行爲にも出るから、この種の酩酊は恐ろしい。

◇また譫妄性の酩酊も呪はしいものである、これは長年アルコールを濫用した時に起るものであるが幻視とか幻聽といつたものが主な徴であるが、一瞬に短い時間に過ぎ去るものであるが、その短時間に於て往々に放火殺傷の行爲を果してしまふ、

◇手に負へないのは渇酒症といつて、飲酒癖が發作的に起つてくるものである、[illegible]を與へて愉快にすることが得策とされてゐる、

圍碁新局（七）

先 篠原正美（初段）　本因坊宇太能（初段）



毛布の洗濯法

―もつともよい洗ひ方―

毛布を洗ふには良くふるつて毛の曲に入りこんでゐる塵埃を拂ひ落としてからバケツ一杯位の冷水に大匙一杯のアンモニアを加へた溶液のなかに約三十分位ひたしておく、そして更にこれをねばねばする位に濃い石鹸水の中にやはり大匙一杯のアンモニアをまぜたものゝ中にひたし二三十分位過ぎてから溫水で洗ひ出すのであるがそれには少くも三回か四回は水を取りかへなければならぬ、そしてすつかり綺麗になつたものを三十分ばかり溫水にひたし絞らないでそのまゝ竿にかけてほすのである、絞らないといつても水を切らなければならぬが、それには兩手ではさんで水を押し出すかまたは板で輕くはさんでもよい、また別の洗ひ方としては半ポンドの石鹸を一升二合ばかりの水に入れよく溶解させるために掻きまはしながら煮つめる、すつかり溶けたらこれをバケツ一杯位の冷水に大匙四杯の硼砂と一緒にまぜ合はしこの中に毛布を一晩中漬けておいて翌日になつてからこの水の中でよく洗ひ二三回溫水でよくあらつた上更に卅分位かの溫水にひたしておいて[illegible]に絞らないで乾すのである

家庭 覺帳

頭痛をなほす法

頭が痛んで困るときには、熱くした酢の中で布をさつと絞つたのを額に當てゝ置けばなほる。

足袋を洗つた時

足袋は生乾きのうちに兩端を提へてよく引つぱつて置くと縮まないので大へん、はきよいものである

傳書鳩

…投稿歡迎…
◇紙上の匿名は差支なきも別に住所氏名を明記する事◇中傷や誰者不明の投稿は採らず◇字體は明瞭に十五字詰五十行以內

奥樣と少年乞食

本町一店員

◇貳日年始の御挨拶に出掛けて午後五時頃本町壹丁目安田銀行前を通り掛りますと可なり子供の鮮人乞食が薄いキタナイ紙袢一枚でガタく慄ふて居ます何氣なしに通り過ぎんと致しますと向ふから一人の奥さんらしい人が可愛らしい坊チャンを背負つて急いで此方へ來られますそして乞食の處迄來るとア、無事であつたかとサモ安心したやうな面持ちで手早く袖の中から一枚の婦人著物を取出して乞食に着せてやられました

◇その上財布から銀貨二三枚を取出して與へこんな處に永く居るものではありませんよ凍へて死にますよと親切な言葉を掛けて居られました。

◇私もこの美しい尊い心情に感激して思はずポケツトの中を探して白銅貨一枚を出して與へました、立止つた通行人は皆奥さんの徳に感動してそれぐ應分の喜捨をしたので忽ちの內に七八十錢のお金が乞食の前に集りました。

◇何でもない一市井の出來事ではあるが其の奥樣の行爲は何と美しい事でせう、落ち着いて驕河の辯を以て人道を說いてもその民衆に與へる道德上の效果と云ふ點に付いては殆んど二文の價値もないが斯うした美しい事實がどれ丈け周圍に偉大な深刻なる感化を與へるものかを感じさせられました

とこずれに

長い病氣でねてゐますと床ずれといふのを起します、これにはアルコールを脫脂綿にひたしてふきますと二三日でなります床ずれのほ出來ないうちに此手當をしておきますと、これを起すことはありません

りん病 ばい毒 請合藥

定價 別八圓 特四圓 並三圓
定價 別四圓 特三圓 並二圓

◎本劑りん病藥の主藥は治淋劑として、ばい毒藥の主藥は驅梅內服藥として、世界醫藥學上第一有効と確認せられ帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せられつゝあり。且內務省衞生試驗所が檢査封緘せる高貴藥を配劑せることを保證す。若し分析の結果前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料として金百圓を進呈す。
◎あらゆる治療法を講ずるも効なき患者は死に角最後の手段として當商會に來談あれ。
◎本劑は請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず故に入用の諸子は下記專賣所へ直接申込あれ。

發賣元
關西 大阪三休橋北詰 電話船場一六一四・二三四四番
關東 東京日本橋通四 電話大手一〇七七番・三三八四番
有田ドラッグ專賣所

京城 黄金町 鐘路十字街 龍山練兵町
朝鮮 仁川宮町二 太田春日町一 群山東榮町 全州高砂町 木浦榮町 光州本町 麗水港 大邱弓町 甘浦港 釜山辨天町 馬山京町三 慶南統營面 兼二浦本町 平壤郵便局前 鎮南浦三和町 新義州常盤町 元山本町二 咸興本町二 羅南生駒町

にせ藥に注意 有田專賣所にて有田音松鑑製を御買求め下され

日本で出來た世界的優良品

カテイ石鹸

いつまでも若々しく美しい皮膚を保つばかりでなく日増しに健康的な潤ひと光澤を與へます

カテイ石鹸クラブ石鹸と併せ用ゐて益々皮膚を美しくする

日本名物 クラブ洗粉

（增川）……朝鮮……貸付方……決定した
り貸付す
一、種類別は其の何れか一方に限
四、種類の貸付を受けたる者は同
合に返納す
六、種類の貸付を受けたる者は其
生產額百日に達したるときは總合
二、申込書提出と共に組合推定の
價格を前納すべし　但し特別の
二、販賣にて包裝を……するものは
五、販賣代金は毎月二回（一日十五日）淸算す
品名　數量　推定單價　推定價格　摘要年月日住所氏名　組合

現下財界の緊急問題

東京商業會議所會頭　藤山雷太

本邦對外貿易は、歐洲大戰の終了に共に逆轉し、爾來毎年輸入超過を持續したるに、大震火災の勃發に會して、益々入超の勢を激成した。即ち大戰後今日に至るまでの輸入超過額は約二十二億圓の巨額に達し、戰時中の出超額十四億圓を差引くも、尚八億圓の支拂超過を見たる計算である

貿易の不均衡斯くの如く甚しき結果、在外正貨の缺乏も來し、延いて爲替相場未曾有の崩落を見るに至つたのも止むを得ない。爲替の低米は一面輸入を不利にし、他面輸出を促進するの効果ありと雖も、我國は原料品及食料品の多くを輸入せざるべからざる關係にあるのみならず、爲替相場の甚しき不安は、對外取引を危險ならしめ輸出の充分なる增進をも期し難き虞れがある。爲替問題の現下極めて緊要なる所以である。茲に於て爲替恢復の爲めか、

金の輸出

禁止を解除すべしとの論も行はれるが、金解禁の即時斷行の如きは、大いに考慮を要する問題であろ、蓋し金の輸出を解禁するに於ては、爲替相場の一時的恢復を來すは勿論なるも、爲替の低落甚しき今日、之れを平價に近き價格にまで急激に引戻すの結果は、財界に不時の波瀾を惹起さるゝを得ないのみならず爲替相場の一時的恢復を見るも、其の根本に於て貿易關係の改善せられ、輸出入の均衡を得るに至らざれば、正貨を流出したる晩、再び爲替相場の崩落を來す虞れがある而かも輸入超過の趨勢依然として底止するところを知らざらんか、終には本邦兌換制度を危險ならしめるの憂慮がある、從つて金の解禁は、貿易關係の順調に復歸した る時期を見て之れを行ふの外ない。併しながら、貿易關係の改善は之れを自然に放任するのみにては到底其の實現を期することは出來ない、輸出を增進するには、

良品を廉

價に供給することを最も肝要とするを以て、國內產業の發達を圖り、生產費を低減し品質を改善することが、即ち貿易振興の根本になる譯である。然るに生產費を低減するには、一般物價の低落を圖ると共に、各種の生產能率を增進しなければならぬ。一般物價の調節の爲めには今日の我國に於て最大の消費者たる國家の財政を緊縮することが急務である。之れが爲め政府當局に於ても鋭意努力せられつゝあるも其の効果は聊か豫期に反するものあり、短時日に徹底的緊縮を望み難い狀態にある。

故に能率を增進する爲めにも、將又品質を統一改善する爲めにも、生產組織を改造し、生產設備を改善することが緊要である。組織を改造し、設備を完全にし

大量生產

の方法を採用すると同時に、資本と勞力との効果を增大するの工夫に努めなければならぬが、之れを實現するに當つて、先づ必要とするものは資金である、然るに金融梗塞の現狀を以てしては、是等產業の改造に必要なる資金を調達することは甚だ至難であるしかも我が國の金利は世界文明諸國に比して著しく高率なるが故に此の點に於ても生產費の低減を妨げるところが尠少ではない。

論じ來れば、今日直ちに實行し得べき方策として殘されたるものは各人の消費を出來得る限り節約して之れを生產の資金に充當すると同時に、心身の緊張を圖り奮勵努力、以て生產の能率を增進し所謂良品廉價の實現を期するの一途あるのみ、貿易順調の恢復輸出の振興は結局國民全般の努力に依るの外なき點を深く自覺し勤儉精勵本邦產業界の危機を救濟し大に貿易を伸張し、國運前進の發展を實現するに至らんことを希望する次第である

鮮米の出過ぎと 代用品の轉換傾向

滿洲粟から外米へと

新鮮米の移出と總府の輸出限拂下發表以來頓に沈靜狀態にあつた外米は鮮米移出旺盛に伴ひ漸く買氣を喚起し一方政府は本月末日限り拂下米の打切りを發表したのでさらでだに買氣旺盛へにあつた外米商は本國安に鑑じて逸早くも一般に買付に著手し二月頃より漸次入荷を見るべき道理であるが本國相場は豐作の結果例年に比し意外の安値にあるため當地著二十六圓五十錢位と採算可能に鮮內當業者は昨今今年の需要を見越して、本年は尠く共五十萬石の外米輸入は可能なるものとみてゐるが這は從來鮮米の代用食料として多額の輸入をみてゐた滿洲粟が本年は銀高の關係より意外の上騰を來し殊に撮綿に伴ひ此の代用として一方昨年以來多期待されてゐた滿洲粟の輸入杜絕の狀態を喚起した實狀から今回の買付計畫をみるに至つたもので今後鮮米の在荷而に伴ひ外米の手合も漸次增大し本年端境期には輸入旺盛を極めるであらうと豫想されてゐる

特殊銀行の減配問題

尚ほ考慮の餘地があらう

最近普通銀行の減配傾向に伴ひ鮮銀並に殖銀の兩特殊銀行に對する減配說擡頭しつゝあるは既報の通りであるが某消息通は右に對し左の如く語る

普通銀行の減配に伴ひ鮮銀殖銀等も之れに均霑し以て範を小銀行に垂るべしとは一應道理な說ではあるが△兩行の既往現在に徵して考ふるとき此の均霑なるものが果して是であるか聊か考慮を要すると思ふ元來

鮮銀 は昨年既に第二次の大整理を決行し內容の緊縮に依つて漸く道回の良績を擧げ先づ安定に近づかんとしつゝあるもので今後整理を要すべきものとは既に立場を異にし且つ移管後に於ては直接大藏省當局の監督を受け細大漏れなく當局の知悉せる今日減配の要ありとせば這は當然當局より勸說すべき筈で此際の均霑的減配は考へものであろう、又た

殖銀 しても創立以來著々として業績を擧げ內容頗る充實し今期の良績を殖ち得たもので且つ朝鮮產業開發てふ大使命の下に絕えず內地資金の吸收に努むるため社債發行の重責を負ふて居る今日此の殖銀行の減配は內的は別として對外的信用上實績の許す限りは此の良績であり又た內容の堅實なる點を公表周知せしむる要あるので此の意味からしても這般の地方銀行との均霑的減配說は尚ほ一考の餘地があらう

鐵道直營と 取扱銀行

鐵道直營後に於ける鐵道局公金の取扱は從來關係である以上、取扱銀行は當然鮮銀の手に歸する譯であるが然し位置並に經費の點より見て此際鮮銀として龍山に支店を設置するや否やは聊か疑問で從來の關係から見て十八銀行龍山支店も日銀代理店事務を取扱ひたき希望もあるので或は鮮銀として便宜上該支店に依託すべしとも見られて居るが之が爲め鮮銀當事者は總督府及鐵道部側とも協議の上今後の取扱方針を決定する筈であると

東拓鑛山投資

東拓では江原道昌道所在中川義氏重晶石坑にて昨年八月より二十萬圓の設備費を融通して居る

鮮鐵荷動閑散

一月上旬に於ける咸鏡線北中部を除きたる京鐵局動きは前年同期に比し營業品は九分社用品は八割四分合計に於て二割四分を減少した營業品は本旬に入りて米價稍軟弱の氣味あり氣候亦概して溫暖であつた爲め薪炭等の荷動き減少の傾向を保つたのと前年同期は帝都震災復興用材の荷動き旺盛であつたのに反し本年は特に木材界不振の狀勢を呈した等が其減少の主因である、荷動き中特殊の目立つたものとしては原糖が幾分の荷動きを見たに過ぎなかつた

滿洲關係貨物は端季に於ける涉り越しがなかつた爲、時節柄にも拘らず相當の著炭を見た翠を主として豆類亦冬蔵旱害による代用食として旺盛を呈した等により前年同期に比し約三割の增加であつた內地關係貨物は米豆の移出が一般に停頓裡にあつた爲三割の激減を見た移入はあつたが精糸布其他の增加に依て前年と大差なかつた之を要するに財界の不振と米豆の價格

鮮鐵上旬在貨

本旬末鮮鐵在貨は上り七六四七噸下り二、六九九噸計一〇三六六噸にして前年同期に比し五九六八噸を減少したが這は米價軟弱に伴ふ出盛りと叺繩等も亦之に隨從して減少を示した木材類又依然として恢復を見るに至らず石炭鮮炭乾干魚等の出廻り節品は之に反し稍在貨を增しつゝあるが大勢から見て出荷緩漫を免れなかつた

各銀行總會

殖銀定時總會

來る二月十八日午前十時行內に第十三回定時株主總會を開催し

一、第十三期營業報告貸借對照財產目錄及損益計算承認の件
一、第十三期利益金分配議決の件

を附議し、總會終了後引續き相談役會を開く筈

海東銀行總會

第九回定時株主總會は來る廿七日午後三時京城銀行集會所に開催、營業報告諸決算三分配當案を附議する筈

金剛電鐵拂込

金剛山電鐵會社は線路延長、第二貯水池築堤等の爲め來る二月下旬一株に付き金十圓（百萬圓）の拂込を徵收する事に決定したが之を以て拂込四百萬圓となつた

穀組定時總會

京城穀物組合にては來る十五日午後三時より京城俱樂部に於て定時組合總會を開き左の案件を諮る筈

一、十三年度下半期業務報告の件
二、同上貸借對照表、收支決算報告及損益勘定處分案承認の件
三、上半期收支豫算承認の件

麥粉好轉氣配

春以來不活潑の商狀に在る麥粉は十三日赤鯛タイヤ五圓三十錢、二鵬五圓二十五錢、要龍五圓二十錢と稍引返しを見せ需要擡頭に先行好轉を唱へられてゐるが此の內緒タイヤは工場設說と共に意外に腰強く、要龍二鵬亦販路の維持に努めてゐるので春先麥粉は三巴戰の出現と見られて居る

ゴム目先好調

昨年末以來春高氣構へに在つたゴムは新年に入つて內鮮共に利喰續出三錢方の低落を示したが利喰一巡と共に漸次持直し十四日エフェ1キュウ一圓見當迄引戻し前途尙好轉を豫想されてゐるが朝鮮としては適正の休も控へてゐる今日目先押目は至難と見られて居る

外米輸入豫想

朝鮮は五十萬石

鮮米移出の一巡と共に耕田早くも代用食として滿洲粟、外米の手當

海外經濟電報（十三日）

倫敦銀塊	二三片十六分の九	
紐育銀塊	六九仙九分の三	（八分の五高）
米棉		三十錢高
ミツドリング		
現物		九四圓
先物		九四圓（不變）
印棉		
英米爲替	四弗七八仙八分の七	（不變）
スチール	一二五弗八分の一	（一弗八分の一高）
アナコンダ	四七弗八分の一	（八分の五高）

朝鮮の外米輸入

買物色され滿洲粟は產地高にも拘らず續々入荷され、外米も之れに伴れて大口商談を開始されるに至つたが本年度本國外米輸出餘力は

蘭貢米	二百七十五萬噸
西貢米	百四十萬噸
暹羅米	百三十萬噸

合計五百四十萬噸であつて昨年に比して約百四十萬噸の增加と見られ從つて國內輸入豫想額も四百萬石鮮內五十萬石と豫想されてゐる

日銀帳尻（十二日）

發行高	一、三三〇、三二〇	減二八、〇四〇
正貨準備	一、〇五九、〇四三	增減ナシ
限外發行	一四三、三七〇	減五三、〇八〇
貸出高	四四三、九八〇	減九、八二〇

鮮銀帳尻（十二日）

發行高	一二三、七九九、四三〇
正貨準備	一六、三一七、八三〇、九二九
保證準備	一〇七、四八二、五七六、七九

東京コール（十二日）

翌日拂	一錢四厘より六厘
無條件	一錢五厘より六厘
普通	一錢六厘より七厘
月越	二錢より一厘

大阪コール（十二日）

翌日拂	一錢
無條件	一錢
月越	二錢九厘

株式（十三日）

大阪株式步み

前場 ▲大新　九〇八〇（寄）九〇　九〇　八〇　七〇七〇　五〇（大引）
▲鍾新　一一二七〇（寄）六〇　三〇〇　一二一〇（大引）

後場 △大新九〇六〇（寄）九〇　一〇　四〇　四〇　三〇　五〇　八〇　九〇　八〇（大引）△鍾新　八〇　九〇　二三〇〇（寄）二九〇　二九〇　一　三七〇　五二〇（大引）

前場閑散保合

（短期前日止値比較）

△京取三十錢高△仁取保合△仁新保合△鍾新十錢高△大新保合

後場引返す

（短期前場止値比較）

▲京取二十錢高▲仁取保合▲鍾新二圓高▲大新一圓六十錢高

今一つ冴へず

低迷續きの浮動的人氣も稍倦怠付いた振合があつて今朝の大阪は大新鍾新共一步高を報じたが當買共餘戒嚴しく至極閑散の場面を呈し寄り後下押步調となつたが深くは押さず足取りも至極小さく結局保合に終つた大體の氣味はまだ冴へない處があつた商情は斯くの如く此邊から立直り難いとされ今一つ冴へない處があるが春高人氣は稍衰へ味ではあるが尙鞘は保つて居るだけ相場は取り殘してあると稱しまだ風なく安値は買狙ひの振合があり高値は取り殘してあるとて稍玉手仕舞の模樣はないが既に一本昂げた揚句ではあり賣氣も窺き兼ね旁々試會案じや何かで俄かに立直りはドーかと見られて居る併し市場に於ける情勢は大體戻りよりも安値は新規に買はうと云ふ人氣が濃厚で大勢の好化は何人も疑はないやうである從つて此鼻としては大阪としてもそう安くはあるまいし當市場としても此邊を突込んで賣らうと云ふ風もなく一般に此上押して來ぬ深くはなからうと見られて居る

出來高

	出來高	
▲長期	出來不申	
累計	六、五三〇枚	
▲短期	二、三六〇枚	
累計	九六、六九〇枚	

鍾新買場處か

鍾紡株は引續き好調を續けて居るが鍾紡株は高低常なく聊か不味の觀はあるが浮動往來の裡にも漸次高値に返し今朝も小口の商品を告げた殊に目下の鍾新は人氣一巡の姿であるから人氣が循還して來れば鍾新萬性時代となるに相違ないから今の値頃を買仕込んで置の面白いかも知れないと（場前）

京取代引激增

京取代引は前日三千八百十枚の歇減腰入深し賣方より千百九十枚の渡株を提供し今前場現在では合計五千枚に激增した大新の行鬪へ模樣と相俟ち軟派の腰入も益々深いやうである

一時的の現象？

仲買人新田耕市氏談

昨年末より春高人氣は漸次高潮し新甫發會には一般熱狂的買進の結果案外の突飛高を演ぜし株式相場も高値は資產家の利喰賣物もあり他面春高人氣も何等根底基準なく單に來年は／＼と唱ふる一種の夢幻的想像に止り一般買附きと共に相場も行詰へる趨勢となり殊に金融は變體的殺座とて銀行及信託會社も高値は處分物の整理的買戻ざ出で旁々一般の期待せる春高相場も永續性乏しく此儘の外進は未だ時勢が許さゞる觀有て全般的の好轉は尙は幾多の曲折を經過して後ではあるまいか此處當分の內に買進は聊か考物で當分の內は採算を基礎としての甦引き株等にて非採算株の飛付買は避けねばならぬかに思考す現時財界の好化も爲替安よりする變態的とて前途に就ては樂悲兩樣の觀測あるも爲替の變動に依る勤稀は株界に直接反射せらるべく仕手としては大に戒心自重の要ある事と考へられる

實樣の壓迫

京取は大勢順應と云ふ誣叩しの許

現株出來値（十三日）

銘柄	長期 前場 當限	先限	後場 當限	先限
京取	―	―	―	―
仁取	九二・五	九二・五	―	―
同新	三四・五	三四・五	―	―
鮮銀	―	―	―	―
同新	一六・〇	一六・〇	―	―
殖銀	五一・〇	五一・〇	―	―
同新	―	―	―	―
南銀	―	―	―	―
同一	―	―	―	―
新二	―	―	―	―
東二	―	―	―	―
商銀	―	―	―	―
同新	―	―	―	―

銘柄	引寄
韓銀	―
東拓	―
同新	―
鮮土	―
朝紡	九・五
同新	―
京電	―
鮮興	―
朝郵	―
鮮鐵	三三・〇
同新一	―
同新二	―
同新三	―
同新四	―
京南	―
金剛	―

銘柄	短期 寄付	大引	高値	安値
京取 前	二九〇・〇	二九〇・五	二九〇・五	二九〇・五
京取 後	二九一・〇	二九一・〇	二九二・〇	二八八・〇
仁取 後	九二・五	九二・五	九三・〇	九二・五
同新 後	三四・九	三四・五	―	―
安取 後	一〇・〇	一〇・〇	―	―
鍾新 前	一一四・〇	一一五・〇	―	―
大新 前	九〇・〇	九〇・五	―	―
大新 後	九一・〇	九〇・八	九一・八	九〇・五

大阪後場止高

後場引返模樣に大引した跡大阪止め大新一圓八十錢鍾新五圓二十錢の反騰を入れた

前場步み

▲大新　九〇九〇（寄）四〇　二〇（大引）
▲鍾新　一一一〇（寄付）一二〇（大引なし）
▲京取　二九一　四〇（寄）五〇〇

後場步み

▲大新　九〇五〇（寄付ナシ）一一九〇　一〇　二〇　五〇　（大引）
▲鍾新　三五〇（大引）二八九〇　九〇〇　
▲京取　三〇（寄付ナシ）一一二九〇　一〇〇〇　（大引）

短期喰合尻

	喰合尻	賣方	買方
京取	七、四〇〇	六店	九店
仁取	二、四〇〇	二店	三店
仁新	二、四九〇	四店	八店
安取	一、一三〇	二店十	一店
鍾新	一、一二〇	二店十一	一店
大新	五、一八〇	五店十一	一店

算定と日步

▲十三日	算定	代引	日步
京取	二九・〇〇	五・〇〇〇	一七
仁取	九二・〇〇	八〇〇	二五
仁新	三四・〇〇	七・一〇〇	二五
安取	一〇・〇〇	五・九〇〇	二五
鍾新	一一一・〇〇	一・二〇〇	七〇
大新	九一・〇〇	三・一五〇	七五

東京現株

▲十三日			
鮮銀	六六・五〇	同新	一四・三〇
殖銀	五〇・二〇	同新	一一・一〇
滿鐵	一一二・〇〇	同新	三五・〇〇
東拓	四三・二〇	同新	二〇・〇〇
富士新	六九・五〇	日石	八八・〇〇
朝紡	……	帝蓄	二二・四〇
東株	一二四・二〇	同新	一〇四・九〇
五分利公債	八七・八〇	連取	一六・四〇

大阪長期取引

前場 ▲十三日 銘柄	寄付	大引
大株	一〇六・〇〇	一〇五・八〇
同新	九三・三〇	九二・七〇
郵船	八六・〇〇	八六・〇〇
同新	三一・二〇	……
商船	四五・〇〇	四五・三〇
同新	一三・四〇	一二・二〇
鐘紡	二三九・一〇	二三四・五〇
同新	一一五・一〇	一一四・八〇
東紡	一四〇・四〇	一四〇・五〇
日魯	一〇九・四〇	一〇九・三〇

後場 ▲十三日 銘柄	寄付	大引
大株	一〇六・五〇	一〇七・〇〇
同新	九三・一〇	九四・四〇
郵船	八五・〇〇	八五・八〇
同新	……	三一・三〇
商船	四五・三〇	四五・五〇
同新	一三・四〇	一三・四〇
鐘紡	二三五・二〇	二三七・五〇
同新	一一五・二〇	一一七・三〇
東紡	一四〇・四〇	一四一・六〇
日魯	一〇九・七〇	一〇九・五〇

大阪短期取引

▲十三日 銘柄	前場 寄付	大引
大新	九〇・八〇	九〇・五〇
鐘新	一一一・七〇	一一二・〇〇

▲十三日 銘柄	後場 寄付	大引
大新	九〇・六〇	九一・八〇
鐘新	一一二・〇〇	一一五・二〇

安取株式

	寄付	大引
▲十三日前場 安取 先限	一〇・八〇	一〇・八〇
▲十三日後場 安取 先限	一〇・六〇	一〇・六〇

鎭平銀

	寄付	大引
▲十三日前場 當限	二〇・八五	二〇・八五
先限	二〇・四八	二〇・三九
▲十三日後場 當限	二〇・五五	二〇・五四
先限	二〇・三〇	二〇・三〇

米況（十三日）

仁川期米

前場頭重し

大阪前場三十九圓五十六錢と九丁安を入れたるも大體が持合ひ限の折柄とて當所は賣物續く却つて右安移りを好機に賣方の手詰め急ぎを喚び中三十九圓六十九錢先五十九十七錢と反對に六丁高に始め二節は閑散を示し是にて九十二錢を持合ひ向ひたるも九十二錢の不勢移り引際大阪止め四十五錢の不勢移りに中六十一錢先八十六錢と氣味ち惡るく大引

後場小鈍し

大阪後寄三十九圓四十一錢と八丁安を入れ中三十四圓五十九錢先五圓七十九錢と七丁安に始め大阪跡小高移りにて四圓八十四錢と締り八十錢引

正米筋氣預け

期米の低迷狀態と適正接近の今日丈けに鼓正米界も漸次活氣乏しく一時春高の思惑手口も弗々嫌氣を生じたるやに昨今之等の氣預け買りの現はれ始めたるものゝ如く現に昨日金太より神節設せられたる大阪關先の中先乘替へ買に對する賣物は主として釜山耕山筋の氣預けなりとの事であつた元來が大阪と三百六七十丁の鞘より打算すれば阪地よりは當所に氣預けする方有利であるが爲め自然地方筋の賣物入込み來るべく尙往東京よりの情報によれば同地は頗正接近に伴れて地方よりの廻り漸せるに反し賣行きは極めて不良である殊に鮮米は割高關係にて新規進入皆無の姿にて委託品は爲換關係上整理的投け出もあるかにて形勢漸く不良に傾き東京よりの情報によれば同地は適正接近に連れて地方よりの出廻り漸增せるに反し賣行きは極めて不良である殊に鮮米いて來たと

強弱の難關

外來的の刺戟も餘り反響がないとせば矢張り正米の成行き如何に待つの外ないが其の正米も現在取引不振の一面產地出廻り瀕の爲め自然相場も立往生の形にて今後は阪地當限の成行き如何が問題である例の山田筋は依然實彈攻擊の準備に奔走して居るとか成程十二月限

▲十三日前場	中限	先限
寄付	三四・五九	三五・九七
二節	三四・六一	三五・九〇
三節	三四・六二	三五・九二
四節	三四・六七	三五・九一
五節	三四・六二	三五・九一
大引	三四・六一	三五・八六
後場寄付	三四・五九	三五・七九
二節	三四・五四	三五・八四
三節	三四・五四	三五・八四
大引	三四・五四	三五・八〇

當限	中限	先限
殘玉		一萬五千五百石
取組高	二萬六千四百石	一萬三千七百石
出來高	四八九四〇〇石	
累計		

仁　福　期
川　　　米

に多大の犧牲を拂ふて八萬餘石と云ふ大量の米を抱かした譯である から此の一番にも相場が永泡に歸すないと今日迄の計畫が水泡に歸するから極力米を荒むるものと見ればならぬ又た賣方としても其れに對抗して受米を取行しなければ前月受米の効果はなくなる譯であらうから其れ丈の覺悟はあるであらうしが結局一限の相當の大受渡が行はれよう然し買方が大量の米を抱き込んだ揚句がどうなるか昨年は其が買方の禍となつて失敗に歸して居るが本年は正米事情を異にせるのみならず鮮米移出餘力の上から推ば內地米を壓迫する丈出廻りは潤み難い樣でもあり強弱互に此邊の事情に頭を惱まして居る樣である

米界餘聞

昨今の相場は動かないのか動かし得ないのか誰も知らないが動かす手掛のないものを無理に動かさうとするのは不自然だ何も時世時節と諦めるより仕方ながらう△諦めると云へば取引所は近く役員會を開いて證券受渡しに對する格付を決定するさうな△之れに就き平間常務は金融界の希望に添ふべく金融業者と努力したが品種別の格付はものにならぬらしい△成程金融業者が倉荷證券へ品別を明記するのは丁度手掛りのない他人の子に名をつけて萬一の場合責任を負はねばならぬ事にならう△更に角鮮米は內地と異なり檢査が統一されてない爲め事に當つて面倒な問題が起るのは困まつたもので一日も早く檢査法の改正が必要ではあるまいか

各店の俵合せ

當限賣方		賣方	
丸ウ	五八〇〇	丸マ	二〇〇
丸カ	三〇〇	金太	一〇〇
金益	三〇〇	丸玉	一〇〇

中限賣方		買方	
丸ウ	一八九〇〇	丸マ	九七〇〇
金太	一九〇〇	丸イ	五五〇〇
金益	一九〇〇	ス丸	六〇〇
丸カ	一三〇〇	丸イ	四〇〇
丸玉	五〇〇	丸福	二〇〇

先限賣方		買方	
丸ウ	五九〇〇	丸マ	二九〇〇
丸カ	二四〇〇	ス丸	二四〇〇
豐	一六〇〇	丸平	八〇〇
丸福	九〇〇	丸夕	四〇〇
丸玉	九〇〇	丸米	四〇〇
金益	三〇〇	丸イ	二〇〇
金太	三〇〇		
丸大	三〇〇		
山布	二〇〇		
丸一	一〇〇		

京城正米

出廻り薄とは云ひながらも適正を控へて中には金融關係の賣物もあれば格別地場の當用には事缺かず精米筋の多くは値頃狙ひの弗々買と云ふ風情にて

朝郵で自由經營

釜山より沿岸各港を經て木浦に至……の爲に不便にもあり同社としても不利なるにつき內鮮間小包郵便……（談）

釜山正米

市況は東角頭重く今朝は三等合格三十五圓三十錢四等三十三圓五十錢鎭地搗玄米鐵良都三十三圓三十錢次品三十三圓摘みの唱へにて鼓內地筋の買控へと期米連日の低迷狀態を眺むる折柄丈けに賬先氣配は軟調である

拜山正米

現物玄良都二十五圓九十錢神力三十五圓五十錢一月末限三十五圓四十錢二月中限三十五圓七十錢より六十五錢二月末限三十六圓より五圓九十五錢出來高六千石

大邱正米

現物金羅三等三十六圓七十錢四等三十五圓七十錢二月中限三十六圓八十錢二月末限三十七圓〇三錢より六圓九十五錢▲二番二月中限三十六圓七十錢より六十八錢二月末限三十六圓九十三錢より九十錢▲三番二月中限三十六圓六十三錢二月末限三十六圓八十五錢出來高二萬八千七百石

現物玄良都三十五圓六十錢神力三十五圓一番二月中限三十五圓五十錢二月末限三十五圓七十五錢より七十錢▲二番二月中限三十五圓四十七錢二月末限三十五圓七十錢より六十七錢▲三番一月末限三十五圓十五錢より廿錢二月中限三十五圓四十七錢▲四番二月限三十五圓四十五錢二月末限三十五圓六十七錢より五十七錢出來高一萬八千六百石

鎭南浦

一月中限三十五圓三十五圓四十錢出來高五千二百石

江景正米

十三月夕場二月末限三十五圓五十七錢三月中限三十五圓五十六錢三十六圓八十錢三十三錢前場二月末限三十六圓三十錢三月中限三十六圓五十錢

仁川米豆取引所仲買人
㋮廣澤正次郎
電話六五〇・六〇番（マ）
米雜穀貿易肥料音買
㋮廣澤正次郎
仁川宮町二丁目
電話長三〇番

東京

▲十三日	前場	後場
一節	四〇・五三	四〇・四〇
二節	・五〇	・四八
三節	・五七	・四〇
四節	・五八	・四〇
五節	・五六	・四一
六節	・五五	・四〇
七節	・四六	・四二
八節	・四四	……

大阪

▲十三日	前場	後場
當寄	三八・四八	三八・四〇
止め	三八・四五	三八・三五
中	三八・九一	三八・八九
止め	三八・九〇	三八・八八
一節	三九・五六	三九・四一
二節	・五七	・四五
三節	・五八	・四八
四節	・五六	・四八
五節	・五六	・四八
六節	・五七	・四一
七節	・五五	……
八節	・五二	……
九節	・五〇	……
十節	・四五	……

引跡氣配四十二錢

神戶

▲十三日	前場	後場
寄付	三九・三二	三九・二二
止め	三九・一九	三九・一三

下關

▲十三日	前場	後場
寄付	三八・九九	三八・九〇
止め	三八・九六	……

桑名

▲十三日	前場	後場
寄付	三八・二六	三八・〇九
止め	三八・二四	三八・一七

大阪三品

▲十三日	前場寄付	前場大引
一月限	三八五・五〇	三八五・三〇
二月限	三七七・六〇	三七六・九〇
三月限	三七〇・七〇	三七〇・〇〇
四月限	三六三・九〇	三六三・六〇
五月限	三五七・六〇	三五七・六〇
六月限	三五五・九〇	三五五・八〇
七月限	三五五・〇〇	三五四・八〇

▲十三日	後場寄付	後場大引
一月限	三八四・九〇	三八五・八〇
二月限	三七六・九〇	三七八・六〇
三月限	三七一・〇〇	三七二・五〇
四月限	三六五・〇〇	三六六・八〇
五月限	三五八・五〇	三五九・〇〇
六月限	三五六・五〇	三五七・一〇
七月限	三五六・〇〇	三五六・八〇

津の國屋小染

〔六十五〕　小金井蘆洲

此處に話が纏まつてお染は母親と乳母のお咲と云ふのを連れて寮の別莊の方へやつて參りました、ところが一日所在のないと云ふものは誠に退屈で仕方のないものだ、何か仕事がなかつた日にやア却々其日を消せるものではありません。

屋の別莊は押すな／＼の大盛況、けれども籠らウイ／＼此の手合が騷いで居てもお染の目には入りは見へない、宅の親ほど男はあれど月と見るのは杉山大藏より外にはありませぬから誠に安心なもので浮いた噂もなく月日を送つて居りました、スルと嘉永三年十月二十八日のこと阿母さんは風邪を引いたと見えて早くから寢てしまつた乳母のお咲も品川／＼して居たがお染は自分の部屋で黃表紙もの何か見て居りましたがそれも飽きて今日分の用向で、好める酒を飲み始めた、皿の內に用意させて置いた二品三品の下物を丁度のお膳に乘せてチビリ／＼とやり始めました、處が今夜に限りて少しも醉が發しない、身體の加減と見えて好い心持になりませぬ、染まア美味くないことね、何うしたんだらう斯んな美味くない時に押して飲むと云ふと却て身體の爲になら

ぬ、お染もこれには弱つて色々考へて近所の女の子を集めて唯で淸元を敎へてやる、こりやア親孝行は大喜びでございます、隣の文ちやん向ふの喜イちやんなどが大分集まつて參ります、これを知ると近所の若い者なんぞが、○是非一つお嬢さん、私共にも敎へて頂きたう存じます』と騷ぐと云ふ騷ぎで、染それぢやア敎へて上げますから』

三國商會

撫順炭、官製煉炭、木炭、新小口
大阪賣捌所
京城本町通二
三番　電話
本局二二五番　木町販賣所
黃金町二
電話本局四五番

江戶蒲燒

川長

と夜になると近江の金公、大工の熊公、表具屋の傳吉さんと云ふ連中がゾロ／＼押掛けて來る、稽古をしたいのではない、天女のやうに美しいお染の顏を眼に接して居れば唯モウ好い心持だと云ふ所謂これを狼連と申します、何で狼と云ふかと申しますと、噛んだら喰はうと云ふ性質の良くない連中だ、どうも龜井戶から柳島近所にかけて土地の若い者の美觀にかつたこと云ふものは、……それや然うでございませう、先づ稽古に行く前に月代を剃つて頭には髮附の二本位べタ／＼使つて髮を結ふ、それから湯に行つて顏の皮の擂り剝ける程キュッキュとこする衣類も垢の付かない小奇張りしたものを着替へてやつて參ります、これぢやア勢ひ浴衣にならずには居りませぬ、寄ると触ると○昨夜はお嬢さんが俺の方を變な目付で見たぜ』×馬鹿ア言へ、俺に優しい言葉を掛けて下すつた』などと云つて爭ふ日が落れると癖の惡いかも知れないから止めやうか知らん、大變に寒くなつて來たねえ』ボーン－明日の川水に響いて聞こえるのは牛島の光照寺で撞き出す四つの鐘だ、パタ／＼パタと水鳥の羽音、染アラ、まア今打つたのは四つだね、寒くなつたねえ、寢ることにしやうかしらん』と獨言を云つて居ると、廊先の方で○シッ、シーッ静かにしやアがれ、此ん畜生は間拔けだなア、餘りばた／＼するから邪に居る水鳥が立つたぢやねえか、中の者に起きられたら仕方がねえ静かにしねえか△だつて仕方がねえや、敵に石が行儀惡くなつてあるから向ふ脛を切つちやつた○向ふ脛を切るのは汝が間拔けだからよ、暫時の內に足を付けて置いたんだ、却々建付けが好いから戶を二枚だけ、外の戶を剝づり取つて、戶を外すより道がねえ、サ、仕事に掛

流寒風熱二一番ヨクキク
複方ピラミドン
販賣店各地藥店ニアリ
京城府龍山元町二ノ八八
本舖　㊊林藥房

將棋新手合（三）

於東京日本將棋聯盟新和泉町六　讀賣新聞社
兩駒落△七段　蒔呂木光治
▲持駒　桝田氏　步
（圖は前號指了迄の局面）

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香						桂		香	一
									二
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

△六五步▲五五步△同步▲同銀△五四步▲四六銀△八四步▲七二步（甲）△六二銀▲四四步△同步▲七一步ナル（ヘ）△五三銀▲七二と△八五桂▲五六飛（ト）以下次號
蒔呂木七段講評
▲（甲）七二步打ち手筋なり
▲（ヘ）四四步を同步と取らして七一步となり捨てたるは手筋なり
▲（ト）五六飛と浮きたるは面白し

寒稽古納會

仁川弘道館柔道部

柔道部は十日朝より毎朝午前六時より八時迄の間寒稽古に從事し十八日は午後二時より仁川公會堂に於て寒稽古納會として武術大會を催す筈であると（仁川）

ら……ぜ△成るほど、其処は手前て好いや、ア、縫ナヅ○シツ靜かにしろよ、熊野郎、頓狂な聲を出しやアがつて靜かにしねえかよ△彼方へ片足おこちやつた○仕樣がねえなア水溜りして居やがるからよ△タ／＼と垂れ／＼を一枚剝がしちまつたウー、痛え……』

物理療法

▲頸のない藥劑療法では非常に困り惱い頑疾を無理から樂で癒さうと無駄骨折つて居る方は速かに我社の物理療法を受られん事を御勸め致します
▲慢性の難病でも容易に根治するもの澤山有ります

適應症

神經痛、リウマチス、神經衰弱、頭痛、腦膜炎、婦人病、打撲、肋膜炎、胃腸病、胃酸過多症、肋膜炎、腸加答兒、膀胱病、睪丸炎、るいれき、わきが、水蟲等頑固な皮膚病、疣、あざ、ほやけ等

京城日報社代理部
京城府光化門通四〇四　電話光化門二四番

一月十五日

（舊暦十二月二十二日）
▲八白▲二黑▲木曜
▲庚亥▲友引▲平▲參宿

▲八白△遷移に手を出して大損する▲八白
▲九紫▲生じ易い日也自重すれば乾と東が吉
▲九紫△持て餘した問題も解決する日進む程有利南と北が吉
▲一白△念には念を入れ進まないと思はぬ損をする巽と南と北が吉
▲二黑△何事も調和にはかどるが大利は望まれぬ日乾と東と巽が吉
▲三碧△位置高くて足元の危さを感ずるの日なり西と乾と巽が吉
▲四綠△內輸に行ひ利進み過ぎては損害放財に注意西と乾と壬が吉
▲五黃△確かな日正しいことはどし／＼と行ひ上首尾乾と東と巽が吉
▲六白△目上の人の同情を得出世の路に就く吉日巽と壬と癸が吉
▲七赤△焦慮つては事を仕損じる大凶日取引は見合せ東と壬吉と癸

幕は靜かに上る

壺澤鈴子作

「八重子さん、お待たせしましたわ」

「あらお姉様」

「ずゐぶん待つて？」

「え、三十分ほど」

「ほんとに、濟みませんでしたわね」

「いゝえ。でもね、お姉さま、何かお用が出來なすつて、今日はいらつしやらないのかしらと思ひましたわ」

「御用でもないのですけれども、出かけやうとした所へお兄様にお珍らしいお客様がいらしつたので、どうしても出られなかつたの。これでもやつとのことで出て來ましたのよ。」

「あら、おや、今日はお兄様はいらつしやらないんですか。」

「え、八重子さんへよろしくと云つてましたわ。」

二人は東京劇場の待合室を出た。外は凍る樣な寒さであつた。明るい丸の内ビルデングの窓々が闇の中の星座の樣に美しく連つて居た。二人はお濠端へ出た。秋子は久しぶりで若い心に甦り、八重子はたゞ何にか優しい心持で、二人は何時の間にか手をつなぎ合つてゐた。

帝國劇場の華やかな灯が、近づいて來ると、秋子はふと結婚前後の事を思ひ出した。秋子の結婚は、ほんとうに幸福な結婚であつた。生れつき優れた容貌の持主である秋子は、處女から人妻へ、あらゆる女の幸福を味はつて來た。

「ほんとうにお姉様にやるのは惜しくなりました」と母がしみじみ云つた結婚の夜のその言葉が秋子の胸に甦つて來た。しかし、ふと、寂しい心にもならないではゐられなかつた。それは、今、自分と手を握り合つてゐる八重子が自分の妹とは信じられないほど美しくなつてゐて、それに比べると美しいと人に言はれる自分が、何となく見すぼらしく見えるからであつた。八重子の美しさは、たゞ青春の美しさばかりではなかつた。

二人が入つて行つた時は、幕合の時間らしく、廊下の華やかな電燈の下に、絢爛する色彩と、漂ふ匂ひと、馥くは快い氣持ちがした。

やがて、靜かなベルが廊下に響きわたると、人々は吸はれる樣に客席へ入つて行つた。二人もその後へ續いた。

客席が定まる。靜かだ。人々の心を奪つて脚光がともる。幕は靜かに上る。

美しき衣裳の音樂と色彩と詩と踊き合ひ、融け合ひ、その中に織り込まれた、人生々活、古い匂ひのする歌舞伎も、新らしい時代の人々の胸に迫つて靜かに劇が運ばれて行く。

幕が下りる。人々はホッとして廊下へ出た。

「あら八重子さん。お姉様とおそろひですのね。だから、あたしはさつきどうしても八重子さんだつて云つたんですの」

「あら、どなたかおつれがあるんですか」

「え、スターさん」

「まあさうですか」

「スターさんつて、どなた。八重子さん」

秋子は訊ねた。

「スターさんは、山川さんのお嬢さま——秋子さんの事ですわ」

「まあ、さうですか」

「八重子さんのお姉さまは時々劇場へいらつしやいますか。」

「いゝえ、復興後は、はじめてですの。けれども、地震前は殆と毎月でございましたわね。——たゞ、ほんとに、私の驚いたのは、あなた方をはじめ皆さんが、綺麗におなりなすつたことですわ。」

「あら、それを聞いたら、スターさんは、あの高い鼻を益々高くしますわ。」

「お姉さま、秋子さんを、なぜスターさんと呼ぶか御存じないでせう。——秋子さんはね、それはく熱心なホシ美化粧品の愛用家なんですの——さう云つては失禮ですけれども、此の頃までは、クラスの中でも飛び離れた御器量ではなかつた秋子さんが、急に見違へる程綺麗になりなすつたの。それから、みんなでクヰーンだのスターだのつて云ひ出して。ホシ美化粧品の愛用者だからスターさんがいゝでせうといふことになりましたのよ」

「さう云へば、此頃、道でお遇ひした時、私もまあお綺麗だことゝ思ひましたわ」

「それからと云ふものは、クラスの方がみんな熱心なホシ美化粧品の愛用家になりましたの。道子さんなどは、化粧品の本場のフランスの兄様から送つて下さる舶來品をお斷りなすつた程ですわ」

「今でこそ、どなたでもホシ美化粧品を使つてゐらつしやいますけれども、その頃では、私達の級が美人の多い級だといふので有名でしたわ。」

「あら秋子さ、いつの間にいらしつたの。今、あなたのお噂をしてゐましたのよ。」

「まあ——ねえ、八重子さん。劇場の中を御覽になつただけでもおわかりになるでせう。」

「綺麗です。」……

「私の常々の主張よ。——ホシ美化粧品が出來てから、日本に美人が多くなつたといふこと。それはさうですわね。新らしい時代の化粧品はどうしても、皮膚の衛生を顧れたものでなければいけませんわ。その意味で『クスリやし化粧品』は一番安心して使へるのですわ。」劇場のベルが靜かに響き渡つた。（完）

見惚れるやうな美しき女性がめつきりふへた

この頃の銀座、丸の内を歩む女の水々しい美しさは、行きずりの人の足を停めずには措かない。女ながらに、見惚れるやうな美しい女性が、めつきり増へて來た。その女達と行き過ぎんとするとき、高い香が鼻を打つ——

あゝ、ホシ美、ホシ美の化粧。

かつては、フランスの女を美しくしたペネル博士が、今は又、わが國の女性を、かく美しくする。

或日星製藥の研究室を訪ふた。博士の第一印象は、如何にも「美」の博士と言はれる巴里兒である。博士が耳障りのいゝフランス語で語られた點を、左に書綴つて見やう。

妙齢いかて老ゆるべき

二十、二十一は知らぬ間に過ぎて、いつの間にか二十五、それも束の間、かくて世の婦人は、樂しかるべき誕生日に擬り遣る瀬ない嘆かひの吐息をつく——これは年齢につれて、容貌が老けるといふ考へからであります。しかし、今日では各國の醫學の大家が稱導され、又我々の日常の經驗から顧しても **容貌の** 若さは必ずしも年齢に關係するものでない事が證明されてゐます。若さを失ふ事は、全く肉體上の變化で自分の注意、心掛け一つで、この變化を後らして、いつまでも若い生々した容姿を續け得るのであります。この注意、心懸けこそ、即ち化粧であります。美しかるべく生れた女性が美しき上にも美しくする事は自然であり、且今日の文化生活には、化粧は讚美となつてゐるのであります。ところが、『私なんか』と一概に御自身の美しさを否定して、お化粧をなさらぬ方がありますが、これは大きな誤りであります。假令一片の枯木でも毎日手入れをすれば得も云はれぬ美しい光澤を出すものであります。況して日々新らしい皮膚と變りつゝある生理作用を利用して、化粧をなされば肌は白く、 **艶やか** な若々しさを持つてくるものであります。白い艶やかな肌こそ婦人の誇りであり、婦人を美しくする最大の要素であります。美しい肌を持つフランス婦人は如何なる高價な衣裳を身に纏ふも

肌の美しさに優るもの

なしといふ誇りを有つ迄に皮膚について心を碎いて居ります。故に最も注意を要するのは、良き白粉を選擇する事であります。さもなければ、却つて御自身の **美しさ** を損ふ事になるのであります。博士は『ホシ美白粉こそ、私が造つたものであるから、責任を有つのみならず、誇りを以てお奬めする』と申されたのであります。このホシ美白粉は博士が故國フランスに於ける最大の化粧品會社に於てなされたと同樣の指導に依る上に、尚、

日本婦人の皮膚や容貌

に就いての深い考察を加味して造られたものであります。博士自ら生涯に於ける第二期に屬するものだと云はれてゐる點から見ても、如何に博士が心を籠めて造られたかを窺ふ事が出來るのであります。これこそ、皆様の躊躇なくお選びになつていゝ白粉であります。ホシ美白粉の特長といふべきは生れつき色が白いやうにつくばかりでなく、洗ひ落してから **生地迄** 白くする點であります。これ、ペネル博士が苦心された美白劑が配合されてゐるからであります。其のノリやノビに至つては、實に申分なく、濃淡自在、ヨルこともヘゲルこともなく、其の美しい化粧映のする事と、高い香とに因つて顯ゆる

心身の清爽はまた

忘れられない特長であります。大きな誇りとして世界に名だたる衛生的ホシの工場で造られた點であります、眼や口に入り易い白粉の事でありますから、製造の注意がほどこされ絶えず洗滌された **清澄な** 空氣中で造られたのであります。從來の白粉と異なり絶對無鉛無害にして、消毒作用を有する皮膚の營養となる點であります。この澄透なる科學的研究と最新式の機械的設備と造詣深き技師の下に、親切誠實を旨とする人達の協力に因りて造られたホシ美白粉こそ、眞に全日本女性の美しさを限りなく高めることでありませう。

『笑話』

『美人は最高の藝術なり』と云ふ格言を見て鈴枝さん一生懸命になつてホシ美水白粉を顏に塗つて、『まア見事なる我が最高の藝術よ』—（中川生）—

フランスから歸って見た東京婦人の化粧

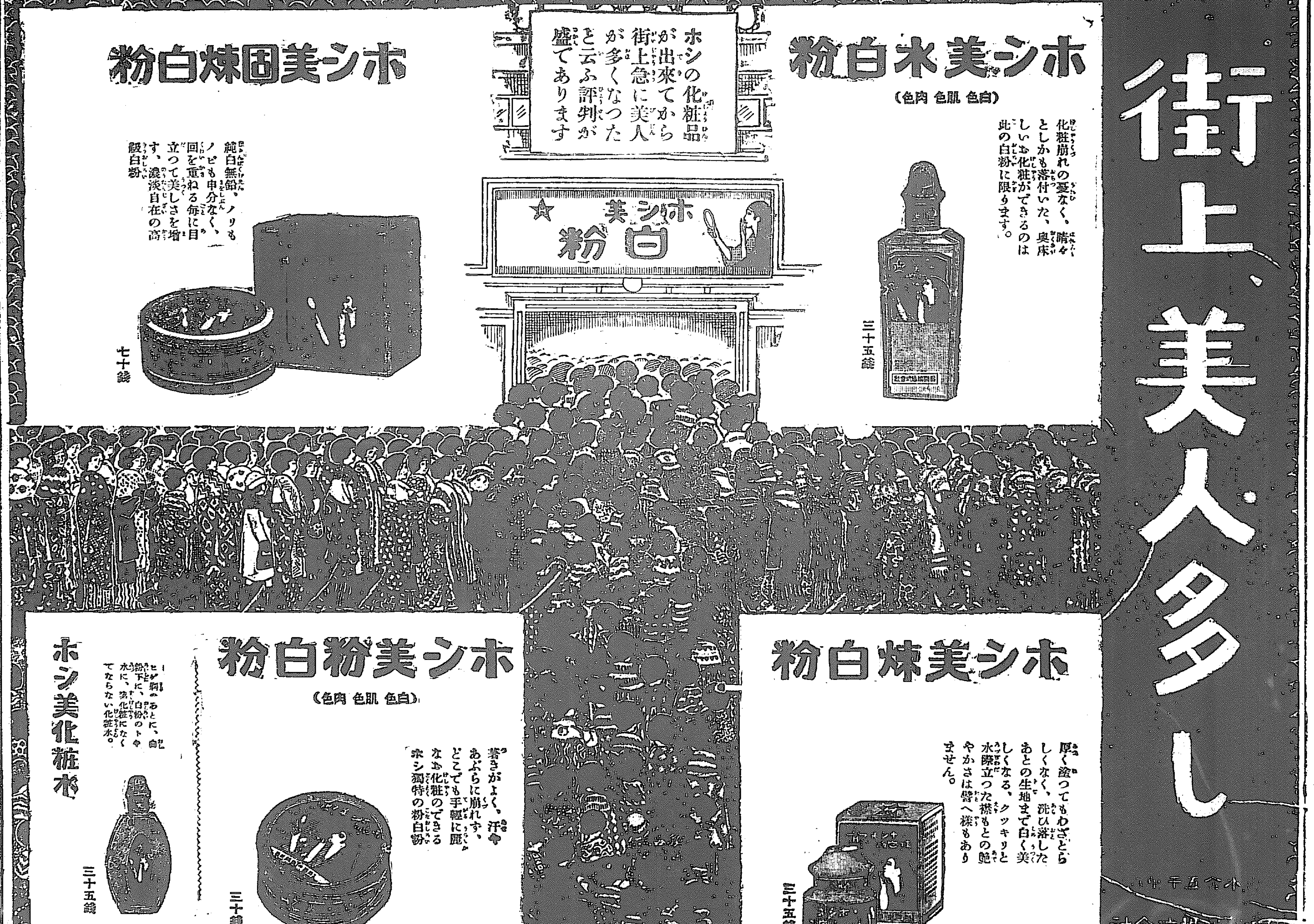
最 近、歐米を廻つて歸朝した小說家の話である。巴里の並木道、プラタナスの葉影に、或は輝くシャンデリアの燈光の下に見る巴里女の美しさは、流石に生粹の巴里ツ兒の感を深くする。その巴里ツ兒の懷かしい化粧は、どんな白粉で行はれるのであらうと、異國人は誰でも興を覺える。

日 本の女性がいつこんなに美しくなれる白粉を有つことが出來るのかと、故國の女を憐憫したのである。

この小說家が、日本へ歸つて驚いたことである。美しい巴里女を髣髴せしめる、明かるい生々した婦人を、東京の到る處で見たのである。思はず振かへつてゐると、そくはくと薫ふ白粉の香、パリ女とゆきずりに匂ふ香である。

あ んな高價なフランスの白粉を使つてゐるのかと今度は心配したら、そのフランス人のペネル博士が星製藥で調製したホシ美白粉であつた。あんないゝ白粉が、あんなに安く出來るやうになつたら、今に日本の女も巴里ツ兒のやうな美しい女がどしどし出來るね……と語つた。

ペネル博士



日露協定の調印期

る外、大體決定した右に付芳澤公使は語る

日露協定、調印期は

會議は主として未決問題につき討議し意見尚一致せず十三日も續行の筈であるが形勢は依然有望にて

硏究常務會同

【東京電報】研究會は十二日午後二時より事務所にて常務委員會を

青木水野兩子會見

舊友會同運動

農民組合全國大會

氣象日報（十三日）

京城日報

師範教育の改善 上

文部大臣 岡田良平

師範教育は明治十九年現行制度の大本を確立し其後幾回かの改正を經て明治四十年に至り現行師範學校規程を公布し其學科程度等を定め之を實施して今日に及んで居る。然るに社會の進運に伴つて小學校教員の素養は從來の修業年限を以て滿足することの出來ない有樣となつた。即ち國民思想の健全、國家社會の經濟其他文化の向上振興の爲め特に小學校教育に於て積極しなければならぬ。

しかも普通選擧も

近き將來に實施せられんとする世の中であるから小學校の教育は益々重要の意味を加へるのである。而して國民教育の實績は主として教員の力に依るのである。若し教員其の人を得なければ校舍は宏大であつても、器具は整備して居ても到底その實績を舉ぐることは出來ない。今後の小學校教員たる者は識見技倆共に從來よりも一段の進歩がなければならぬ。この故に師範教育の改善は當今の急務中の急務といつてよいと思ふ。世の論者中には國民教育振興の爲に

義務教育年限延長

の實施を當今の最大急務であると唱へる人がある。成る程此の問題も當今の要務であつて何れの時か必ず實施すべきであるが之が爲には相當多額の經費を要するので今日の財政經濟の狀況からは直に之を實施することを困難と認める。併し財政の不況も遠からずして恢復するであらうと思はれるから、時機適當の時期を見て必ず實施しなければならぬ。而して年限延長は實施しても優良なる教員の適當なる數を得なければ其効果は云ふに足らぬ。或は無効に終るとも考へられる。現在師範學校卒業生及び之と同等の資格ある者即ち小學校本科正教員の數は僅に總數の五割に過ぎざる有樣である。斯くの如く教員の準備なくして年限延長の實施を希望するのは稍無謀ではあるまいか。故に先づ師範教育を改善して從來よりも質を良くすると同時に量を多くするのが最大急務で、又やがて義務教育年限延長の必要なる準備をなすものと信ずる。又論者中には師範學校の資格を高めて

專門學校の程度と

なすべしと唱へ今回の改善案を以て［illegible］に優ぐると論ずる人がある。［illegible］論としてならば師範學校を［illegible］校とすることも不可はない。［illegible］つて小學校教員の識見を［illegible］くすることも結構である。然し實際の立場より見れば今遽かに之を望むことは不可能である。即ち今我國に於て教員の準備の出來て居ないことは右に述べた通りである。然も當今に於ける財政經濟の事情は各教員を專門學校の如き程度ある人士として之に

酬ゆるだけの俸給

を支出し得るや否や頗る疑を持たずして明かであらう故に今日の良策は國家社會の實情に照らし實行可能なる範圍に於て及ぶ限り師範教育の改善を圖るにあると信ずる。此の意味に於て文政審議會の決議を得た次第である。

迎つて行つて居る處がある。戰には勝つた上に少からぬ金も儲かつたが今や勝つた戰爭と儲かつた金が日本を困しめて居る。
天は堪へ得ざる不幸を與へぬさうである。今日の難關を透過する道は必ず存するに相違ない。我々は忍苦之れ試錬、試錬之れ到彼岸の階梯たることを信じたい。我々民間の者は政府の施設が興實に適し實行力に富むことを希望して已まぬけれども、政府が如何なる妙案を案出するも國民各自の自覺がなければ空中樓閣に過ぎぬ。大正十四年は國民各自の自覺自治自發自成の第一年だと心得て宜しからう。」

田子氏夫人 大に意氣込む

【盛岡十一日發電】既報田子一民氏の盛岡に於ける新聞發刊計畫は着々進行中であるが田子氏夫人も素晴しい勢で自ら編輯局の一椅子を占め婦人側より讀者欄の本體に喰入り賑かで次期選擧には夫を扶け福擧を鍛落す計畫であると

活氣づく鮮内鑛業

黒鉛業の大同團結斡旋

最近朝鮮に於ける鑛業界は大分景氣が向いて來た如何なる程度迄活躍してるかと云へば一寸困るが之を品別に見ると
▲金鑛は云ふ迄もなく正金拂下價格の引上で値が出て來し將來の輸出解禁と共に各所に増掘採掘及び廢坑の復活を見つゝある
▲石炭も漸次地炭が活躍するに至り我が三井でも黄海道の外會寧炭に手を染める事となり今迄鮮地に死藏されてゐたものが段々利用される事になりつゝある
▲重晶石も中川氏經營の物は東拓が出資して設備する事となつた
▲亜鉛鑛も引合が段々あり將來多忙で久原の如き鉛が亜鉛の製錬を開始する由である
▲亜硫酸も米國棉花の害虫驅除の爲め時々大口注文がある
▲硅岩の採取は滿鐵の硝子工場、撫平炭坑の硝子工場開始で相當有望である
▲黒鉛に至りては慶尚北道、咸鏡南道と共に我が朝鮮は世界の三大産地で正に朝鮮の特産品であるが從來小鑛主が分立して互に競爭倒れとなり自價で困つてゐるが合同又は共同販賣をなすべく大同團結を斡旋中で成立の上は有利に賣捌く事となり朝鮮に於ける最も有望な事業の一となるであらう
以上の如く採掘探鑛が一時よりも活氣を呈するに至つた事は事實で一は財界の恢復を現し一は鑛業機關の展開け又は開けんとするので之を利用して起らんとするものであら（三井三非支店長談）

同好會例會

滿鐵大田運輸事務所管内新線鐵道天安開城各驛員を以て組織せる同好會は着々と實績を擧げつゝあるが一月の例會を十日鳥致院に於て開催諸般の打合せをなした（鳥致院）

底なし池

京城商議會頭 渡邊定一郎

米價は良劍に調節しなければ國民の生活は悲慘である、然し米價を下げれば農民は立つて行けぬ、從て商店の値下げをせねば民力の休養が出來ぬ、然し物價の引下げは一般商人を破産に導く結果となる元來如何にすれば帝國の對外的基礎を強固にするとが出來るか、底なし池に迷ひ込んで進退難に陷つて居る狀態ではないか、昔から戰勝つて國滅ぶと言ふ格言もある、日本は今此の格言を誡むる道程を

民謠の社會化（中）

野口雨情

ところが土の上の作品といふことは誰でも言ふことであるが、多くは大雜な考へ違ひをしてゐる。土を歌つたもの農民の有樣を歌つたもの、勞働者の働いてゐる姿を歌つたものが土の上の文藝のやうに思つてゐる人がかなり澤山ある。
しかし土の上の文藝とは、作者その人が

土の上に立つて歌つたもの

でなければならない。作者が座敷の上から眺めて農民なり勞働者なりを歌つたのでは土の上の文藝とはならない。それは要するに御座敷文藝の域を一歩も出てゐないものなのである。たとへ座敷のことを歌つても、二階のことを歌つても歐米各國のことを歌つても其作者が土の上に立つて自分の足下から見た事物を歌つたものならば土の上の文藝といふことができる。作者が土の上に立つてゐさへすれば例へ何を歌つても精神は土と離れないのである。民謠の本質は歌はれるといふところに強い力がある。歌はれるといふと、語るといふには隨分の相異がある。浪花節だとか義太夫だとか、すべてさういつた種類のものは語りものである民謠はそれとは反對に唱歌などのやうに歌ふべきものである。語りものは筋によつて感情に訴へてゆくのが目的である。しかし民謠は氣分によつて感情を訴へる。語りものが筋を見せるものならば民謠は筋ではないから第二級の歌謠と言へるのであらう。併し藝術によつて感情に訴へるものならば筋が筋ではなく一つの氣分の

民謠藝術は第一義の一つ

でなければならない。筋を見せるといふことは構想によつて出來るがしかし、氣分を味はせるには構想は必要でない。構想は工夫によつて成り立つてゆけるが、氣分を味はせるものは工夫では駄目である。それは感激によつて生れてゐるものである。民謠は感激によつて生れてくるものであるから筋をたどることはできない。筋をたどることができないから、その作品について歌ふなり、或はそれが歌はれるのを聽いて、それによつて思ひ思ひの違つた聯想を働かせるほかはない。前の民謠に

心細さに出て山見れば雲のかゝらぬ山はない

といふのがある。今もよく歌はれる民謠であるが、これなぞもそれを歌ふなり、或は聽いた人が自分の境遇にひきくらべて味ふのでなければならない『心細さ』と歌つた人が女だとも男だとも言つてない。又年寄だとも若い人だとも言つてない。又『出て山見れば』と言つても、それが門へ出たのか、裏へ出たのか、畑へ出たのか、庭へ出たのかそれも解らない。つまりそれが筋を見せない證據である見る人によつて裏へ出たとか川岸へ出たとかそれぞれの聯想に從つて氣分を味はへば、それで民謠の目的は足りるのである『出て山見れば』といふのが屋外のことであることは言ふまでもない。夫が［illegible］的に土の上の藝術となつてゐるのである。

旅物語（48）

昇太郎

小人のムック（三）

『さうだ、さうだ、あそこにこそ小人ムックの幸福が隱れてゐるのだ。』さう獨り言を言ひながら、すつかり疲れてゐるのに拘らず元氣に驅廻りました。
『あそこより外には！』、さうとも、あそこにかぎる……』
ムックはあり丈けの力をかき集めて町の方へと走り出しました。然し、ごく近くに見えた町もやつと暮にならなければ着けませんでした。二日も歩き續けたので小さな足は殆ど思ふやうには運ばず、度々木の蔭や泉のほとりで息を休めたのも一度や二度ではなかつたからです。とうとう町の入口につきました。そこでムックはマントをほし、帶を一層派くして掛い頭を締に整し込み、靴の埃を打ち拂つて、小さなステッキを振り〳〵威勢よく町の中へ乘込みました。
ムックは一生懸命になつて町をあちらこちらへと歩きまわりましたが然し誰も扉を開いて招き入れて呉れる人もなければ、又これまで考へてゐたやうに『小さなムックさんまアおはいりなさい。御飯でも召し上つて疲れた足を休めておいでなさい。』などと親切に呼びとめて呉れる人など一人としてありませんでした。
そのうちにとある立派な家の前にまゐりました。淋しさうにそれを見上げてゐますと、突然二階の窓が開いて、年寄つた婆さんがまるで唄でも歌ふやうな聲で申しました。

みんなお出で、みんなお出で
御飯の用意も、もう出來て
おかゆが、にえた
みんなの來るのを、待てゐる
近所の方々、はようおいで
おかゆが、にえた

この時入口の戸が自然に開いたかと思ふと澤山の犬や猫がぞろぞろ入つてゆきました。これを見てムックはぢつと立つて、あのお婆さんの招待を受けたものだらうかと暫く考へてみましたが、たうとう決心して、二匹の若い猫について入つて行きました。
ムックが梯子を昇つてしまつた時、向ふからお婆さんがやつて來りました。そして、機嫌惡さうな顏付でムックを眺めて、なにしに此處へ來たのかと尋ねました。
『貴方は誰でもみんなお粥を喰べにおいでとお招きになつたのでせう。』小人のムックが申しました。『私もあんまりお腹が空いたものですから、御馳走になりに來たのです。』それを聞いて老婆は大變笑ひました。
『一體お前は何處の人かね。私の御馳走は皆可愛い、犬や猫に食べさせるんだよ。町中でそれを知らない人はないよ。』
そこでムックはこれ迄の苦しい旅行の話をお婆さんに話して、どうか猫と一所でもいゝから御馳走をいたゞく譯には行くまいかと頼みました。この正直な物語りがお婆さんの氣に入りましたので婆さんはムックをお客のやうにもてなし、御馳走を澤山ならべました。ムックがおいしさうに喰べるのを見て婆さんは申しました。
『ね、小人のムックさん、お前私の家に居る氣はないかね。少しも骨の折れない仕事で、お給は澤山するよ』

賀川豊彦著

死線を越えて 下巻

壁の聲きく時

大正出版界の第一人者。帝都女学生間に狂喜さるる純聖愛の経典的小説。熱烈無比の一社会運動家の殉情的記録。一句半章も悉く涙と血よりの收獲。関西戦時成金の悲痛惨澹たる墓碑。貧民窟娘子軍の戦慄すべき夜行録。筑豊工業労働者の生ける屍骸。大正青年男女が社会の裏面を窺知し得る唯一の社会戦闘史。我国の何人も本書を必読する義務がある。

（上巻）死線を越えて 二百八十四版 定價參円 送料貳拾壹戔
（中巻）太陽を射るもの 百三十六版 定價貳円八拾戔 送料貳拾壹戔
（下巻）四六判上製 定價貳円八十戔 送料廿一戔

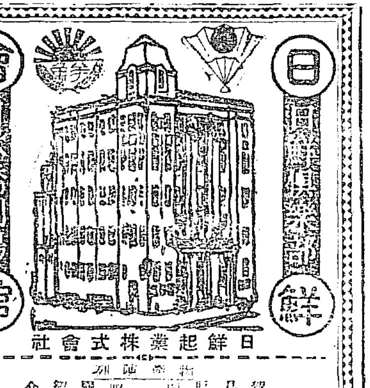
東京市芝区愛宕下町 改造社 振替東京八四〇二番

コノ悪筆

悪筆者の損害
[…]
電話小石川 二〇一〇番

宮内省御用達 キッコーマン
謹賀新年
大年の御愛顧を……
天下一品 キッコーマン醤油
全國有名な酒類醤油店食料品店に發賣
野田醤油株式會社

日鮮起業株式會社



日本商品陳列館　日鮮産業獎勵部
貿易斡旋　販賣所　取引紹介
日鮮産業獎勵部
日鮮間に於ける産業及貿易の發達振興を圖る爲め（一）産業及貿易に關する調査研究及宣傳（二）貿易及商品の販路開拓、取引紹介又は委托販賣（三）特に朝鮮に於ける名所舊蹟風俗習慣に關する模型、標本及商品見本の陳列。

出た！出た！
日本一の面白い美しい幼年雑誌
幼年の友 二月號
坊ちゃん嬢ちゃんの大ニコく
御家庭の模範的課外讀本
實業之日本社發行

小學程度でも能くわかる
文學講習錄
東洋文藝通信學校

小鳥雑誌 飼鳥社

自動車に志す人は來校して見學せよ
公認 日本自動車學校
東京蒲田驛前

最新刊
京城 大阪屋號

官製食卓塩
發賣元 京城 富田商會
販賣店 京城 池尻商店 平壤 桑田商店 新義州 貝沼商店 元山 小山商店 清津 鈴岡商店
地方特約 釜山 あづまや 木浦 中村商店 群山 赤岩本店
内外各種萬年筆百六十餘種
セーラー
京城本町二丁目 真崎政次郎商店

洋鐵鋼鐵道船舶材料其他工業器諸械附屬品商 角野商店 釜山幸町

木材販賣廣告
一、松角　角材　原木
一、松丸太　大小長尺物共
一、松板類其他
右格安販賣仕候間御買上願上候
元山府泉町三丁目 原田商工社

京日案内
公債 特に高價買入地方に郵便御照會次第返信 京城明治町 竹下金融部
公債 債券特別高價に買入申候。御報次第參上 京城黄金町三丁目 佐野喜平次 電話本局六七六番
恩給 年金扶助料手數料利子格安長期立替 高陽金融 武田商會
恩給 年金長期低利即時立替 嚴秘密に取扱ます 西村商事部
恩給 立替 京城竹添町一ノ八二
古本 高價買入 御報次第參上仕候 文光堂書店 江州屋本店
ほね つぎ・もみ 治療 うちみ・くじき 明治町（フランス教會前）仁壽館 荒川道場
募集 有給外務員
乳兒 乳兒預けたし 御用の方は左に御問合せ下さい 電話光化門七八五番へ
採用
京染 注文係員數名募集す
歸院 上野歯科醫院
住宅
特別欄
無盡 共濟無盡株式會社

當然の歸結たる 米國務卿の更迭

ヒューズ氏と上院外交委員長 ボラー氏とは意見が合はない

【華盛頓十二日發電】米國國務長官ヒューズ氏の辭任後クーリッヂ大統領は米國の外交政策の支配遂行に捷も力を注ぐべく準備してゐる、大統領は內政問題は既に完全に支配してゐるから次ぎの任期に於ては外交問題が最も重大なる問題であると信じてゐる、國務長官の後任ケロッグ氏は上院との反感を除去し、よくクーリッヂ氏の外交方針を遂行し得るものと認められてゐる蓋し上院外交委員長ボラー氏はヒューズ氏の辭任に就き重要なる原因を爲すものでボラー氏は共和黨中進步派の代表でヒューズ氏とは凡海に意見が合はずためクーリッヂ氏は甚る惱まされてゐたのであるが今やヒューズ氏の辭任に依りクーリッヂ氏はこの困惑から逃れたものと目されてゐる而してクーリッヂ氏と新國務長官ケロッグ氏との間はヒューズ國務長官との間に密接なる協力が出來るものと諒解されてゐる從つてクーリッヂ氏の外交政策としては

一、第二軍縮會議の必要
二、佛國債券の解決
三、ホンヂュラス自治國から米國海軍の撤退及ニカラグア並にハイチからも米國海軍を撤退すべしとの提案に鑑み新亞米利加政策の樹立
四、極東問題
五、對露關係
六、ドウス案實施の結果に依る對歐洲關係

等で以上は凡て最も重大問題で恐らく今や新國務長官に到達し國務長官の更迭は當然の歸結とされてゐる

外交政策は 三頭政治 に依り遂行か

【ボルドー無電十二日發電】マタン紙の華盛頓特派員よりの報道に依れば米國の外交政策は今後クーリッヂ大統領、上院外交委員長ボラー及び新國務長官ケロッグ三氏よりなる三頭政治に依り遂行せらるべく爲農露國の承認及第三次國際會議開催の際は露西亞及獨逸を參加せしむる可能性があると

財政會議に對する 日本代表の要求

山東省鐵道鑛山價格は受取勘定として計算さるべきものでない

【巴里十三日發電】日本代表は財政會議に於ける山東省に於ける鐵道及鑛山の價格は日本の受取勘定として計算せらるべきものにあらざる旨を要求した、又會議に於てベルギーに讓渡された鑛業の價格は佛英伊の三國に各其の受取るべき獨逸賠償の比率に從ひ配分せられ各三國の受取金額として計算されてゐたが今回白耳義は之を千九百二十一年の第三種賠償中其受取るべき分を抛棄する事に依り右三國に對し拂戾す事に決定した際に耳義に優先權として支拂はれた額件につき日本は伊太利を支持し諸局は伊太利の出張が容れられずに白耳義に優先權として決定以上の金額を獨逸から受取つた聯合國から他の聯合國に拂戾すは之を聯合國に分配さるべき賠償金の計算に含ませぬ事になり其結果伊太利の拂戾額は激減されることゝなり更に拂ひ戾し期間は千九百二十六年から十ヶ年延長の事に決定した、而日本代表は獨逸の代用支拂に日本に必要なる染料を以てする支拂方法は千九百二十八年八月以後は之を停止される事となるが代用品支拂問題後に於て不都合を感ずる諸國の狀態については特に考慮すべきものなる旨を要求せんとしてゐる

滿足に 解決さる ＝日本の要求＝

【巴里十三日發電】日本の山東鐵道に關する賠償問題は聯合國賠償會議にて日本の要求に對し滿足に解決されたる旨半公報的に發表された。」

米佛兩國の受取る賠償金額

佛國は主として代用支拂で

【ボルドー無電十二日發】財政會議にて、ルーマニア、セルビア、ポルトガルを代表せる專門家は獨逸以外の敵國よりなすべき支拂に付き見解を提示した十三日の全體會議にて米國の受取るべき戰時賠償金はドウズ案に依り支拂はるべき年金の二分五厘に決定せられる筈である第一次年金中佛國の取分は三億九千萬馬克にして主として代用支拂に依るものである

償金受取承認 米國政府にて

【華盛頓十二日發電】米國政府は

英紙の論調 戰時債務に關し

【巴里賠償會議の內交涉にて米國代表ローガン大佐と英國藏相チアーチル氏との間に內定的に協定された賠償支拂金中より米國の戰時賠償金を受取る件に非難を興へた

【ボルドー無電十二日發】聯合國財政會議に關し倫敦のフナンシアルタイムス紙は佛國の協議的精神を歡迎し聯合國の戰時債務は戰爭の延長なる商業的の義務にはあらず道德的分子を考慮にいれねばならぬと說いた又モーニングポストは佛國が賠償金遲延の爲め差當り支拂ふべき六千萬磅を英米に支拂ひ得ぬものなるを米人が認める事を希望すと述べた

ボラー氏の言明

【華盛頓十二日發電】ボラー氏は十二日米國上院外交委員長就任以來最初の演說をなし『外國の對米債務償還不履行は既に多大の租稅附加を來さしめ米國農民の負擔を增加するものである』と言明した

日露交涉 調印は來週

最後の請訓は兩三日中に到着

【北京十二日發電】日露會議に於ける撤兵期日、石油讓り渡割合、鑛に關する彼我の主張の最後の相違點につきての議論に對する訓令は二三日中に到着する模樣で今後は最後の條文修正をなし調印は來週行はれる見込みである

上海漸く平穩に歸す

敗殘兵の掠奪も重大なる形勢を惹起するに至らぬ

【上海十二日發電】張允明氏の敗殘兵は今朝當地の市內外に於て多少の掠奪を行つたが格別重大なる形勢を惹起するに至らず殆ど憲官だけの力で取り鎭め得る程度のものであつた、租界內に於ては本日午後義勇兵二中隊だけ一先づ解隊し別に二中隊だけが引續き警備に從じて居る昨晩當地に於て租界が恰も危機に瀕して居るかの如く報ぜられたが右は戰爭見物のため出掛けた連中が大袈裟な報道をなした結果で當地は目下の所一般に靜穩である

張作霖氏歸奉

嚴重なる警戒裡に 交通は全く遮斷され 一般民衆は多大の迷惑を蒙る

【奉天支局特電】近く歸奉の豫定であつた張作霖氏は十一日午後二時半張學良氏等の總司令部幹部一同を引率して天津を辭し歸奉の途に就けりとの報に依り十二日奉天支那側の歡迎並に警戒準備に忙殺され殊に北驛附近は最も嚴戒嚴にして驛前廣場に小銃隊を配付け通路は軍隊の警戒一間置き位にて水も漏らさぬ警戒振を見せ交通は全く遮斷するに至つたその爲め朝鮮銀行の如き店舖を城內に有する向は營業全く出來ず巡警は學校に對し休業を交涉するなど實に稀に見る警戒振であつた此の警戒裡に午前十一時頃には奉天着の豫定であつたが途中各所に立寄りたる爲めか豫定通りに着驛を目前に徐々一般公衆は交通遮斷の爲めに多大の迷惑を蒙るに至つたが遂に午後三時張氏は官民多數の歡迎裡に歸奉直に城內の總司令部に入つた

普選案の骨子に……◎ 樞府が强硬に反對せば

樞府改革の烽火が擧げられん 結局は政府案承認か

【東京電話】普選案は目下樞密院に御諮詢に相成り特に委員の手に於て審議中である而して今日迄の形勢に見れば必ずしも樂觀を許されず政府案には根本に觸れたる大修正を加へらるゝに至るであらうとも傳へられて居るが之れに對し與黨有力者の一部では若し樞密院に於て修正に藉口して殊更に時日を遷延し二月上旬迄もかゝる樣な行動に出づれば議院に於ける議事も重大な障礙なるが故に卅六名の特別委員に附託せねばならずさうなれば委員の內少くも十名は本黨より出さねばならぬ從つて衆議院の審議を經る迄に極めて遲延に及んでも少くも十日內外の日時を要するものと見ねばならぬので貴族院に同案の廻附は二月末若くは三月上旬ともなる樣なことゝもなれば

同案の前途

は決して樂觀を許さない若し左樣のこともあれば三派交涉會議に於て之が對策を講じ即ち若し樞府に於て審査を遷延し一月中に終了せぬ場合は遂々政府案は三派協一案と協定の上作成したるものなれば直に三派案として差出すことなれば其場合には議員提出法案として樞府の審査と離して提出する樣にせねばなるまい、然しこれは飛大問題であるから充分慎重の考慮を要する而して傳ふる所に據れば樞府では選擧資格無制限撤廢に反對せるもの如くなるが之は普選案の骨子にして若し或る種の制限を附するに於いては普選の意義を破壞する事となるから樞府の意見には承服する事は出來ぬのみならず普選は現內閣組織の主眼とも見らるゝのであるから之れに對し樞府で

强硬に反對

を爲すに於いては寧ろ政府不信任と解せらるゝので今後樞密院に於て强硬に案の骨子に向つて反對を爲し修正を要求するに於いては極めて重大なる時局を釀さんも計り難いがマサカ樞府に於いても夫れ程の强硬の態度に出づる事なく結局政府案を承認するであらうが然も政府が組閣の精神に則り重大政綱として提出せんとする法律案に對し動もすれば紛糾を見んとするが如く危局を現出すること屢々ならば輿論は樞府の組織に於て時代の趨勢に伴はざるものあるに依ること明かなれば早晚その組織に就き改革の烽火は擧げられなければなるまいと觀られて居る

孫文氏の病狀が心配

だが吳佩孚の慘敗は實に愉快 張作霖氏の歸奉談

【奉天十三日發電】張作霖氏は昨日午後五時十三分臨時列車で[illegible]の如く意氣揚々として歸奉し出迎への日本某大官に對し愉快氣に語らく『予は段氏の出廬につき微力ながら盡力し予の幾分安堵したると同時に不注意のために吳佩孚を移したのは遺憾に堪へぬ予は飽迄吳佩孚を追跡する意思で終々天津に滯在したが此の間孫文氏の病氣や國民黨の陰謀の爲め奔走が遲滯したので吳佩孚の追擊より南方討伐に變つた。予は盧永祥氏の南京入の確報に接し又善後會議も好結果に向ひつゝあるから兎も角歸奉した次第である唯憂慮に堪へぬのは孫文氏の病で今ですら危篤であるのに若し今後時局紛糾ともならば或は回復出來ぬかも知れぬ余は非常に心痛して居る。一方吳佩孚の慘敗は愉快にたへぬ』

自家用 煙草耕作の廢止を斷行せねば

豫想外に多額の密耕作や 密賣買は到底取締れない

財政整理がすべての根本方針とされる秋に際して專賣當局は朝鮮に於ける煙草專賣制度上にのみ異例として行はれて居る自家用煙草耕作の許可から惹いて多額の密耕作や密賣買が行はれ而も到底之を取締り切れぬ爲め當然增加すべき國家の收入が年々みすく低減して居らねばならぬのを非常に遺憾に思ひ焦慮し切つて居る。

今村同局庶務課長の示す統計に依れば內地に於ける煙草製造額は十三年度が人口一人當の平均二百三十匁になつて居る。然るに朝鮮に於ては官煙が八十七匁自家用煙草が七十匁合計百五十七匁に過ぎない。然らば朝鮮人は內地人に比して喫煙量が少量であるかと云ふと却つて朝鮮人は有名な愛煙民族で喫煙量に於ては內地人へけ到底及ばないと見られて居る。故に是を節約して內地の煙草製造額が一人當二百三十匁を要するのに朝鮮の煙草供給額が一人當百五十七匁に過ぎないと云ふのでは到底煙草が足らぬ筈であるのに事實は是に反して朝鮮人の喫煙要求に對して決して不足を告げて居らぬ。假りに朝鮮人の喫煙量を內地人と同量に假定しても彼我製造額の差たる一人五十匁平均の煙草は一體何處から供給されて居るのであるか。況んや內地人よりも喫煙量が多いのであるから結局一人當七八十匁丁度官煙製造額相當量位の煙草は何うしても密耕作密賣買に依つて供給されて居るものと解する事が出來る。國家が折角專賣制度を布いて煙草製造を官營して居るのに其官煙と同量の密製造をみすく取締つて行けぬと云ふ樣な變則さは他の何れの國にも見られない儀である。

然し朝鮮の慣習に依つて特に認可して居る自家用煙草耕作を取締まない間は到底密耕作密賣買の取締は不可能である。自家用耕作の慣習制度を廢止し從て密耕作を防遏すれば專賣局に於ける煙草收入は忽ち一千萬圓の增加を來すであらうと見られて居る。行政整理、財政緊縮と緊け樣に締木で搾る如く搾られ通して居る昨今專賣當局が直ぐに自家用耕作廢止を考へるのは決して無理ではない。然しながら是の廢止は政策上の問題であるから總督府當局の意見が一致せねば實現は困難である專賣局では密耕作も黙認總督より問はれて耕作廢止の方法等を立案具申すると同時に局部長會議でも機會ある每に之を主張し專賣當局としては專賣制度施行後既に滿三年を經過し年々鮮人側の經濟的狀況も自家用耕作廢止の實行には何等支障なき時期に到達して居ると云ふ意見を述べつゝある模樣だが然し未だ容易に斷行期が直ぐに來るものとの見込は付き兼ねて居る模樣である。

現在の如き緊縮せられた豫算の範圍內で密耕作其の他の不正行爲を取締り耕作者に對し收益增加を指導し品質を改良し販賣所の配給を適度に改善する等以つて專賣成績の益々發揚せん事を期するに過ぎず進んで自家用耕作を廢止し從て密耕作乃至密賣買を完全に防遏して始めて專賣制度の完全と國家收益の充實とを計る事が出來やうと考へられて居る自家用耕作廢止は決して十四年度の問題では無いが然し其の斷行期は漸次に近づきつゝあるものと專賣當局では考へて居る

叙位

【東京電報】十二日左の如く叙位の御沙汰があつた

退職朝鮮總督府判事 中山勝之助
同 上 勝 鉦次郎
同檢事 佐藤 春樹
叙從三位（各通）
叙正四位 同府判事 辻 秀春
同 上 竹村 昌計
叙從四位 元朝鮮總督府農業技師
叙正五位 技師 久次米邦藏

高校 入學試驗科目

【東京電報】高等學校入學試驗科目左の如く發表されたが試驗は三月十八日から施行する筈

國語、漢文、歷史（日本史東洋史）地理（外國滿洲を含む）物理、植物、數學（代數平面幾何）外國語、又國漢には文法試驗あるやも知れず

大阪商品 見本市を

鮮滿を巡回し 八ヶ所で開催

【大阪電報】大阪商品協會では大阪府市及大阪商業會議所後援の下に來る四月二日より二十六日迄第一回鮮滿巡廻見本市を釜山、大邱、京城、平壤、安東、奉天、長春、大連の八ヶ所で巡回開催する由であるが參加人員は同協會員六十名であると。

十五年度より 增額を考慮す

閣議で教育費問題決定

【東京電報】十三日午前十時より首相官邸に定例閣議開催され財部海相を除く外各大臣出席し若槻內相より與黨三派代表と會見の顛末を報告し之れに對して政府は教育費の增額は到底十四年度より實施不可能に付き十五年度より之れを考慮の內に入れることに決した、而して之れを議會勞働時施政演說中に含ましむべきや又は建議案として議會に提出された場合、答辯の形式にて發表するやに付打合せをなして十一時散會した。

增額運動の爲め 各府縣代表招集

【東京電報】義務教育問題に付、政府與黨の態度を非とし全國町村長會事務所はその對策を講ずるため各府縣代表委員を急遽招集すると

十三年度第一期 收納成績

地稅、驛屯土貸付料及拂下代等

大正十三年度十二月に於る第一期地稅、驛屯土貸付料及驛屯土拂下げ代等の收納成績を見るに十二月二十八日現在に於て地稅にあつては調定總額七百九十四萬四百十八圓で內徵收濟額七百九十萬三百九十七圓收入未濟額四萬二百二十一圓此の收入步合九割九分四厘で之を前年度の九割九分三厘に比較すれば一厘の好成績を示した又其道別步合を見るに

△京畿九割九分一厘△忠北完納△忠南九割七分二厘△全北九割九分五厘△全南九割九分五厘△慶北九割九分八厘△慶南完納△黃海完納△平南完納△平北完納△江原九割九分九厘△咸南九割九分七厘△咸北九割六分一厘

にして此の內前年度に比し成績良好なるは京畿、忠北、全南及平北の四道である就中忠北及平北は本年度に於て新に完納の成績を示すに至つた更に前年度と同樣依然完納の好成績を續けつゝあるは慶南、黃海及平南の三道で全北及江原の各道は殆ど完納に近く前年度と同一の步合を保つた次に驛屯土貸付料にあつては調定總額百八十八萬七千二十八圓にして內收納濟額百七十五萬三千百三十八圓收納未濟額十三萬三千八百九十圓此の收納步合九割二分九厘とす之を前年度の九割二厘に比較すれば二分七厘の好成績を示した更に之を各道別に見るに

△京畿九割四分四厘△忠北九割七分九厘△忠南八割七分二厘△全北九割二分三厘△慶北九割八分一厘△慶南九割七分四厘△黃海七割九分六厘△平南八割九分△平北九割九分△江原九割九分△咸南九割七分一厘△咸北八割七分六厘

又前年度に比較して成績良好なるは京畿、忠北、忠南、慶南、黃海、平南及平北の七道にして其他の各道は何れも不良である。驛屯土拂下代にありては調定總額三百六十七萬三千四百七十三圓にして內收納濟額三百十四萬八千五百二十四圓收納未濟額五十二萬四千九百四十九圓此の收納步合八割五分七厘とす、之を前年度の八割二分四厘に比較すれば三分三厘の好成績を示し之を各道別に見るに

△京畿九割二分七厘△忠北九割八分一厘△忠南八割六分△全北九割九分八厘△全南八割七分一厘△慶北九割九分一厘△慶南九割四分四厘△黃海五割△平南六割四分五厘△平北九割九分六厘△江原九割九分一厘△咸南九割二分四厘△咸北八割六分四厘

右の如き狀態で此內前年度に比較して成績良好なるは京畿、忠北、忠南、慶北、慶南、平北、江原及咸南の九道にして全北は前年と同一步合を保ち其他の各道は何れも成績不良である

本年度は六、七月に於て忠南、全南北、慶南北及黃海各道地方に稀有の旱害を蒙りこれが爲め地稅の免除及驛屯土貸付料の減免に上り驛屯土拂下代の延納額約百萬圓に上り從つて收納成績に影響を尠からざるものあり加ふるに十二月中は各道行政整理に依る人事の異動行はれ[illegible]にも拘らず收稅上の成績を揚げ得たることは[illegible]收稅事務者の[illegible]努力の多大なりし結果に外ならぬと思料せらる（田中總督府稅務課長談）

京畿道評議員 補缺選擧

齋藤晉作氏當選

京畿道評議員[illegible]氏の辭任に伴ふ補缺選擧は十二日午後二時より京城府廳別館樓上會議室に於て開催された、中央に投票箱を据ゑ選擧管理者たる京城府尹を始め選擧立會人高木德彌、[illegible]の兩氏長尾、吳兩府理事官、齋藤內務係主任等列席の上午後四時迄に十九名の投票あり午後四時開票左の如く當選決定した

當選 十四票 齋藤晉作

次點者
八票 執行猪太郎
一票 大和與次郎
一票 大垣丈夫

創作 人生（六） 長田幹彦

彼は不審に思つて、もう大分馴染になつた娘に、

『ねえ、お前、一寸まあ、此處まで出て來てみねえ。俺達の乘つていく藥城丸は何うしたんだらう。』

『今朝はまるで姿がみえねえぜ。』と、眼を丸くしてゐふ。

女は眠さうな顏で、縁端に出て來もせずに、

『まあ、さう。』と、氣の乘らないやうに云つて、

『それよりもあんた方、今日はもう歸るんでせう。歸るんなら、朝の方がいゝよ。又お灘が始まるとお尻が長くなるからねえ。それにあんまり又皆はせると、此頃は警察がやかましいんでねえ。』と、素氣もなくいふ。

名好は苦しさうな顏をして、

『まあ、いゝやな。とにかくお前中村さんを起して來て與んな。今朝はもう船へ歸らなくちやならねえから。』と、云つたが、女はそれなり頭髮をやけに掻き〳〵帳場の方へ出ていつてしまつた。

暫らくすると、帳場からは女の代りにそこの家の主人がやつて來た。それは五十格好の、眼尻に大きな傷のある男で、モジリのやうな羅紗の上衣りを着た樣子がどうみても風のいゝ男ではなかつた。

『へい、お早う御座い。』と、云つて、彼はつゝと名好の部屋へ入つて來て、『ねえ、お前さん。お連れの三人さんは、昨夜お歸りになつちまつたんですが、お前さんはそれを御存知ねえんですか。』と、鈍猾見さうにいふ。

名好は怪訝さうにして、みん〳〵顏を見たが、

『何に、昨夜のうちに歸つた。や、そんな譯はねえよ。そりや何かの間違だらう。』と、やつたが、主人は難しい顏になつて、

『ふむ、ぢやゝつぱり彼奴ら一杯はめやがつたんだな。どうも據つた時から見ると思つてゐたら、やつぱりお前達や共謀なんだな。』と云つて、『から、あんまり馬鹿にして貰ふめえぜ。俺の家やからめえでもお前達のやうな出る相手に店を張つてる後家屋ぢやねえんだ。まあ、兎に角、お前が既に陸かれたんなら、お前勘定をしていつて與んな。勘定せえ濟まあ、何も文句はねえんだから。』と、云つて、自分の帳場へいつて、勘定書をもつて來た。それをみると、その前日からの遊興費は八十何圓という莫大な額にのぼつてゐた。

名好はもうがた〳〵慄へ出して

『旦那、冗談ぢやねえ。俺あ、昨日も勘定を六十何圓も立換へてゐるんだ。それだのに、俺あ、もうお前あと十圓もねえんだ。故郷へ歸るんで親父へ土産だと思つて、七十圓ばかしやつととつて置いたんだもの……』

主人は凄い顏をして、

『ふむ、ぢやお前もあの藥城丸へ乘る筈だつたのか。ドヂな野郎だなあ。笑ひ話にもならねえ。もうお前の藥城丸は昨夜の八時に出ちやつたぢやねえか。ふん、今頃はもう藏文の先へいつてるだらう。』と云つて、じろ〳〵名好の方をみながら、『ちやお前は、もう錢はもつてゐねえんだな。』と、強目を揶すやうに云ふ。

◎訂正…尾上柴舟氏談話中 にほやかにあけぼのさむる山と空つゝける中にひかりはいらせ

第四期決算報告

（大正十三年十一月三十日現在）

資產之部	金額
未拂込株金	[illegible]
信託運用金	[illegible]
特別信託運用金	[illegible]
手形	[illegible]
土地建物	[illegible]
什器	[illegible]
假拂金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部	金額
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
未拂[illegible]	[illegible]
信託金	[illegible]
積立信託金	[illegible]
借入金	[illegible]
假受金	[illegible]
保證金	[illegible]
代理[illegible]	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

一金參萬參千壹百四拾八圓[illegible] 當期純益金
一金[illegible] 前期繰越金
合計金[illegible]
此分配方法
一金[illegible] 法定積立金
一金[illegible] 別途積立金
一金[illegible] 役員賞與金
一金[illegible] 配當金（年[illegible]分）
一金[illegible] 後期繰越金
右之通り候也

共濟信託株式會社
取締役社長 [illegible]
取締役 [illegible]
同 [illegible]
同 [illegible]
監查役 [illegible]
同 [illegible]
同 [illegible]

朝鮮語講義錄

一ケ年卒業

第四號出づ 一號再版（日本は一號を代用、七十錢）

（會費月額七拾錢、六ケ月分三圓八拾錢、一ケ年分七圓）

京城黃金町三丁目三〇 朝鮮語研究會 振替京城二二七〇番 電話本局一五七〇番

日本共立火災保險株式會社

資本金五百萬圓

一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話又は御一報次第社員參上可仕候

本社 東京市[illegible]町一四三番地 專務取締役 原 錦吾
京城出張所 京城府本町三丁目三九番地 電話本局一四三〇番 出張所長 三鍋才次郎 電話本局一五六六番

鮮內代理店所在地 京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、鳥致院、木浦、光州、群山、全州、裡里、江景、鎭海、鎭南浦、羅南、會寧、淸津、元山、咸興、城津、新義州、沙里院、海州、統營、馬山

石ト米

特許實用新案 （二）式名 二十二年式精撰機

精撰業者之生命

本機の成績優秀なるは其說明を要せず

採用者芳名

◎釜山の部 釜山精米第一第二、小玉精米所、林兼、瀨戶、槇本、藤留、吉久、深見、茂谷、大池第一第二、石川、明石屋、エス、ケ一組、東拓、丸五、桐原、山二、小林
◎大邱の部 大邱精米所、福永、大二、森、若松
◎群山の部 落合、田中、朝日 ◎元山の部 高宮 ◎仁川の部 齋藤、加藤
◎京城の部 齋藤、今村 ◎鎭南浦の部 齋藤
◎晉州の部 晉州精米、長尾、川上 ◎咸興の部 成南商工
◎泗川の部 精玄、細合、丸昌、商會 ◎江景の部 村井
◎論山の部 武藤、論山精米 ◎進永の部 ◎麗水の部 山本
◎慶山の部 ◎河東の部 ◎密陽の部 桑原 ◎鎭海の部 笹谷中上

撰穀機製造株式會社出張所 釜山府幸町一丁目（太平館前）電話一一七九番
本社 神戶市兵庫西出町五五ノ三 電話一二八二番 撰穀機製造株式會社

眼鏡ト貴金屬

高級レンズクルックスグラスヲ御推メ致シマス眼ヲ害スル光線ヲ除キ夜ハ反射明ルク見ヘルレンズデアリ其物體ヲ明瞭ニ見セル金茶色凹凸レンズ及クリップトック遠近兩用鏡ヤ舶來品高級レンズ等何卒大學堂本店ニ眼鏡ノ御用ハ何卒大學堂本店ニ又貴金屬品ハ各種取揃ヘテアリマス何卒多少ニ不拘御用命ノ程伏テ願致シマス

京城府本町二丁目 大學堂本店 小賣係 電話本局二三七五番 卸係 電話本局二一九八番

ケガワナメシ 毛皮鞣

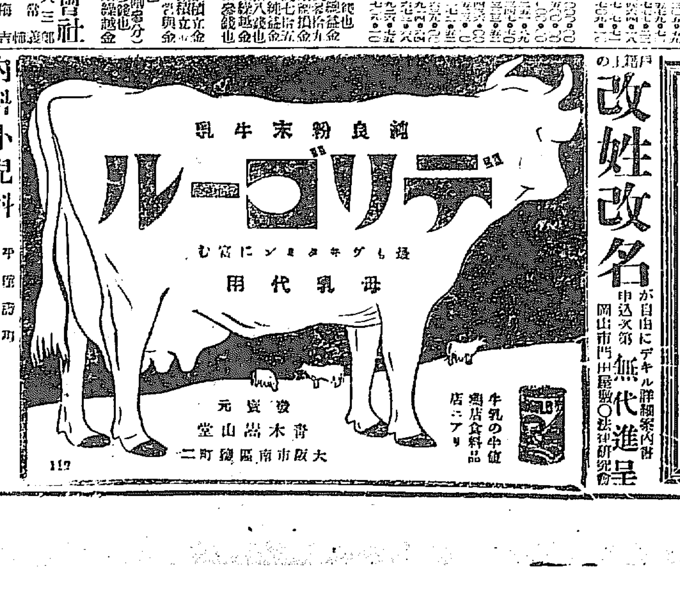
弊所は老練なる技師監督の下に羊、獺、狐、熊、虎、豹、其他何動物の毛皮にても至極低廉且つ完全に製鞣のお需めに應じます。

優良靴皮製造 仁川製革所 仁川府[illegible] 電話[illegible]

戶籍上の 改姓改名

が自由にデキル詳細案內書申込次第無代進呈

岡山市門田屋敷〇法律研究會



內科 小兒科 產婦人科 皮膚病花柳病

平壤府[illegible] 金子病院 電話[illegible]

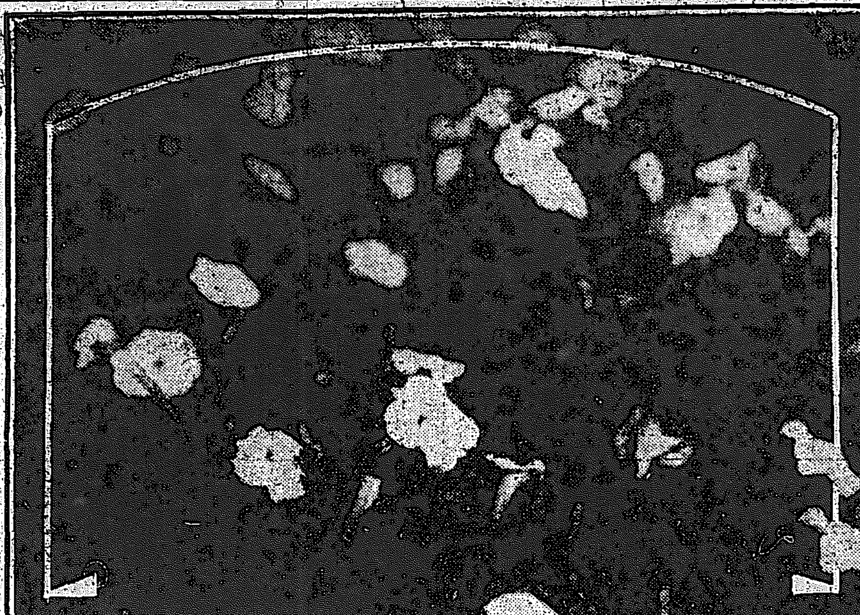
教育費增額は
航空根據地設置か
平田內府の
本黨總務會

十五年度より考慮決定

【東京電話】十二日首相官邸に於ける豫算閣議に於て[illegible]は大正十五年度より考慮することに決定した

新嘉坡に海軍根據地と共に

【倫敦十二日發電】航空界の觀測に依れば新嘉坡に大規模且つ重要なる航空根據地を設くる件と同時に海軍根據地設置の件と關聯して討議せられるであらうと



―溫室の花―

英皇子の御接待は 純日本趣味豊かに 御旅館の手入を急ぐ

英國皇帝第四皇子ジョージ親王殿下は[illegible]乘組軍艦にて[illegible]へ入港の豫定なるが殿下は[illegible]御滞在中の御旅館として[illegible]任となつて純日本式の[illegible]等を配し又御庭の花壇、御室の[illegible]は同苑關係の市川技師が新宿[illegible]御苑の[illegible]御旅館の[illegible]附近にて御滞在御[illegible]殿下、且つ五月下旬には秩父宮殿下も御歸朝遊ばさるゝ事とて、我が御室に於かせられても盛大なる御歡迎を申上ぐべく今から着々準備せられてゐるが、正式にては未だ宮内省に交渉はないが外務省は非公式に宮内省に御滞京中の御旅館につき[illegible]に交渉があり、霞ヶ關離宮がこれに當られることになつたので、是非とも三月中旬までに手入れの竣成するやう目下頻りに工事を急いでゐるが、御室の御室に就ては同苑の菊池技師が主

青山御所に キ印現はる

十三日朝八時青山御所に入らんとして皇宮警守に捕へられた青年あり北海道生れ米澤彌次郎(三三)とて非常に困窮せるより秩父宮殿下に御助けを願ひ度い等と稱してゐたが直に赤坂憲兵隊に引渡された同人は嘗て後藤新平子宅に押掛けた事あり多少精神に異狀ある模様である(東京電報)

櫻咲く頃 米國からの觀光團 四月千六百名來る

毎年花季になると櫻咲く日本を慕つて各國から觀光團が續々と押掛けて來るのが例であるが本年もかゝる十一日横濱港へ入港するアメリカン、エキスプレス社の觀光團員四百名を筆頭として一千六百餘名の觀光團が我國に來朝することになつた同觀光團一行の主なる日程は左の通りである

▲アメリカン、エキスプレス社觀光團(約四百名)汽船ベルゲンランド號一月十一日横濱港入港横濱、東京、日光、鎌倉等を見物同十八日出帆同十九日神戸港入港京都、奈良、嚴島等を經て同廿四日出發▲クラーク氏觀光團(約五百五十名)汽船カリフオルニア號二月廿四日横濱入港東京、日光、鎌倉、横濱等を見物後三月一日出帆同二日神戸港入港京都奈良等を經て同六日出發▲加奈陀太平洋鐵道會社觀光團(約三百六十名)エムプレス、オブ、フランス號四月七日神戸入港京都、奈良等見物後同

母陛下 一月中は宮中 御滞在

皇太后陛下には御静養の爲め沼津御用邸に御滞在中の處御違例の爲め十五日東京に還啓あらせられ今月下旬まで宮中に御滞在遊ばされる由漏れ承はる(東京電報)

穏田の神樣と 下田女史 關係あるらしく疑雲深い

行者穏田の神樣飯野吉三郎との關係につき疑惑に包まれてゐる愛國婦人會長下田歌子女史は問題發生以來その經營する實踐女學校にすら姿を見せず八方に揉消運動

十三日横濱入港鎌倉、横濱、東京、日光等を見物同十六日出發▲トーマス、クツク社觀光團(約四百名)汽船フランコニア號四月十七日神戸入港京都、奈良等見物同二十二日横濱港入港鎌倉等を見物後同廿六日

近く日本へお出でになる 英國第四皇子ジョージ殿下

大枚二十圓の犬殺し棒 今では總督護衛用の藤原さんの洋杖

【東京支局特電】十二日は朝の好天氣でぽかぽか春日和、大磯邊りの梅花は今を盛りの滿開だ總督一行を途中で出迎への定連が藤原秘書官を囲んで種々の話がはづむ、秘書官が東京に近づく頃洋杖の品評めが始まる一本は犬殺し犬の洋杖だ誰も所有せずしてこれに集る▲一寸縁の所有者だいと或る者が茶目る、藤原秘書官いやわしのものなんだよと一同をおとし説明して曰く、『之れは部長が始めて高等官に成つた記念に大枚二十圓を散財して銀座の或る店で求めたもので當時はそれ程大きいとは思はなんだが▲成る程只今から見ればあまり武骨過ぎる様だ然しこれで二三人のブッ倒し位いは雑作もあるまいこれでほんとの總督護衛になると云ふ譯さ』と

東北地方 大風雪 積雪一尺三寸 列車運轉不能

十二日東北北海道一帯を吹き荒した大風雪は夜に入るも歇まず各地に雪害頻々と起つたが今十三日鐵道省への報告に依れば陸羽、羅ヶ崎間は積雪一尺三寸以上に達し列車の運轉不能となりたる外、北海道にては釧路、根室間は困難にて運轉不可能となり三和田驛附近にては列車立往生をなし旅客は同驛の炊出で漸く飢を防いでゐると(東京電報)

七高の學生が 當局を糺彈

七高生平川虎雄は同校校友會誌上で『社會化學の研究禁止命令を受けても御用學者は抗議ができぬ氣の毒なものだ』との記事を十二月號に掲載此の科で放校處分を受けたので同校全生徒は十五日學生大會を開き學校當局を糺彈すると(鹿兒島電報)

十二月中の 煙草賣揚高 二百四萬五千圓

昨年十二月中鮮内に於ける煙草賣揚高は總計二百四萬五千圓で之を前十一月に比すれば京城專賣支局管内は一分八厘增し全州支局管内は一分九厘增し平壤支局管内は二分一厘增しであるが更に前年同期たる十二年十二月中賣揚高に比すれば京城は一厘二毛增し大邱は七厘七毛增し平壤は一分四厘二毛增し全州支局管内は一厘七毛を減少して居る。是は全州支局管内に於ては客年十一月暴風の影響にて著しく煙草購買力を減じ十二月は稍恢復するを得たが尚十二年十二月に比し七千八百圓の一厘七毛の減少を來したものであつて斯かる状態では農家の經濟的休止期たる二三月頃になれば鮮額地方の煙草賣揚げ状態は樂觀を許さぬものがあらうと專賣當局は心痛して居る

兩宮家 結納お取交せ

久邇宮伏見宮御兩家に於かせられては今十二日御結納を取交はしになつた(東京電報)

總長[illegible]望し 有力なる候補は 濱尾男と東郷伯

[illegible]候補者の内交渉中の處なるが最も有力なる候補者は濱尾男[illegible]東郷伯[illegible]

三黨首凝議 ―教育費問題―

【東京電報】[illegible]官邸に加藤首相を訪問し三黨首會議を開き協議を遂げた。政府は義務教育費國庫負擔增額に贊成なるもこれに當つべき財源なく[illegible]看過し難き重大形勢にありこの問題に關する最善の道を講ずべく三黨首はかなり腹藏なき意見の交換をなした模様である

【東京電報】[illegible]政調會の決議に基き十二日午前十一時より床次總裁に總務會を開き本[illegible]大會の準備に付協議をなした

平壤の飛行家 金治珩君(二七)が 新義州京城間定期飛行 五人乘大型機を使用

平壤飛行家金治珩(二七)氏は平壤飛行場にて飛行機操縦を研究し昨年九月三等飛行士の試驗に合格した平壤府正那里二四〇金治珩(二七)氏は其後も同飛行場で研究中であつたが昨年末平壤に歸鄕し目下郡業中である、氏は平壤府人有志の後援を得て平壤を起點に平壤京城間、平壤新義州間に定期航空を開始する計畫の準備中であるが飛行機は獨逸式のフォッケルといふ獨逸飛行家の五人乘飛行機を三千圓で讓り受ける由で其資金は平壤府人有志が十九日夜料亭長壽館に於て金氏の爲め大歡迎會を開催するので其席上で醵金方について協議することになつてゐる(平壤特電)

警務局に指紋室 指紋を統一活用して 科學的捜索に努める

强竊盜其他の犯罪が年々増加する一方なので警務局では大に新刑事政策を確立し科學的捜査を實施する計畫だと傳へられたが朝鮮に於ても刑事警察の關係者方面では近來内地と同じ機運、同じ要求が漸次濃厚となりつゝある。其科學的犯罪捜査の一つの重大な方法として指紋の蒐集が益々重要視され各道警察部は今や悉く指紋係を置いて指紋蒐集に努めて居る。京畿道警察部でも大正九年七月に警視廳から吉川警部が來任して來て指紋を創始し昨年末の行政整理で吉川警部は退官したが福山巡査部長が引受けて益々指紋事務を充實し今では刑事課に一萬四千七百九十四枚の指紋が集められて居る。京務局には勿論數十萬枚の入獄者の指紋が集められて居るが警察部の指紋は夫れとは全く別系統のものなので中には犯罪嫌疑者のものもあるし要視察人のものも有ると云ふ調子である。刑事課當局に云はせると『警務局の指紋は必ず入獄した者即ち前科者のみに限り持つ犯罪捜査の機微に觸れた活きた活用が出來ぬ事がある。内地では司法省の外に警視廳が大々的に警察指紋を蒐集し絶えず司法省指紋と有無交換して活用に努めて居るが、朝鮮も早く其處まで行かねば科學捜査も徹底的には出來ぬ。各道警察部で別々に集めて居るので未だ効果が甚だ少い譯であつて何うしても警務局に是れを統一蒐集し警務局の前科者指紋と警察指紋とを對立せしめて活用せねば駄目である。警務局に指紋室を設ける事は決して大した費用ではあるまい。刑事警察に關係する者は誰でも此の警察指紋の大成を熱望して居らぬ者はない』と

聖路加病院火事 五棟を燒いて鎮火

十三日午後二時五分京橋区築地セイロカ病院(院長米人トイスラー氏)の本館二階の病室より發火し折柄の烈風にあふられ火は見る見る四方に燃え擴がり間口四十間奥行十間の本館を全燒し更に分室五棟を燒き分室三棟を半燒したのみで三時鎮火した附近の海軍經理學校より二十名の救助隊を出し入院中の病者百餘名は院長中佐の指揮にて三百餘名駐せ付け消火に當り收容中の患者百二十名の救助を盡し全部無事附近の海軍經理婦宿舍に避難せしめた原因は患者部のストーブの火からである(東京電報)

四十歳の花嫁を迎へた 今年六十一の山口太兵衛翁 八日東京で婚儀をあげ 月末頃手を携へてかへる

今年六十一の齡を迎へた京城草分けの人物京城の彦左山口太兵衛翁に近頃耳寄りな縁談の噂が持上がつた。數年前夫人を失つた翁は爾來子や孫を相手にやもめ暮しをつゞけて居たが老いて盛んな翁の心中を察した親友や知己等が心配で斡旋の勞を執りと候補者の物色に骨を折つて居たが適當な人物が見當らなかつた其處へ太兵衛氏の舍弟山下鐵太郎氏の友人で同郷の誼みある竹橋と言ふ人の妹で今年四十になる婦人が東京で裁縫女をして居るの人物も好し年恰好も先づ適當だと話が取決められた。話も太兵衛翁には東京で纏る事になり翁は東上中であつたので頃日此の月末頃夫人を携へて歸城し皆川を招いて披露宴を張るといふ(京城山口さん)

東京相撲 五日目勝負

(以下幕内)

清水川(下手投げ)出ヶ嶺
稻の森(押し倒し)藤の川
吉野山(押し切り)泉風
太郎山(寄り倒し)矢筈山
眞砂石(下手投げ)爺六山
綾ヶ濱(寄り切り)阿久津川
琴ヶ浦(押し切り)若常陸
錦洋(押し切り)常陸島
清瀬川(上手ひねり)出羽ヶ嶽
常陸岩(預り)能代潟
射水川(預り)福柳
栃木山(上手ひねり)大蛇山

中入後

紅葉川(はたきこみ)常陸嶽
光風(つみこし)一の濱
小野川(つりだし)鶴ヶ濱

元の横綱大錦 正雪の屋敷で 劍道の稽古

元の日の下開山横綱大錦卯一郎は相撲界を去つてから劍の極り性から轉に名誉は大日本武德會の上段を見せて居るが以前の藤女ら部花月と新劇の稽古を始めて居る樣になつたので一家を擧めて東京牛込榎町の元由井正雪の屋敷を買ひ取り此處で文の劍の修行と柔道の劍道の道場を作り將来は劍道の興隆を圖るべく毎日稽古を勵んで居る(東京電報)

三ッ兒を産む 親子共無事

平壤府外古平面農李永周の妻張氏(三七)は十三日朝一男子を分娩し續いて十分置きに同じく女兒二人都合三人を産み落したが母子共に健かである(平壤特電)

船長魚代横領

慶尚北道迎日郡浦項港大同丸の船長慶尚道浦項川口町吉太郎所有の靜岡縣漁船宗(?)徳吉(四二)は十九日漁で浦項河から百十五名圓、漁撈の魚を賣却して得た五百四十圓を三三日午後釜山から漁撈に持ち出し府内牧ノ島で同港碇泊の第一[illegible]して使用したが[illegible]殘りを使ひ果したことを探知され目下取調中で[illegible]と共に十日釜山地方法院檢事局へ送られた(釜山)

昨年中の 惡疫患者 道内に千七百名 内死亡三百餘名

京畿道衛生課の調査によれば十三年一月より十二月までの京畿道管内傳染病は赤痢内地人二百十四名朝鮮人百二十五名計三百三十九名内死亡者七十六名、腸チフス内地人二百四十四名、鮮人三十七名計二百八十一名内死亡十二名、パラチブス内地人六十三名鮮人八十五名計百四十七名内死亡三名、猩紅熱内地人八十名鮮人十名計百一名内死亡四十二名、チブテリヤ内地人六十五名鮮人二十一名計六十六名内死亡十六名、發疹チブス内地人四十六名鮮人三十一名計八十二名内死亡三名、流行性腦脊髓膜炎内地人一名であつて合計内地人八百二十六名鮮人八百八十二名總計一千七百八名内死亡者は三百十名である

歳末の線香 一萬六千本

府内中寮、新寮、京城寮、新町寮朝鮮料理店支那料理店に於いてる

東京京城間電話開通[illegible]

僞造小切手で 株券詐欺 銀行員喰はさる

大阪藤本ビルブロウカー銀行員中村照雄(三〇)は十二日朝京都府福知山町治久銀行員佐藤治助に九州製紙社債一千圓券五枚五百圓券十八枚合計二萬九千圓を賣渡し治久銀行の小切手を受取つたところ右は僞造であること判明し犯人嚴探中(大阪電報)

泥棒少年

府内櫻花洞三〇三號崔輝翼(一七)は十三日午前九時頃府内大門町市場に鷄一羽持つて徘徊中府大門交番の李巡査が不審者として取調べると同人は櫻花洞郵便所長方鷄小屋より窃取したもので あることを自白したので身柄は本町署に送致した

吉野町小火

府内吉野町二ノ五七町内鮮人倶樂部金鍾奎方から十三日午後二時五十分出火し間も無く鎮火した損害約三十圓

早川増太郎氏母堂 朝鮮産業社長早川増太郎氏の母堂は十二日午後逝去したが葬儀は十六日午後二時旭町の證覺寺に於いて舉行すると

特約漫畫 マツク・グーフス踊り家鴨の巻(二)

注目される人々

◇今度世界一の大雜誌『キング』を發刊して天下を驚倒させた大日本雄辯會講談社々長野間清治氏の過去には隨分面白い珍談がある。

◇何しろ今でこそ講談倶樂部「現代」等八大雜誌を出して世間から雜誌王なぞと言はれてゐるが僅か十年前までは素寒貧の一教師に過ぎなかつたのだから驚かされる。

◇氏が講談倶樂部を出して大勝負をハッた時など當て事と越中褌の時に離れず、潰れたと喜んでゐたものが、二三ヶ月後には山の樣な返品で置き場さへもない始末。

◇さあ大變！翌日は紙屋、印刷屋、製本屋からは居催促の督促に合つて、四苦八苦の有樣、ありとあらゆる質種は勿論、妻君のイモヂまでも七ッ屋へ運んで急場を切拔けたとのこと。

◇所が生來剛情我慢の氏は他の所これ位の事にヒルムべき、百折不撓飛起又飛起して、やつつけた結果が段々に當り始めて以て今日の大を爲したさうな。

◇それにしても僅々十年間にあれまで大きくなつた陰には、何か理由がなくてはならぬ、よくよく探してみれば成程と肯かせる大原因がある。それは疑ふまでもなく、同社に澎湃してゐる三大講談の精神である。

◇この大精神こそ、同社を今日ならしめたもので、總べての事業を成功させる要諦でなければならぬ。

◇野間氏は今回此の精神は決して秘すべきものでなく汎く天下に公開して、世の爲、人の爲めに社會に資する考へから、雜誌「現代」新年號にいよいよ發表したのであるさうな。

◇不景氣風のふき荒ぶ今日此頃逆運に惱む人、事業の不振を挽回せんとする人々には持つてこいの好参考讀物である。

賀代病院

京城明治町一丁目 電話二四四番

醫學博士 古城憲治

内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す

麻雀カード

支那が生んだ世界的家庭遊戯

麻雀は御家庭御娯樂の一番に面白い遊び事 説明書附

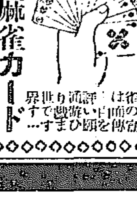
高尚優美 麻雀カード 計算札四十枚付 特價金弐圓入

説明書 麻雀の研究 (正價分の内無料送附)

御注文は拔替貯金又は現金にて發行元 京城府黄金町二丁目 振替京城二五八〇番 家庭娯樂研究社

特約販賣 京城日報代理部 振替京城三〇番

京城本町二丁目 日之出商行 振替京城四〇二番



わけなくなほる 神經痛リウマチ せんき腰足の痛

●全身のふしぶしから筋肉骨肉まで痛み惱ますその苦しさ
●●なぜ鍼や灸つけ藥溫泉で治らぬか
●●全治者の禮状に曰く短日にて全快し其効神の如しと喜ぶ

●イザ苦痛より脱し健康の樂園に

永々あれこれ迷つてコヂレタ關節リウマチス、筋肉リウマチス及び多發性神經炎にて、腰、坐骨、せんき、手足、ふしぶし頭部、肩部、横はら、肋間、肩、うで肘等の痛みや、腫れ、しびれ、引つりは一時押への鍼や灸、つけ藥、溫泉、等では多くの場合、肝腎の痛みを醫する病根まで屆かぬからナカナカ治らず氣候の變り目や、寒さ冷え込み、又は風を引いた時、身體勞働の過ぎた時に持病の苦しみを くり返し 終には大事な心臓まで侵される場合もあるお氣の毒な人のために何卒と言ふ多額な實費を投じて患者に知らせてあげたい治療法は獨逸ドクトル、ヒンスベルグ氏、アストン氏兩先生が患者に實驗治用し發見せる基礎とし更に日本人の體質に適合する西洋の大生藥を加味せるもので、これは服藥すると僅か三十分ばかりで疼痛の中樞神經に鎮靜作用を與へ、夫から痛み止めを治し、多數の禮状と全治例を有し、諸名家の御推奨引きも切らざる次第で既に病氣の重病者を受けて居る本劑は醫者も驚かず下剤にて...

十人が十人病症に合つて好ふ、全く不思議である、他に代る藥なき故、遠方を病者を治すを選り、特に世の不評を博せり

全治者の禮状 實驗者の禮状、極めて大多數にて數ふる能はざる、甚だ遺憾ながら紙面の都合上、飾らざる文のまゝ、前略、私は大正十年より神經痛にて非常に困難致居候處、直ちに安樂散お落下され、その後に御蔭を以て全快致し自由に仕事も出來る樣に相成候以下略 佐世保市[illegible]某氏

よりの禮状。第一、前略、過日御送附下され候、山梨縣東山梨郡三富村某氏より しく安樂散一包服用致候處驚く程の効き目にて痛み去り神妙とばかりに驚く

第三、前略、過日御送附下されし安樂散一包服用致候處は嘘の如く[illegible]痛み第四、前略、安樂散御送附下され服用せし處其効を奏し全快致し候[illegible]第五、前略、安樂散を服用致候處神の如き効を奏し日にて全快致し、これ一重に貴堂の賜と深く謝す、山形縣東田川郡横山村某氏より第六、前略、御送附の安樂散は非常なる効果にて小生始め家族一同全快に赴き候間尚ほ二箱御送り下され度候 愛知縣某氏 第七、前略、御送附の安樂散服用仕候處日増しに全快に相成候間尚重ねて服用仕度十二日分送り下され度候岩手縣山田町某氏よりの禮状

其他大阪府下泉北郡伯太村の某氏よりの通信によれば注射、湿布、服藥と數十種の藥劑を使用したる結果患者が「天下に有ると有らゆる藥劑や病院の治療」を受けて居る、其他かくの如き禮状は山積。

○安樂散の價格 一日分一圓 十日分十圓 二十日分十八圓 四十日分三十四圓 送料は何品にても八錢 代金引換は送料手數料共四十三錢 必ず前送のこと

東京市本郷區菊坂町五十六番地 河合洋行主 河合慶作 振替東京四六一八二番 電話小石川六八三番

貴族院議員從三位勲一等木内重四郎儀豫而病氣ノ處養生不相叶本月九日午後零時四十分死去致候間此段以本廣告御通知ニ代ヘ謹告仕候

追テ來ル十四日午後二時ヨリ三時迄青山祭場ニ於テ佛式ヲ以テ告別式相營可申候尚御供物ノ儀ハ午勝手固ク御辭退申上候

大正十四年一月十日

嗣子 木内良胤
男 同 信胤
同 高胤

雲を破る (40)

山田松琴作　清水三重三畫

狂浪 (四)

工夫達はその紳士が、東洋興業會社の社長であり、市會議所會頭であり、民友派の總頭で市會の議長である、千葉健太郎である事を知らなかつた。

『退れッ』誰かが云つたと一緒に、工夫達は駈け寄つた。少し離れて枕木を擔いで居た工夫の五六人も飛んで來た。

『俺を知らんか、市會議長の千葉を知らんか』紳士は車上で怒鳴つた。

『知るかい』『畜生』工夫は喚いた。折角の威嚇が何の効も無かつた紳士はまごつかざるを得なかつた運轉手に合圖をして自働車を飛ばし逃げやうとした。工夫の五六人は自働車の前へ立ち塞がつた。運轉手は慌てゝ自働車の

ハンドルを廻した。自働車は線路を向いたが、その頭を掘上げた土に突込んだ。工夫の二三人は自働車に飛びついて紳士を引摺り出さうとした。默つて飛び出してそれを遮つたのは渠であつた。

『邪魔さらすな』

『何だ、汝、退け!』

工夫は渠を突き飛ばさうとした。

『待ち給へ』渠は工夫を制した。

『邪魔?』と、工夫の一人が渠の服裝を見て云つた。

踏つてゐた工夫の者皆はその儘に逡巡つた。渠は夫に關はず自働車の紳士に對つた。『千葉さん、工夫諸君にお詫をなさい』嚴然とした命令口調で云つた。

驚いた紳士は彼の顔を眺めた。

『呀、脚本君』

『挨拶はあとで致します。只今のあなたの言行はよろしくありません。工夫諸君にお詫をなさるが宜しいでせう』

『詫る?。僕が?』紳士は顔を四角にした。

彼方にも此方にも散つて働いて居た工夫が皆寄つて來た。通行人は足を停めて遠巻きにした。

『然うです。あなたは勞働者諸君に禮を失したのです。詫るのが當然です』渠は紳士の顔を抑えつけるやうに云つた。

『馬鹿な、彼等は道路の妨害をしたんぢやないか』紳士は車上に反つた。

『妨害ではありません。工夫諸君は働いて居たのです。此の道路がまだ工事中である事があなたには了解りませんか。あなたは市會の議長であるから、市の公職にあるからと思つて、衡平を顧めやうとしたのです。あなたこそこんな所へ自働車を乘込んで、工事の妨害をしたのです。勞働の妨害をしたのです。曲はあなたにありますよ』

『君は、君に、一體……』

『僕は以前あなたの會社に働いた關係上、あなたへ忠告申し上げるのです』

『餘計な世話だ』

『僕の餘計な世話が無かつたら、あなたは今頃工夫諸君の鐵拳を食つて半死半生になつて居るでせう。或は生命が無くなつて居るかも知れません。その鐵片やスコップの刄先にかゝつて……一體あなたのやうな公職まで帶びて居る方が勞働者に對しての理解が無いのも驚くべきではありませんか。あなたは此の勞働者諸君が市民に交通の便を與へる爲め、僅な賃錢に甘んじて、此の燃えつくやうな炎天の、木の葉一枚の陰も無い下で堅い石を削つたり、重い鐵材を運んだり、總身の骨が解けるのかと思ふ程、血の汗流して働いて居るのに對して感謝の念が起りませんか。あなたが然うして自働車に乘つて煙草を吹かしながら樂々と好き勝手に通行のできるその道路を、勞働諸君が作つてくれたのです。あなたに云はせれば市が作つたと云ふんでせう。が資本家の紙幣を積んだツて、金銀の山を築いたつて、それで自然に道路や人家は出來ません。貴い勞働の力でなくちやあ出來ますまい。そこへ氣がつけば今のやうな暴言は云へない筈だ。斯う云つてもまだお了解りになりませんか』

『君は、君は、僕を……』

『やりこめるのでも何でもありません。あなたに反省を乞ふのです。土方も工夫も人間であると云ふ事を申し上げて居るのです。あなたのやうに資本家で且つ紳士である人も、土竈のやうに土を掘つて働いて居る人間も同じ人類であると云ふ事を云つて居るのです』

『了解らなきやあ了解るやうに鼓膜で耳の穴をあけてやれ』土方の若い一人が猛つた。

『そんな亂暴はいかん』渠は一喝して『千葉さん、謝罪つてお通りなさい』

赤くなつて居た千葉はいつの間にか眞蒼な顔になつて居た。

『濟まなかつた』眞似のやうにヘルメット帽に手をかけた。

『腰あ抜やあがれ』工夫が云つた。

逡巡した通行人が洪と笑つた。千葉の自働車は一散に走つた。渠は默々としてまた歩き出した。

『一寸と待つておくんなさい』渠の後方から聲がした

新年俳句大會終る

意外の盛會であつた

邱山賀島社主催、我社後援の新年俳句大會は豫報の如く十一日午後一時から南米倉町の『京城倶樂部』で開催した。泥濘を踏んで定刻前から押かけて來る熱心な人達によつて席の半ばを埋めた頃、席題『猿曳』『水仙』通題十句、と貼り出される。と間もなく餘席のないほどに多數となつた。隣室では鼓が鳴る。謠が聞える。硝子戸越けて射す西日を浴びて句作に耽る。中には瞑想、風人、案山子氏など珍らしい顔も見えた。窓外に揺らぐ枯木立、遥山の雪は得もいはれぬ眺めであつた。

およそ一時間を費して互選が終ると、紫光氏の披講で採點の結果を發表して散會した頃には、たつた今まで窓に射してゐた西日も全くかげつてゐたが、當日の出席者は四十餘名、新年匆々意外の盛況であつたことを喜ばずにはゐられない。因に採點成績および主なる收穫は次の通りである。

◇互選の結果　紫牛(拾九點)　古楠、雲雨子、宏堂(拾七點)　實柿(拾六點)　芮城(拾參點)　左人、布衣坊(拾二點)　黄耳、岳水、東村、胃波、楠畝(各拾一點)　休山、松嶺、(拾點)　春汀、痴山(九點)　紫光、菊影、栗園(各八點)　以下略

七點

綱のぼす猿の舞ひに鳧　古楠

五點

水仙に陽脚觸かず暮れに鳧　松嶺
水仙へ障の當りたるインキ壺　紫牛
餘寒の癡にてありぬ水仙花　布衣
よく冴えし柱鏡や水仙花　遊世
氷仙や灯れば大き影持ち　雲雨子
猿曳の猿と飯食ふ日向かな　宏堂
猿曳に温とき銅貨渡しけり　實柿
叱られて又舞ひ直す小猿哉　胃波
猿曳の臍まで來し獅子かな　左人

四點

水仙さき凍てたるインキ壺　休山
水仙の位置變へ客迎へし鳧　案山子
床の間に欲ふ時計や水仙花　宏堂
水仙や鉢の穂どれも固りて　楠畝
泥濘を來て脱ぐ靴や水仙花　岳水
拂三味線に座りぬ水仙花　古楠
鉢咬みて凍りてありし水仙花　芮城
猿曳の銅鑼に受けたる小錢哉　紫牛
猿曳や灯し頃なる邸町　同

三點

水仙に客待つ灯のつきし鳧　雲雨子
水仙や襯にかくしてのむ藥　黄耳
水仙や玻璃戸の裡の懸冠　紫牛
さしこげす水冷かや水仙花　實柿
水盤の挨陽に浮く水仙花　古楠
老梅の根の枯芝や水仙花　紫光
猿なかく舞ふて怒り哉　左人
投げられし菓子に小猿の舞ひ鈍る　東村
猿曳の唄ひ乍らに門を出る　同
猿曳の何やら多き荷物哉　布衣
よく笑ふ女見ており猿廻し　黄耳
猿曳の猿歩かせて橋欄干　楠畝

弍點

水仙に三葉つのる且かな　芮城
水仙の疾く插されし一間哉　雲雨子
花笠に鋪く卓や水仙花　耕牛
水仙に流れて侘びし温室の灯　栗園
水仙にさす日溜りの腰障子　雲雨子
水仙や同じ譜を弾くピアノ哉　黄耳
水仙の鉢移し弾くピアノ哉　宏堂
水仙や壁に掛けある支那胡弓　春汀
煤拂の下りし畑や水仙花　楠畝
落葉朽ち水仙咲きぬ一つゝゝ　菊影
水仙の只白々と黄昏る　洋々
臙脂子に浮きし咲や水仙花　栗園
浮き顔に猿師は猿を舞はせ鳧　岳水
雪さけて厳水仙の背さかな　角丸
水仙や氷れる如く夜の鐙　紫光
水仙の根張りこまかや陶の鉢　左人
水仙や女主人の薄化粧　瞬務
水仙や朝の火鉢湯のたぎる　痴山
水仙や日南よりさす小鳥影　同
水仙や道から見ゆる大廊　松雲
水仙や束ねて背きベルの紐　實柿
奥の間の疊冷たや水仙花　雲雨子
猿曳に行く子等を呼びに鳧　實柿
猿曳を惜も見てゐる境内哉　菊影
猿曳の渡る小階や夕間暮　失名
猿に似た男なりけり猿廻し　胃波
水仙の花瓣散りし硯かな　楠畝
舞終へて興ざめ顔のお猿哉　紫光
猿曳の案内もせず舞はせ鳧　古楠
綱曳けば牙むく猿の怒り癖　耕牛
猿曳の猿の陣平襯せし　同
猿曳や人垣分けて去りに鳧　春汀
烏帽子斜に小猿舞居る座敷哉　東村
戯れに身振おかしき小猿哉　同
舞猿の眼おそろしからぬ方　宏堂
猿曳の猿の怒れる瞬かな　雲雨子
猿廻し町を曲りて鼓打つ　瞬務
手術楽に血のにじみし水仙花　僞朝子
舞猿の猫忘れし餅一つ　弦月
落日に猿曳急ぐ野道かな　山䁱
物やりて踊らぬ可笑し猿廻し　案山

(以下略)

新刊紹介

△キング(二月號) 讀物は堀内中將の『乃木大將と靜子夫人』外十數篇、小説には浪六、武羅夫、殴亭、曙山等の名作十一篇、外に逸話、漫畫、月旦奇聞、珍話等滿載してある(五十錢、東京本郷大日本雄辯會講談社發行)

▲子供之友(二月號)四十錢 東京雜司ケ谷上り屋敷一一四八婦人之友社

讀者

◆私は三味線の獨習をいたしたいんですが何かよい獨習手段の書籍が有りましたら(黒楠生) ▲兵庫縣人會の事務所はどこですか(中野) ▲仁川のコンボー教員は風紀を害する事はなはだし(仁川某父兄會) ▲松本陸に御願申上ます明治二十一年(子年)陰曆七月二十一日は陽曆何月何日に當りますか(水原胡頂生) ▲九日五時すぎ京城驛より日之出學校の間で私方の小供が小倉と云ふ帯を拾ひ保管して居ります(黄町ノ三十六番地稲本) ▲十月二十一日新聞紙上に父兄様十二月四日晋州小學生徒の御様へ御往所御通知下さい(江原道華川郡下南面原川倭塚信介)

演藝案内

黄金館 帝キネ共營 毎日晝夜 當る十二日より特別大興行 ◎時代劇 市川猿谷、雲霧仁左衛門 玉太郎主演 五卷 帝キネ特作 志波西果入社第一回作 別名『幸福』 同 小方作品 ◎現代劇 學生氣質 六卷 森静子、松ケ枝鶴子、鶴隈、宮島健一、高堂國典主演 日米映畫會社特約紀念大提供 ゴールドウイン、コスモポリタン超特作 世界的大名編 定千萬弗大映畫 女性の敵 全十一卷 ◎大映畫 ライオネル・バリモーア氏主演 アルマルーベンス孃 出演人員萬餘名 軍艦數十隻 飛行機、潜航艇の大活動、軍艦三隻撃沈 一絶大無比

喜樂館 京城本町一 電話本局一 當る十二日より特別大興行 ■實寫 佛國煉瓦製造 一卷 ■滑稽 中 紅一點 二卷 サバヌ、ランドレー孃主演 ◎佛國パテー社作品 ■連續活劇 荒原の秘密 六回四卷 ルス・ローランド孃主演 ◎日活京都第一部超特作 ■舊劇 新派 岩見重太郎 全七卷 尾上松之助、吉十郎、延一郎、鬼若、小栗武雄 ◎京都新派部超特作 ■現代劇 運轉手築吉 全六卷 葛木香一、徳川良子、森田芳江、高木永二、妹尾松子、牧きみ子

大正館 松竹共營 毎日晝夜 當る十二日より ◎實寫 パテ映畫 週 報 長尺 ◎松竹キネマ提供 ■特作 乙女ミユヘン大學婦人科醫長指揮 性的奇料『お産の大映畫』長尺 ■ 松竹キネマ蒲田大巨作 『感じの好い子』 ■ 蒲田最新作現代劇 『受驗者』 全六卷 ■ 悲劇 宿命 岩田祐吉、奈良眞養、英百合子主演 ◎竹キネマ下加茂最新大傑作 兒島三郎、森野五郎助演、志賀靖郎 ■ 浪速俠骨 大猛闘劇『難波の福』 全六卷

中央館 東亞キネマ マキノキネマ 十日封切超特別大映畫公開 ■獨乙ウーファー映畫會社超特作 喜劇 大根役者 全二卷 ■西班牙歴史オリベラの勇將 全七卷 世界名優エミルヤンニングス氏主演 ■東亞甲陽超特作文藝大映畫 社會悲劇 若きさらば 全六卷 環歌子、歌川るり子、高田稔共演 解說者 浅井静明 ■東亞キネマ牧野映畫 時代劇 大活劇 毒刄 前篇六卷 高木新平、月形龍之助、牧野輝子 解說者 岡天颯

浪花館 本町二六〇 電話 當る一月十五日より 京坂落語若手揃ひ はなし 一葉、嶄手踊 可笑、落語 物眞似 笑話 滑稽噺 東京音曲 たより 聲色 巴之助、人情噺 佳馬 笑話即席 社中、落語珍藝 福太郎 舞 玉奴 友奴 要奴、落語舞踊 かしく、女道樂(長唄歌舞)、落語、踊 大切樂屋總出 珍藝

京城劇場 京劇開演中の 我左衛門 大一座一行 一月十四日・十五日 兩日間に限り 鰕四郎 前狂言 大阪陣難波戰記 安部川堤より茶臼山血判取まで 切狂言 嵐山花五郎 御通りの 當日議員の御觀覧に供します 左の通り 御覧中劇として驚く半額にて 大序より大詰まで 半額値段 特等一圓廿五錢、一等一圓、二等六十錢、三等三十錢

筆生 入用 地方測量所並に諸官廳筆生 身元保證人二名 供自宅通勤 大阪府住吉大王寺驛前 電話南七九七三番 新撰三友社

腺病質諸症、佝僂病、瘰癧、動脈硬化症 黴毒性貧血等に卓効ある

ヨード ブルトーゼ

八大醫學博士 實驗御推奬 說明書進呈

小瓶二五〇瓦入(約半ケ月分) 金二圓三十錢
大瓶五〇〇瓦入(約一ケ月分) 金三圓五十錢

ブルトーゼ中に『ヨード』を有機的に結合せしめたる佳味芳香の製劑にして甲狀腺の特殊成分を増加するを以て人體總ての新陳代謝を盛んならしめ腺腫を縮少せしめ而して吸收迅速にして些の副作用なく、能く病的組織を恢復し體質を補益し筋力を强實にす。

發賣元 本舖 大阪市東區道修町二丁目(振替大阪一七四一番) 藤澤友吉商店
東京支店 東京市日本橋區伊勢町
京城支店 京城府四小門町

足許の悅び

福助足袋

大正十三年五月一日改正

价川輕便鐵道

下リ

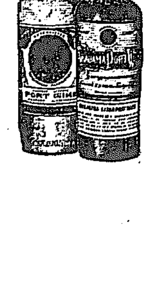
本線接續列車、新安州探索時刻 釜山ヨリ急前七ノ四 平壤ヨリ前九ノ四同十ノ二〇 安東ヨリ後三ノ六 奉天ヨリ急後二ノ二 新義ヨリ後四二 釜山ヨリ急後四ノ七

列車番號	※31	1	3	※33	5	7
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

上リ

列車番號	2	※32	4	6	8
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

※印ヲ附シタル列車ハ運轉セザル場合及十分早發スル場合有之候
◎印ハ停留場
平安南道价川郡价川面

赤玉ポートワイン

女の酒!として　あながちに多うたしなますとも　其品よく心地よきそぞろ酔ひ!　まかも何　その盃の一つ二つに　身うちの養ひ　なみくと溢れたる……